

第四十五回帝國議會
衆議院

刑事訴訟法案委員中特別調查委員會會議錄(速記)第六回

會議

大正十一年二月二十八日午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 鵜澤

委員 成章君 宮古啓三郎君

黑住 成章君 廣山勝太郎君

出席政府委員左ノ如シ

司法次官 山内確三郎君

司法省刑事局長 林 賴三郎君

司法省監獄局長 山岡萬之助君

司法省參事官 上基安太郎君

司法事務官 宮城長五郎君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

齊藤鷲太郎君

草野豹一郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

刑事訴訟法案

○鵜澤委員長 是ヨリ刑事訴訟法案ノ小委員會ヲ開キマ
ス、第二百五十八條

○橫山委員 昨日ノ二百五十五條ノ所デ一寸一點御尋シタ
イ、二百五十五條ノ檢事搜查ヲ爲ス場合ニ強制處分ヲ必要
トスル搜索、檢證、勾留、證人訊問、鑑定ノ處分、斯ノ如キモ
ノ豫審判事、又ハ區裁判所判事ニ請求シタル場合ニハ、其請
求ヲ受ケタル豫審判事又ハ區裁判所判事ハ、之ヲ拒ムコト
ヲ得ルカドウカト云フ事デ、即チ強制處分ヲ必要トスル檢
事ノ認定ノ場合ニ、鑑識ヲ以テ強制處分ヲ必要トセナイ、若
クハ其他ノ事情デ其請求ニハ應ゼラレナイト云フコトヲ言
フベキ權能ガ、豫審判事又ハ區裁判所判事ニアルカドウカ、
法文ノ側カラ見レバ、拒ムコトハ出來ナイヤウニ思ハレマ
スガ、ソコヲ御説明ヲ願ヒタイ

○林政府委員 只今ノ御尋ノ點ニ付キマシテハ、豫審判事
ナリ區裁判所判事ナリガ、檢事ノ意見ニ拘來サレト云フ
コトハ至ク無イト信ジテ居リマス、例ヘバ拘留ノ請求ヲシ
タイト云フ場合ニ、無論請求ヲ受ケタル豫審判事ナリ區裁判
所判事ナリガ、法律上勾留ニ關スル必要ナル條件ガアルカ
ドウカ、又證據擧げ減ノ虞ガアルカ、逃走ノ虞ガアルカト云
フヤウナ點ヲ能ク審究致シマシテ、然ル後此要求ニ應ズルト
云フコトニ無論ナルダラウト考ヘマス

○橫山委員 併ナガラ是ハ起訴前ノ事デアリマスカラ、檢
事モ餘リ多ク事件ノ内容ニ通ジテ居ラヌ場合デアリ、殊ニ

強制處分ノ必要ガアルカドウカト云フコトハ、最初ニ搜查
ニ著手シタル檢事デスラ、事件ノ内容ニ通ジテ居ラヌ場合デ
アリマスカラ、強制處分ヲ必要トスルコト云フ事柄ハ至ク檢
事ノ認定ニ委シテ、サウシテ檢事ガ左様ニ認メタルババ
ノ判事ニ請求スル、請求シタル以上ハ、判事ハ其檢事ノ認定ニ
反シタル取扱ヲスルコトガ出來ナイヤウニ解釋ガ出來ルト
思ヒマスガ、矢張解釋上本員ノ申スヤウナ事ニナラヌノデ
アリマスカ

○林政府委員 サウ云フ事ニハナラヌト考ヘマス、ソレ故
ニ檢事ガ請求スルトキニハ、豫審判事若クハ區裁判所判事
ヲシテ、如何ナル事情ガアルカト云フコトヲ判斷セシムル
ニ足ルダケノ材料ヲ、提出スル必要ガアルト思ヒマス、若シ
材料ヲ提出セズニ、唯タ檢事ガ請求スルト云フヤウナ場合
ニハ、其結果トシテ豫審判事ナリ區裁判所判事ハ、檢事ト意
見ヲ異ニスルト云フコトハアリ得ルコト、考ヘテ居リマ
ス

○鵜澤委員長 第二百五十八條

○橫山委員 是ハ「犯罪ニ因リ害ヲ被リタル者ハ告訴ヲ爲
スコトヲ得」ト云フノゴザイマスガ、害ヲ被リタル者ト云
フ意味ハ、直接ノ被害者ノミヲ指スノデアリマスカ、或ハ間
接ノ被害者モ包含スルカト云フ事ヲ承リタイ、例ヘバ此間
モ實際問題トナッテ現レマシタル南滿洲鐵道株式會社ノ背任
事件ノ如キ場合ニ、南滿洲鐵道株式會社ノ株主ハ、直接ノ被
害者ト云フコトハ出來マセス、如何ニ會社ノ任務ニ背イテ、
會社ニ損害ヲ被ラシメタル責任ノ犯罪人アリトシテモ、直
接ノ被害者ハ會社デアアル、此會社ニ對シテ或權利關係ヲ持
テ居ル株主ノ損害ハ間接ノ損害デアアル、サウ云フ場合ニ間
接ノ被害者デアアル者ハ、告訴ヲ爲スル權利ガアルカドウカ
ト云フコトニ歸著スルノデアリマス

○林政府委員 害ヲ被リタル云フノハ、言ヒ換ヘレバ公益
ノ歸屬者ト云フ意味デアリマス、今御尋ノ意味ニ依レバ、直接
ノ被害者ト云フコトニナラウト思ヒマス

○鵜澤委員長 第二百五十九條

○橫山委員 「祖父又ハ父母ニ對シテハ告訴ヲ爲スコト
ヲ得」ト云フ事ハ、是ハ日本ノ忠孝ニ關スル習慣ト云フモ
ノ、又國民ノ感情ト云フモノヲ御斟酌ニナッテ、斯様ナ規定
ガ出來タモノト思ヒマス、其立法ノ精神ハ洵ニ結構デアリ
マスガ、先ツ政府委員ニ此立法ノ理由ニ關シテ、詳細ナル辯
明ヲ得テ置キタイト考ヘマス、其辯明ヲ得ルニ當ッテ、私ヨ
リ辯明ヲ必要トスル理由ヲ述ベテ置キマス、詰リ祖父又

ハ父母ニ對シテ告訴ヲスル事ガ、頻繁トシテ從來我國ニアッ
タカト申シマスレバ、吾々ノ經驗スル所ニ依レバ殆ド斯ノ
如キ事ハ無イ、祖父又ハ父母ニ對シテ如何ナル犯罪事件
ガアツタトシテモ、子タリ孫タリ者ガ、其長ニ對シテ告訴
スルト云フ様ナ事、否告發ヲ爲スト云フヤウナ場合ハ殆ド
無イコトデアリ、又想像スルコトモ出來ヌ事デアリマス、故
ニ斯ノ如キ規定ヲ設ケテ、如何ニモ我日本國內ニハ、祖父
又ハ父母ニ對シテ告訴告發ヲ爲ス者ガ頻繁トシテアル、故
ニ是ハ法律ノ力ヲ以テ止メナケレバナラヌト云フヤウナ意
味ニ、誤解サルベキ立法デアアルト思ヒマスカラシテ、私ハ寧
ロ斯ノ如キ規定ハ必要ガ無イト思ヒマス、否必要ガ無キノ
ミナラズ、却テ斯ノ如キ事ハ無イ方ガ、我國ノ忠孝ノ國體ヲ
維持シテ行ク上ニ於テ、却テ都合デアアルト思ヒマスガ、其
點ヲ御説明ヲ仰ギマス

○林政府委員 此條文ハ、本案ガ我國固有ノ淳風美俗ヲ維
持セントスル精神ノ現レタ一ツデアリマシテ、最モ大切ナル
規定ト考ヘテ居ルノデアリマス、申ス迄モナク此孝道ハ
最モ大切ナルモノデアッテ、孝ハ百行ノ本トモ申シテ、日本
ニ於テハ特ニ重ゼラレテ居ルノデアリマスカラ、其趣意ヲ
法文ニ闡明シテ、法律上ニ於テ孝道ヲ重シズルト云フコ
トヲ明ニスルト云フコトハ、今日ニ於テ殊ニ必要デアラウ
ト考ヘテ居ル、從來ノ例ニ於テ祖父父母等ニ對スル告訴
ガ非常ニ多イカラ、之ヲ止メ様ト云フヤウナ意味デアナイ、
斯ウ云フ告訴ハ從來ニ於テ其數ガ多クハナイノデアリマ
スガ、併ナガラ絶無デアナイ、絶無デアナイガ兎ニ角サウ云
フ事ハアル、是ハ日本ノ淳風美俗ヲ維持スルニ於テ、大ニ憂
慮スベキ事デアアルト考ヘル、サウ云フ次第デ法文ニ其趣意
ヲ闡明致シタル次第デアリマス、之アルガ爲ニ今御心配ニナ
ッテ居ルヤウナ事ハ、決シテアルモノト考ヘテ居リマス

○橫山委員 吾々ハ前後二十年モ辯護士ノ業務ニ從事致シ
テ居リマスガ、自分デ經驗シタルコトガ無イノミナラズ、殆ド
聞イタルコトガアリマセス、此故ニ絶無デアナイイカラズ、殆
ドセケレドモガ、殆ド絶無ト云ッテ宜シイ、或ハ司法省ノ御
手許ニ、尊屬親ニ對スル告訴告發ト云フ事ガ、何ノ位デア
リマス、數字ガアレバ承リタイ、併ナガラ數字ガアツタ所デ、現
行刑事訴訟法施行以來約三十年間ニハ、殆ド指ヲ屈シテ數
フルニ足ル位ノモノデアラウト思ヒマス、此故ニ斯ノ如キ
何年ニ一件カ幾十年ノ間ニ數件カト數フル程稀有ナル事例
ニ對シテ、斯ウ云フ立法ヲスルト云フコトハ、私ハ必要ナイ
ト思ヒマス、而シテ更ニ進ンデ承リタイ事ハ、祖父父母、若ク

バ父母ニ對シテ告訴ヲ爲スコトガ出來ナイト云フノハ、日本ノ良風美俗デアルト云フコトデアレバ、祖父母、父母ハ其子孫ニ對シテ告訴ヲスルト云フヤウナコトモ、私ハ日本ノ良風美俗ノ上ニ於テ已ムベカラザル事ト思ヒマス、此卑屬親ニ對スル尊屬親ヨリ爲ス告訴ヲ制限シナカッタノハ、ドウ云フ譯デアリマスカ、

○林政府委員 法律ヲ定メマスノハ、淳風美俗ノ中デ特ニ重要ナルモノニ付テ規定ヲ設ケマスノデ、淳風美俗ノ總テノモノニ關シテ、刑事訴訟法ノ規定ヲ設ケルト云フコトハ出來ナイコト、考ヘマシテ、無論尊屬親カラ卑屬親ニ對シテ訴ヲ起サントスルコトハ喜ブベキ事デハナイ、併ナガラ卑屬親カラ尊屬親ニ對シテ訴ヘル場合トハ、非常ニ問題ガ違フト思ヒマス、法律ハソコマデ干涉スル譯ニハ行カスト思ヒマス

○横山委員 然ラバ此點ニ關シテ私ハ法律ガ徹底的デナイト考ヘマスガ、意見ノ相違ノ點ハ後日ニ譲リマス、而シテ此父母ニ對シテ告訴ヲスルコトガ出來ナイト云フ中ニハ、養父母ハ包含スルノデアリマスカドウカ

○林政府委員 無論入ッテ居リマス

○横山委員 然ラバ、繼父母、嫡母ト云フモノハ如何デアリマスカ

○林政府委員 繼父母、嫡母モ包含シテ居リマス

○横山委員 サウ致シマスルト、此二百五十九條ノ「父母」ト云フ文字ハ、大變廣イ意味ノ文字デアリマス、此日本ノ民法ナドノ用例カラ申シマスルト、一々條文ヲ引キマスコトハ困難デアリマスガ、普通父母ノ中ニハ養父母ヲ含マナイ、況ヤ繼父母嫡母ト云フモノヲ含マヌコトノ例ニナッテ居リマスガ若シ包含スル意味デアリマスナラバ、後日ノ疑ヲ除ク爲ニ、養父母、繼父母、嫡母ト云フモノヲ特ニ明記致ス方ガ、立法ノ精神ヲ貫徹スル上ニ於テ都合デアルト思ヒマスガ、其邊ノ御意見ハ如何デアリマスカ

○林政府委員 父母ト云フ言葉ハ場合ニ依ッテハ、實父母ト云フヤウナ狹イ意味ニ解釋サレル事モナイデハナイデアリマセウガ、併ナガラ常ニサウ云フ意味ニハ解釋サレテ居ナイ、普通ニ申セバ、父母ト申セバ養父母モ繼父母モ嫡母モ含ムト云フコトニナルノデアリマス、特ニソレヲ一々斷リマセスデモ、此法文デサウ云フヤウナ解釋ヲスルト云フコトハ、疑ナイト考ヘテ居リマス

○横山委員 サウ致シマスルト、私ハ多少疑ガアルヤウデアリマスケレドモ、サウ云フ司法當局ノ御聲明ガアレバ、後日ノ運用ニ關シテハ差支ガナイト思ヒマスカラ、ソレハソレデ打切りマス、而シテ尙ホ更ニ進ンデ承リタイノハ、祖父母又ハ父母ニ對スル告訴ヲ爲スコトハ、日本ノ良風美俗ニ

關スルト云フコトデアリマスナラバ、先刻卑屬親ノ場合ヲ想像シテ私ガ意見ヲ申上デマシタガ、更ニ傍系ノ尊屬親、例ヘバ叔父デアルトカ、叔母デアルトカ云フ者ニ對シテ告訴ヲスルコトノ出來ナイト云フコトヲ、祖父母、父母ニ對スルト同様ノ意味デ、私ハ之ヲ禁止スルノ必要ガアルト思ヒマス、吾々日本ノ家族制度ノ下ニ棲息致シテ居ル人民ハ、家族ノ中ニ於テハ祖父母モ、父母モ、傍系ノ叔父叔母ト云フヤウナモノモ同様デアリマス、父母ト傍系ノ叔父叔母トヲ區別シテ、一方ニ對シテハ非常ニ孝ヲ爲シ、一方ニ對シテハ尊敬ヲ拂ハヌト云フコトハ無イ、西洋等ノ個人主義ニ於ケル習慣ハ能ク存ジマセスケレドモ、我が日本國ニ於ケル一族、親戚同土ノ關係ト云フモノハ、父母ニ對シテ告訴ヲ爲スコトガ出來ヌト云フ理由ガアルナラバ、私ハ傍系ノ尊屬親ニ對シテモ、當然之ヲ認メルガ至當ト思ヒマス、サウシナケレバ却テ父母ニ對シテハ孝トナルガ、傍系ノ叔父叔母ニ對シテハサウ云フコトノ信義ヲ盡スノ必要ガナイト云フコトデアリマスナラバ、寧ロ是ハ祖父母父母ノミニ重キヲ置イテ、傍系ノ尊屬親ニ對スル卑屬親ノ信義ト云フモノハ、破壊スルヤウニナルト思ヒマス、却テ良風美俗ヲ破壊スルヤウナ結果ニナリハシナイイカト思ヒマスガ、此點ヲ一應辯明ヲ求メマス

○林政府委員 今ノ御尋ノ點ハ一ツノ御考トシテハ承ッテ置キマスガ、先程申シタ通り、法律ニ於テ告訴權ヲ制限スル場合ガアリマスカラ、最モ大切ナ場合タケニ限定致シタノデ、之ヲ度ノ程度マデ擴ゲルカト云フコトハ問題デアリマセウガ、是以上ニ法規ヲ擴ゲルト云フコトハ、政府ハ同意致シ難イ點デアリマス

○横山委員 ソレカラ進ンデ御尋致スノハ、是ハ一般犯罪ニ關スル告訴權ノコトヲ規定シタモノト思ヒマスガ、親告罪ノ場合モ矢張告訴ヲ爲スコトガ出來ナイト云フコトニ解釋シマスガ、例ヘバ強姦罪デアルトカ、或ハ誘拐ノ罪デアルト云フヤウナモノニ、親告罪トシテ居ル場合ガアリマス、此場合ニ於テ告訴ガ出來ヌコトニナリマスカ

○林政府委員 其意味デアリマス

○横山委員 サウ致シマスルト、親告罪ニ於ケル被害者ノ親告ト云フモノハアルガ、處罰條件ト云フコトニナル事ハ出來マセス、解釋ニ依ッテ起訴條件ト云フ中ニ入ルカモ知レマセスガ、若シ處罰條件ノ中ニ入ルトスレバ、茲ニ親告罪ニ關シテ卑屬親ト祖父母父母ノ關係ニ於テ、犯罪ガ成立セザル事ヲ規定シテ居ルノデアリマシテ、一種ノ絕對法規ヲ規定シタモノト考ヘラレマスガ、左様解釋シテ宜シイノデスカ

○林政府委員 告訴ハ訴訟條件ト云フ見解ヲ執、テ居リマスカラ、絕對法規ヲ規定シタコトニハ無論ナラヌト思ヒマス

ス、殊ニ二百六十三條ノ規定ガアリマスノデ、親告罪ノ場合ニ絕對告訴ガ出來ヌト云フヤウナ結果ニハナリマセヌ

○横山委員 告訴ノ場合ハ略ボソレテ諒解致シマシタガ、サウ致シマスルト告訴ヲ爲スコトヲ得ザル祖父母若クハ父母ニ對シテ、告訴ヲスルコトガ出來ルノデアリマスカ、ドウデアリマスカ

○林政府委員 ソレハ出來ナイコトニ後ノ方ノ條文ガアリマス

○横山委員 其條文ヲ御示ヲ願ヒタイ

○林政府委員 二百七十條

○横山委員 告訴ガ發シタル場合ニ、尙ホ進ンデ御尋致シテ置キタイノハ、告訴ノ方ノ場合ニ關係ガアルノデアリマスガ、二百五十九條ハ、第二百七十條ノ規定ニ依ッテ告發ニ準用サレルト致シマスルト、自分ガ被害者デアル場合ニハ、告發ガ出來ルカドウカ、ソレカラ被害者ニ非ズシテ二百六十九條ノ告發ヲスルコトガ出來ルカ、此一ツノ場合ニ分ケテ御説明ヲ仰ギマス

○林政府委員 告發ト云フノハ無論被害者ノ場合ニ云フノデアリマス、二百七十條ノ規定ハ、被害者デナイ場合ニ祖父母、父母ヲ告發スル事ガ出來ナイト云フ斯ウ云フ意味デス

○横山委員 サウスルト二百六十九條ノ規定ニ差觸リハアリマセスカ

○林政府委員 二百七十條ハ二百六十九條ヲ制限シタ規定デアリマス

○横山委員 第二百六十條

○横山委員 「被害者ノ法定代理人又ハ夫ハ獨立シテ告訴ヲ爲スコトヲ得」ト斯ウナッテ居リマスガ、此法定代理人ト夫ヲ認メテ妻ヲ認メザル理由、之ニ類似ノ規定ガ前ニモアリマシテ御辯明ハ得テ居リマスガ、特ニ此二百六十條ノ規定ニ付テモ、如何ナル理由ガ被害者ノ法定代理人ト夫ハ獨立シテ告訴ガ出來ルガ、其妻ヲ除外セラレタカ、其理由ヲ伺ッテ置キタイ

○林政府委員 夫ガ被害者デアル場合ニ、告訴スルカドウカト云フコトハ、夫ノ判斷ニ委シテ然ルベキ事デアラウト思フ、其場合ニ妻ニ獨立シテ告訴權ヲ認メルト云フコトハ、必要モ無ケレバ適當デナイト思ヒマス

○横山委員 夫ガ意思能力ノ上ニ於テ缺點ノアル場合、或ハ禁治産ニ處セラレテ居ル、即チ知覺精神ノ喪失ノ狀態ニ在ル場合ニハ、今政府委員ノ御話ノヤウニ、夫ガ自分デ自分ガ正當デアルト思フ、或ハサウスルト、サウ云フ場合ニハ法定代理人ガアルカラ、法定代理人ノ規定デ補フコト

ニハ法定代理人ガアルカラ、法定代理人ノ規定デ補フコト

ガ出来ルト云フ御意見カ知レマセヌガ、併ナガラ知覺精神ヲ喪失シテ居ル場合ニハ、之ヲ禁治産ニ付スルト云フ民法ノ規定ガアリマスガ、必シモ裁判所ノ宣告ヲ得テ法定代理人ニ付スルトハ限リマセヌ、本人若クハ利害關係人ノ怠慢其他ノ事情ニ依ッテ、裁判所ニ禁治産ノ請求ヲシナイ場合モアリマスナラ、夫ガ現ニ意思能力ガ無クテモ、法定代理人ノ無イ場合ガアル、然ルニ夫ガ非常ナ刑事上ノ危害ヲ被ッテ居ル場合ニ妻ガ告訴ガ出来ナイト云フコトハ、此立法ノ趣旨ヲ貫徹スル所以デナイ、又例ヘバ夫ガ毆打ヲ受ケテ一時人事不省ノ状態ニ在ル、若クハ身體ノ自由ノ出来ナイ程ノ傷害ヲ被ッテ、身心ノ自由ヲ缺イテ居ル、斯ウ云フ場合ニ妻ヲシテ告訴ヲ爲サシムルト云フコトハ必要デアルト思フ、デアリマスルカラ今ノ御説明ダケデハ、妻ヲ除外シテ理由ヲ維持スルコトハ出来ナイト思ヒマス

○宮城府委員 代リマシテ或ハ説明ガ本ニ竹ヲ接イダ様ニナルカモ知レマセヌガ、一應説明致シマス、夫ト妻トノ關係ハ我ガ民法ニ於テモ取扱ガ別ニナッテ居リマスルノデ、ソレガ爲ニ刑訴ニ於テモ獨立シテ告訴ノ出来ル者ハ夫ト云フコトニナッテ居ル——只今申サレマシタ、サウスルト全ク夫ガ身心喪失シテ居リ、而シテ法定代理人ノ無イトキニハ、告訴スル者ガ無イデハナイカト云フ御尋デアリマスガ、御尤デアリマス、ソレデアリマスカラ本案ニ於キマシテハ、二百六十三條ニ依リマシテ、左様ナ不都合ノ生ジマシタトキニハ、二百六十三條ニ依ッテ救ヒタイト云フノデ、此二百六十三條ノ規定ガ出来テ居ルコト信ジマス

○横山委員 サウスルト妻ノ獨立告訴權ヲ除外シテ理由ハ、既ニ民法ノ法規ノ上ニ於テ妻ト夫ト待遇ノ異ニシテ居ルノデアリカラ、本案モ其趣旨ヲ承繼致シテ居ルノデアアル、斯ウ云フ事ガ一ツノ理由デスナ

○宮城府委員 他ノ政府委員ノ説明ト、或ハソコハ違ッテ居ルカ知レマセヌガ、民法ニ於テハ先程申シマシタヤウニ、夫ト妻ト地位ト云フモノハ餘程異ッテ居リマシテ、妻ガ法律行為ヲ爲スニハ、夫ノ許可ヲ要スルト云フヤウナコトニモナッテ居ルノデアリマシテ、或ハ商法ニ於テモ、色々妻ト夫トノ關係ハ相違シテ居ル、サウ云フ次第デ、總テノ關係ニ於テ夫ノ出来ル事ハ妻モ出来ルモノデアルト云フヤウナ、日本ノ法制ニハナッテ居ラスト考ヘテ居リマス、二百六十條ノ第一項モ、蓋シサウ云フ趣旨デ左様ニ手續ヲ異ニシタモノデアルト云フヤウニ信ジテ居リマス

○横山委員 民法ノ規定ニ依ッテ妻ノ權利ヲ或ル程度マデ制限シタル理由ハ、御承知ノ通り同一ノ家ニ在ッテ妻ト夫ガ同等ノ權利ヲ持ツト云フ事デハ、父權行使ノ上ニ於テ不便デアルト云フコトデ、夫本位ノ法律ヲ作ッテ居ルノデアリマ

ス、所ガ本條ノ二百六十條ニ於テ、夫ガ被害者ニナツタ場合ニ獨立ノ告訴權ヲ認メルカドウカト云フ事ハ、夫ガ既ニ權利ヲ行使スルコトノ出来ナイ場合、若クハ權利ヲ行使スルコトニ付テ、非常ニ不便ナル場合デアアル、不自由ナル場合デアアル、其場合ニハ妻ガ代リテ告訴スルコト云フコトガ、寧ロ夫權ト云フモノヲ保護スル所以デアルト私ハ考ヘル、此故ニ民法ノ規定ニ於キマシテモ、夫ガ禁治産ニナツタ場合ニハ、妻ガ當然法律上法定代理人トナルト云フコトニナッテ居リマス、其意味カラ申シマスナラバ、妻ヲ此處ニ入レナケレバ、民法ト權利ガ取レナイト思フ、夫ガ獨立シテ告訴ヲ爲スコトノ出来ル場合ニ、妻ノ告訴權ヲ認メルト云フコトハ、ソレハ御説ノ趣旨ノヤウニ不都合ナルモノハ分リマスガ、本案ノ想像シテ居ル場合ハ、既ニ夫ガ獨立シテ告訴ヲ爲スコトノ出来ナイ場合ヲ想像シタノデアリマスカラ、最モ直接ノ利害關係ガアリ、又夫ノ意思感情、習慣性行ト云フモノヲ最モ能ク存ジテ居ル所ノ妻ガ、斯ウ云フ場合ニハ告訴シタ方ガ夫ノ意思ニ合スル、夫ノ性格ニ合スルト云フコトヲ判斷スルニ最モ便利ノ位置ニ在ル、是ハ祖父父母ヨリモ、父母ヨリモ、兄弟ヨリモ妻ノ方ガ夫ノ身邊ノ事情ト云フモノヲ斟酌シテ、此事件ニ付テ告訴スベキカスベカラザルカト云フコトハ、最モ能ク承知シテ居ル譯デ、民法ノ權衡カラ申シマスト、寧ロ妻ノ獨立告訴權ト云フモノヲ認ムル必要ガアルヤウニ思ヒマス、一應御説明ヲ願ヒマス

○宮城府委員 ソレモ一ツノ御御見解ト思ヒマスケレドモ、此案ノヤウニ致シマシタノモ、是モ一ツノ見解デアリマス、成程先程申シマシタルヤウニ、全然告訴スルコトガ出来ナイト云フ場合ガ生ジハシナイカト云フコトニ付キマシテハ、二百六十三條ノ利害關係人ガ妻ハ利害關係人デアリマスカラ、法定代理人トラザル場合ノ二百六十三條ノ働デ出来マスカラ、此案ノ通りニ致シマシテモ支障ハナイト存ジテ居リマス

○横山委員 其餘ハ意見デアリマスカラ申シマセヌ、尙ホ進ンデ本案ニ付テ御尋致シテ置キタイノハ、被害者ノ法定代理人又ハ夫ガ獨立シテ告訴ヲ爲スコト云フ場合ニ、其本人ノ意思ニ反シテ告訴ヲ爲スコトガ出来ルカドウカ、御承知ノ通り第二項ニハ、被害者ノ死亡シタル場合ニ告訴ヲ爲スコトヲ得ル者ノ資格ヲ定メデアリマス、其場合ニハ被害者ノ明示シタル意思ニ反スルコトヲ得ズト云フ規定ガアル、然ルニ二百六十條ノ第一項ノ場合ニ於テ、意思ニ反シタル場合ヲ想像シテ居ラスノハドウ云フ意味デアリマス、即チ言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、意思ニ反シタル告訴ヲスルコトガ出来ルノデアアルカ、ドウカト云フコトヲ伺ヒタ

○宮城府委員 御説ノ通り、第一項ニ「獨立シテ」ト云フノハ、被害者ノ意思ニ反シテモ出来ルノデアリマス

○横山委員 ソレハ甚ダ不都合ナ規定デナイカト思ヒマス、元來此法定代理人トカ、或ハ夫ト云フ者ニ對シテ獨立ノ告訴權ヲ認メル趣旨ハ、本人ノ利益ヲ計ル爲デアアル、而モ本人ガ意思表示ヲ爲スコトニ付テ不便デアアル、意思ガ不完全デアアル、斯ウ云フヤウナ場合ヲ想像シテ、告訴權ヲ認メテ居ルノデアリマスカラ、ドウモ犯罪事件ガアツタ場合ニ、諸種ノ事情ニ基キテ、告訴ヲシタクナイト云フコトヲ本人ガ言ッテ居ルニモ拘ラズ、又其意思ガ極メテ明瞭ナルニモ拘ラズ、ソレヲ進ンデ法定代理人又ハ夫ガ、其意思ニ反シテ告訴スルコト云フヤウナコトハ、洵ニ不都合ナ規定デアルト思ヒマス、殊ニ死亡シタル場合ニハ、被害者ノ明示シタル意思ニ反スルコトヲ得ズト云フ規定ガアル以上ハ、ソレト權衡ガ取レナイト思ヒマス、死亡シタル場合ニ於テハ死亡者ノ意思ヲ忖度シテ、死者ガ貴イカ、生キテ居ル者ガ貴イカト云フト、私ハ生キテ居ル者ガ貴イイト思フ、サウスルト本案ノ趣旨ト云フモノハ、只今政府委員ノ御話ノヤウナコトニスルト、生キテ現ニ此世ニ存在シテ居ル人ノ意思ト云フモノヲ毫モ斟酌シナイ、即チ生キテ居ル所ノ意志ヲ尊重シナイデ、既ニ死亡シテ、法律上資格ヲ失ッタ此世ノ人デナイ人ノ意思ヲ尊重スルト云フ、平仄ノ合ハナイ規定ガアルノデアリマス

○宮城府委員 第一項ノ「被害者ノ法定代理人又ハ夫」ト云フ者ハ被害者ノ保護者トシテ最モ大切ナル者デアリマス、斯ウ云フ者デアアルカラ、先ヅ意思ニ反シテモ、保護者トシテ被害者ノ利益ヲ保護スル地位ニ在リマスカラ、告訴ヲスルコトニシテモ宜シイ、併ナガラ如何ニ保護者ガ被害者ノ利益ヲ保護セヌト致シマシテモ、能ク考ヘテ見マシタ所ガ、被害者ノ利益ヲ保護スル途デハナカッタ、被害者ノ言フ通り告訴シナイ方ガ宜カッタノデアルト云フコトニナレバ、本案ニ於テモ現行法ニ於テモ、告訴ノ取ダゲト云フコトモ認メテアリマスカラ、ソレデ意思ニ反シマシテモ、一項ト二項トノ間ニサウ甚シキ不權衡ハナイト思フテ居リマス

○横山委員 然ラバ議論ハ別ト致シマシテ、本條ノ第二項ニ於テ、被害者ガ死亡シタル場合ニ其親族ノ者ガ告訴ヲスルト云フ場合ニ、何故ニ被害者ノ明示シタル意思ト云フモノヲ尊重シテ、サウシテ「被害者ノ明示シタル意思ニ反スルコトヲ得ズ」ト云フ但書ノ規定ヲ置イタノデアリマス

○宮城府委員 一項ノ法定代理人、夫ト云ヒマスルノト、二項ノ家督相續人直系ノ親族、又ハ兄弟姉妹ト云フ様ナノハ、聊カ隔ッテ居ルヤウニ思ヒマス、殊ニ被害者ハ死亡シテ居ルノデアリマス、其死者ガ告訴ヲシテハナラヌト云フ

ノニ拘ラズ、遺族が告訴ヲスルト云フコトハ、死者ノ意思ヲ尊重スル所以デナイト云フ所カラ、二項ハ明示シタル意思ニ反シタナラバト云フコトニ、ナルノデアラウト存ジテ居リマス。

○横山委員 ドウモ御説明が徹底セヌ様ニ思ヒマス、私ノ聴様ガ惡イカ知リマセヌガ、尙ホ重ネテ申上ゲテ置キマスガ、例ヘテ見レバ二百六十條ノ第一項、法定代理人ノ場合ヲ想像シテ申シマス、爾ク精神ノ喪失ノ狀態ニ在ル人ニシテモ、全然平靜ニ復シテ、サウシテ完全ナル人ト意思ノ上ニ於テ毫モ差違ノ場合ヲナイ想像セネバナラヌ、ソレカラ又他ノ例ヲ舉ゲマスレバ、人間ガモウ既ニ十九、二十ト云フ年齢ニ達シテ、モウ三ヶ月カ半年デ丁年ニ達スルト云フ場合、サウ云フ様ナ場合ニハ、其人ハ法律ノ想像シテ居ル以上ノ、完全ナル意思能力ヲ有テ居ル者ガ澤山アルト謂ハナケレバナラヌ、ソレカラ又他ノ例ヲ舉ゲマス、妻ガ既ニ丁年以上ニ達シテ居ル、サウシテ財産權等ニ付テ立派ナ鑑識ヲ持テ居ルト云フ場合ニハ、妻ガ被害ヲ受ケタケレドモ、是ハ告訴シタクナイト云フヤウナ場合モアル、其場合ニ法定代理人若クハ夫ガ、全然本人若クハ妻ノ意思ヲ無視シテ、何所迄モ告訴スルト云フヤウナコトハ、寧ロ一家ノ平和ヲ破ルヤウナ事ヲ爲サシムル規定ニ歸著スルト考ヘマスカラシテ、私ハ斯ウ云フ規定ハ無イ方ガ宜イト考ヘテ居リマス、先ヅソナ意味カラシテ、一方ニ於テ先刻申上ゲル妻ノ告訴權ヲ認ムル方ガ宜イデハナイカト思ヒマス、而シテ第二項ノ規定ト權衡ガ取レナイ、第二項ノ場合ハ例ヘテ見レバ、被害者ガ暴行脅迫ヲ受ケタト云フ場合ニソレガ適當ダト思ヒマス、其死亡者ガ生前ニ、告訴スル事ヲシナイト云フ意味ヲ明示シテ居ル場合デモ、暴行脅迫ニ依テ、加害者ニ對シテ非常ニ畏怖ノ念ヲ持テ居ル場合ハ、非常ニ誤解ノアル場合ニ、告訴ヲシタクナイト云フコトヲ明言シテ居ルカ知ラヌガ、後日ニ至テ被害者ガ誤解デアツタ、若クバ意思ノ脅迫ヲ受ケテ居ル場合ニハ、此所ニ規定シテアル配偶者、家督相續人、直系ノ親族、又ハ兄弟姉妹ト云フヤウナ者ガ、寧ロ明示シタ意思ニ反シテ居ル告訴ヲ提起スルト云フコトハ、却テ被害者ノ眞意ニ適スル、斯ウ云フ場合ハ想像シテ言ヒマスレバ、第一項第二項ガ權衡ガ取レナイノミナラヌ、一項モ二項モ不都合ナ次第アルト思ヒマス、今一應進ンデ御説明ヲ願ヒマス。

○山岡政府委員 此點ハ宮城府委員カラ段々御答致シタヤウデ、一項ハ要スルニ此利益保護ヲ完全ニ出來ル立場ニ居テ規定シテ居ル、法定代理人、夫ト云フ者ハ、妻又ハ保護ヲ受ケマスル所ノ幼者其他ノ者ニ付テ、完全ニ利益ヲ代表スル者デアルト云フ見地デ此案ハ立案シテアリマス、其事

ハ獨リ此所バカリデナク、上訴ノ所ニ行キマシテモ、其他ノ所ニ行キマシテモ其見地カラ規定ガアリマス、ソレ故ニ此獨立シテ告訴權ヲ與ヘテ以テ、被害者ノ利益ガ完全ニ擁護出來ルト斯ウ云フ意味合デ、ソレデアリマスカラシテ、此規定ニ依テ告訴ヲ獨立ニシテ、被害者ノ意思ニ反シテモ尙ホ且ツ之ヲ認ムルト云フノハ、其事ガ無能力者其者ノ完全ナル判斷ヨリモ、ヨリ好キモノデアルト、斯ウ云フ理窟デアアルカラ、私ハ理窟ハ完全ニ通テ居ルと思フ、此點ハ嚮ニ申シマシタヤウニ上訴ノ方デ、現行法ニ於テハ、法定代理人ハ獨立シテ上訴ガ出來ル、即チ被告ハ最早服罪シテ、刑ニ服シタイト云フ淺薄ナ考ヲ持テモソレハ許サナイ、獨立シテ上訴スル、斯ウ云フコトニナリマス、此規定ハ現行法ノ立

前カラ言ヒマシテモ相當ナル根據ガアル、又此案、全體カラ申シテ、特別ニ之ヲ認メテ居ルノデアリマス、其點ニ付テ段々ト以前ニモ、夫以外ノ妻ニ對シテ、同等ノ權利ヲ與ヘテハイカヌト云フ御議論ガ出テ居ルコトヲ承知シテ居リマス、ソレハドウモ一考スベキ價值ノアルコトハ私モ認マラス、妻ト夫ト權利ガ或場合マデ同等ニ認メナケレバナラヌト云フ事ハ、議論シテ論理トシテ之ヲ認メテ宜イ、併シ我國ノ今日マデノ立場ハ妻ハ夫ニ順フ、斯ウ云フ關係ニ在リマシテ、淳風美俗ノ問題トシテ、果シテソレガドウデアルカト云フ問題ナラバ、勿論考ハ色々アラウト思ヒマス、アリマスルガ、先ヅ今日ノ所デハ妻ハ夫ニ順フ者デアアル、斯ウ云フ者ト認メテ本案ハ出來テ居ル、ソレ故ニ衡ハ即チ妻ニ對シテハ、特ニ之ヲ保護スベキ保護者ト云ウテモ宜イ地位ニ在ルト云フ見地デ、法定代理權ヲ與ヘルト同等ノ意味デ告訴權ヲ與ヘタノリ、勿論妻ニ付テハ、一考スベキ價值アル事ハ認メルノデアリマス、ソレカラ尙ホ二項トノ權 問題デアリマス、是ハ全く其趣旨ガ違フノデアリマス、デ被害者ガ死亡致シマスルト云フ、是ニ於テ此被害者ガ、此事件ハ最早何人モ手ヲ著ケテ吳レテハ困ル、自分ノ死シタル後ニ於テハ、決シテ之ヲ事件ニシテ吳レルコトハイケナイト、斯ウ云フ意味ヲ表示シテ死シタル場合ニハ、此死者ノ行動ヲ其後ノ社會ニ於テ批判スルガ如キコトハ、一切之ガ無イコトヲ相當トスル、斯ウ云フ死者トノ關係、稍々少シ行過ギマスカモ知レマセヌガ、宗教的ノ見地、死シタル後ニ於テハ彼レノ意思ヲ尊重シテ、絕對ニ此事ニ付テ行爲ノ關係ニ批判ヲ與ヘナイト斯様ナ意味デアリマシテ、一項トハ餘程其趣旨ノ存スル所ガ異ンデ居ルノデアリマス。

○横山委員 然ラバ此二百六十條ノ二項ノ但書、即チ被害者ガ死亡シタル場合ニ於テ尙ホ質問シテ置キマスガ、此但書ニハ「被害者ノ明示シタル意思ニ反スルコトヲ得ス」ト斯ウ書イテアル、先刻モ例ヲ舉ゲテ申シテ置キマシタガ、未ダ御

答辯ガアリマセヌガ、被害者ノ明示シタル意思ガ取違ガアル、併ナガラ告訴ヲシテ吳レテハ困ルト云フコトヲ明示シテ居ッタガ、ソレハ暴行脅迫告訴ナドノ事ニ依テ不完全ナモノデアッタト云フ其場合ニ於テモ、尙ホ告訴ガ出來ナイノデアリマス。

○山岡政府委員 不完全ノ意思表示ノ場合ニ於テ、其明示シタル意思ト言ヒ得ルカ否カガ程度ノ問題ニナラウト思ヒマス、強キ脅迫デアリ、強キ詐欺デアアルト、ソレハ意思表示ニハナラナイコトハ、私ノ申ス迄モナク御承知ノ通りデアリマス、即チ強キ詐欺、強キ脅迫デアリマスレバ、此但書ハ適用サレナイノデアリマス、弱キ脅迫、弱キ詐欺デアリマスルナラバ、意思表示ハ完全ニ成立致シマス、其成立シタ以上ト云フモノハ、假令違イ原因、即チ違因ニ於テ錯誤アツテ見タ所デ、之ヲ以テ明示シタル意思ナントハ言ヘナイ、要スルニ意思表示ノ本體ニ於テ誤ラズシテ、ドウカ是以上問題ニスルコトハ避ケタイト云フトキニハ、矢張認メテ宜カラウト存ジマス、サウ云フ次第デアリマス、要スルニ本體ニ付テ「犯罪タルノ本體ニ付テ諒解ガアツテ、ソレデ諒解シタ」ニ述ベタ限リハ、之ヲ告訴處罰スルト云フコトハシナイガ相當デアラウト考ヘタル譯デアリマス。

○横山委員 サウ致シマス能ク分リマシタ、尙ホ言葉ヲ詰メテ申シマスルト強キ脅迫、即チ詐欺脅迫ガ意思表示ヲ爲シタル原因トナツテ居ル場合デ、法律上無効ナル場合ニハ、無論明示シタル意思ト云フ中ニハ包含シナイ、比較的程度ノ弱キ脅迫詐欺、即チ民法ノ規定デゴザリマスレバ、取消スコトヲ得ルト云フニ過ギザル場合ハ、明示シタル意思ト云フ中ニ包含スルト見テ置イテ宜シイカ。

○山岡政府委員 サウデス。

○横山委員 第三項ニ付テ御尋ヲ致シマス、第三項ノ規定ハ「百八十三條ノ罪ニ付テハ之ヲ適用セス」ト云フノデアリマス、詰リ姦通罪ノ場合ニ於テハ、其法定代理人又ハ夫ハ告訴權ガ無イ、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、其立法ノ理由ヲ承リタイ。

○山岡政府委員 是ハ刑法ノ問題ニ牽聯シマスノデ、刑法ニ於テ特ニ此本夫ノ告訴ヲ待テ之ヲ論ズル、斯ウ云フ風ニ此條文ハ書イテアリマス、外ノ條文デアリマス、云フ、常ニ被害者ノ告訴ヲ待テ之ヲ論ズルト云フノガ例文デアリマスガ、此法文ニハ本夫ノ告訴ヲ待テ之ヲ論ストアリマスカラシテ、一切被害者トシテ廣イ意味ハ認メナイト云フノガ、刑法ノ精神デアルト云フコトデアリマス。

○横山委員 併ナガラ此有夫ノ婦ガ姦通ヲ致シタル場合ニ、其夫タル者ガ、二百六十條ノ冒頭ニ於テ想像致シテ居ルガ如ク、法定代理人ニ附セラレタル場合ガアル、而シテ第一

項ニ於テ私ガ質問スル場合ニ於テハ十九、二十ト云フヤウナ、殆ド丁年ニ達スルコトノ目眩ノ間ニ迫ッタ場合ヲ想像シテ申上ゲマシタガ、今度ハ遂ニ妻ノ姦通シタル場合ニ、夫ガ全ク知覺精神ガ無キ場合ガアル、夫ハ瘋癲病院ニ入ッテ居ルトカト家ヲ別ニ致シテ居ルトカ、或ハ瘋癲病院ニ入ッテ居ルトカ云フヤウナ場合ニ於テ、二百六十條ノ如キ原則ヲ設ケルナラバ、寧ロ此姦通罪等ノ場合ニ於テ特ニ規定スル必要ガアルト思フ、二百六十條ガ一般的ノ法規ヲ設ケルヨリ、寧ロ今言フ様ナ場合ニ、夫權保護ノ爲メ淳風美俗ヲ保護シテ行ク上カラ申シマシテモ、斯ウ云フ場合ニハ、法定代理人ノ告訴權ヲ認メル必要ガアルト思ヒマスガ、何ガ故ニ之ヲ除外シタノデアリマスルカ、尙ホ一層御説明ヲ願ヒタイ

○山岡政府委員 是ハ一ノ説トシテハ御尤ナ節モアルト云フ事ヲ申上ゲテ宜シ、併シ刑法ハ具體的ニ本夫ノ告訴ヲ待ッテ、之ヲ論スルコトシテ、告訴權ノ主體ヲ定メテシマッテ居リマス、之ヲ擴張スルコト云フコトハ、刑法ヲ寧ロ改正スルコト云フ結果ニ陷ルノデアリマス、ソレデアリマスカラシテ、刑法ノ精神ヲ動カスト云フコトハ適當デナイ、斯ウ云フ見地カラスノ如クシタノデアリマス、其當否ハ姑ク措テ、刑法第三百三十八條ノ二項ニ、本夫ノ告訴ヲ待ッテ、主體ガ定メテ居ル、其點ハ御諒承ヲ願ヒタイ

○横山委員 妙ナ事ヲ御斟酌ニナツタモノト思ヒマスガ、何モ告訴權ノ主體ガ定メテ居ルカラ、其法定代理人ニ於テヤレヌト云フ道理ハ無い、例ヘバ民法ノ規定ニ於テ法定代理人ガアッテ、サウシテ本人ノ爲メ色々便利ヲ計ルト云フ規定ガアッテ、刑事訴訟法ノ規定ニ依ッテ、又之ニ關スル實體法規ト觸レル法規ヲ設ケラレヌト云フコトハ、立法ノ原則ニ於テ無イ譯デ法律ノ解釋ト致シテハ、手續法ヲ以テ實體法ヲ變更スル解釋ハ避ケナケレバナラヌガ、立法問題ヲ議スルニ當ッテ、何モ刑事訴訟法デ刑法ヲ改正シヤウカ、實體法ヲ以テ手續法ヲ改正シヤウガ差支ナイト思ヒマス、現ニ私ガ言フガ如ク、告訴權ヲ認メル必要ガアルト思ヒマス、民法ニ於テ法定代理人ヲ認メ、刑法ニ於テ告訴權ヲ認メタガ宜シ、万一本夫ガ意思能力ノ不完全ナ爲メ告訴ガ出來ヌ場合ハ、法定代理人ガ進ンデ告訴スルコト云フ事ハ、寧ロ必要ハ無イカト思ヒマス、殊ニ民法ノ規定ニ依レバ、御承知リ通り夫ガ十七歳デ妻ガ十五歳デアレバ、モウ結婚年齡ニ達シテ居ル、サウ云フ若イ夫婦ノ場合ニ、十七、十八ト云フ夫ハマダ學校ニ行ッテ居ルトカ其他ノ場合デ、非常ニ告訴スルニ不便デアル、自分デ告訴スルコト云フコトガ、學校へ行ッテ居ル手前カラ云ッテモ面白クナイ、サウ云フ場合ニ代ッテ法定代理人ガヤルコトヲ認メルト云フコトハ、刑法ノ改正ニハナラヌ、本人ガヤルコトニナルナラバ、殊ニ十七、十八

歳ト云フ夫デアルナラバ、姦通罪ノアツタ場合ニ、之ヲ告訴シタガ宜イカ惡イカト云フコトハ、本人ノ判斷ニノミ任スコトハ是コソ危險デアル、一家ノ平和ヲ計リ、社會ノ風紀ヲ維持シテ行ク上ニ、其本人ノ利益ヲ保護スル所ノ一切ノ責任ヲ持ッテ居ル、法定代理人ニ、此鑑識ヲ一任シタガ便利デアルカラ、便宜ノ點カラ云ッテモ、必要ノ點カラ云ッテモ、寧ロ第三項ノ規定ハ逆ニ進ンデ告訴權ヲ認メル方ガ、私ハ實際ニ適スルト思ヒマスガ、更ニ進ンデ承リタイノデアリマス

○山岡政府委員 御述ニナツタ點ハ、實際ノ必要及此法律關係ヲ見テ、形式上ニ刑法ノ規定ヲ動カスコトモ差支ナイト云フコトモ私ハ異存ノ無い所デ、然レドモ刑法ニ於テ本夫ノ告訴ニ待ッテ之ヲ論スルコトアル以上、刑法ヲ改正シナイ限り、此ノ精神ヲ破壞スルコト云フコトハ穩當デナイト思フ、而シテ刑法ヲ改正シテモ、廣ク告訴權ヲ與ヘルト云フコトノ是ガ適當ナルヤ否ヤト申シマスレバ、是ハ沿革ノアル事デアリマシテ、舊刑法ニ於テ御承知ノ通り斯ノ如クニナツテ居リマス、殊ニ此案ニ於テハ、斯ノ如キ場合ニ於ケル告訴ハ寧ロ狹メル、斯ウ云フ立場ニ在ルコトハ、二百六十四條ニ、百八十三條ノ罪ニ付テハ、婚姻ヲ解消シ、若クハ離婚ノ訴ヲ提起サレナケレバ告訴ノ效ガ無い、斯ウ云フ風ニ言ッテ居ルノデアリマスカラ、寧ロ此案ノ立場ハ、告訴ヲ能ク擴張シテ行クニ非ズシテ、縮少スル見地ニ在リマスカラ、一層刑法ノ精神ヲ擴大スルコトハ認メナイ譯デアリマス、斯ノ如ク決定シタ次第デアリマス

○横山委員 サウスルト此婦人ノ位置ニ對シテ、政府委員ノ頭ハ矛盾シテ居ルコト思ヒマス、所謂上訴權デアルトカ、告訴權デアルト云フ場合ニハ、無暗ニ妻ノ權利ト云フモノヲ制限シテ、即チ女ト云フ者ヲ劣等ナ地位ニ置イテ、其事ヲ前提シテ法律ヲ作ラレタアルト云ッテ差支ナイ、サウスルト本案ニ來ルト、今度ハ馬鹿ニ女ノ方ノ肩ヲ持ッテ、姦通御免ト云フ規定デアル、所謂世間其例ニ乏シカラヌコト御承知ダラウト思ヒマス、裁判所ニ能ク現レルコトデスガ、現ニ姦通ヲシテ居ッテ、其姦通スルコト云フコトヲ知ラヌハ、町内ノ地蔵ト本人バカリダト云フ、而シテ地蔵サント云フ場合ハ意思能力ノ無い場合、即チ本人ガ氣狂ニナツテ瘋癲病院ニ入ッテ居ルトカ、若クハ夫ガ馬鹿デ法通知リツ、告訴ガ出來ナイデ、近所ノ者世間ノ者ガ切齒ヲシテ、夫ノ意氣地ナイコトヲ目撃シナカラ、告訴ガ出來ナイト云フノハ、法律ノ缺點デアル、節操上ノ多クノ場合ハ、告訴ヲ被害者タル本人ノ意思ニ任スルコトハ適當デアリマスガ、私ノ學ガタヤウナ場合ハ何トカ方法ヲ設ケナケレバ、社會ノ良風美俗ヲ維持スル所以デナイト思ヒマス故ニ、サウ云フ場合ハ被害者

ノ親族、兄弟、父母ガ告訴スルコトハ差支ナイ、司法當局ハ良風美俗ヲ保護シナケレバナラヌト云フコトヲ申サレテ、本案ニモ訓示ノ規定ヲ設ケラレテ居ル、殊ニ内閣ノ方針トシテモ、刑法民法ヲ通ジテ、良風美俗ニ關スル法規ノ制定ヲシテ貫ヒタイト云フ意思ガ發表セラレテ居ル、斯ノ如キ場合ニ當ッテ姦通御免ノ法規ヲ其儘默認シテ、本法ニ於テ之ヲ制限スルコト云フコトハ、法律改正ノ任ニ當ッテ居ル政府ガ不深切デアルト思フ、立法論トシテモ、刑法ニ告訴權ノ本體ヲ定メテアッテモ、其活動スル方法ヲ手續法ニ於テ規定スルノハ當然デアル、即チ本人ノ意思ヲ忖度シテ、斯ノ如キ場合ニ於テハ本人ノ意思ナリトシテ親族ガヤルコト云フコトハ、手續法ニ於テ當然爲スベキ任務デアルト考ヘル、本案ノ二百六十三條ニ依ッテ告訴ヲ爲スコトヲ得ベキ者ノ無キ場合ハ、檢察ガ利害關係人ノ申出ニ依ッテ緩和スルコト云フコトナラバ宜シイガ、二百六十三條ハ私ノ申シタ場合ニ當ラナイト思フ、私ノ申スノハ告訴ヲ爲ス者ガ居ルノデアル、假ニ私ハ一家ノ戸主トシテ、私ノ伴デ十七歳中學ニ入ッテ居ル、サウシテ妻ガアルトスル、其妻ガ姦通シタ、所ガ子供ガカラ能ク分ラナイ、ソコデ相當ノ鑑識ヲ持ッテ子供ヲ最愛スル所ノ父デアリ戸主デアル者ガ、被害者ノ子供ヲ代表シテ檢事ノ所ニ行ッテ、子供ノ妻ガ斯ノ如キ事ヲスルカラ救済シテ貰ヒタイト云フコトヲ言フノハ、良風美俗ヲ維持スル所以デアルト思フ、ナゼ司法當局ハ斯ウ云フ法律ヲ作ラレタノデアルカ、私ハ諒解ニ苦ムノデアリマス

○山岡政府委員 只今御説明ノ様ナ場合、小サイ子供ガ妻ヲ持ツトキニナルト、心理的ニモ生理的ニモ、相當ナル判斷力ヲ姦通問題ニ付テ有シテ居ル、ソレ故ニ本人ガ理非ヲ考ヘテ、是ハ告訴シナイデモ宜シイト云フモノヲ、強テ處罰スル必要ハ無い、殊ニ本夫ガ姦通ヲ縱容シタルトキハ告訴ノ效ナシト云フノデ、本人ガ認メタカ否ヤト云フコトハ罪ノ成立ニモ及ンデ居ル、此罪ハ利害ノ論理的問題ヨリモ感情ノ問題デアル、本人ノ感情ハ罪ノ成立ニモ關係シ、處罰モ之ニ基キマスノデ、感情ニ依ッテ定ムルノデアリマスカラ、他ノ人ニ依ッテ本夫ノ感情ヲ推測スルコトハ出來ナイコトデアリマス、感情ハ各人各個ニ違ッテ居リマス、理論ヲ利害ハ他ノ人カラ判斷ハ出來マスガ、感情ハ本人デナケレバ分リマセヌ、故ニ吾々司法ノ職ニ居ッタ場合デモ、吾々ノ想像ノ出來ナイヤウナ告訴ノ關係ガ此問題ニ付テ出テ來ル、サウシテ本夫ガ告訴シテ來ルカト思ヘバ、忽チニシテ取下ゲル、控訴上告マデ行ッテモ、尙ホ取下ゲテシマウコトガアルノデアリマス、此罪ハ到底常識ヲ以テ他ヲ推スコトハ出來ナイノデアリマス、司法官ノ立場カラ申セバ、事件ヲ搜查審理シテサウシテ取下ゲルト云フコトハ多クアル事例デアリ

マス、ソコガ即チ姦通罪ノ特徵デアリマス、要スルニ本人ノ感情ニ依テ決スルノデアリマスカラ、寧ロ此案ノ規定ガ至當ト存ジマス

○横山委員 只今ノ御答ハ、私ノ質問致シマシク夫ノ年齢ガ十七カ十八ノ場合ニハ適合シテ能ク分リマスカラ、夫ガ感情ヲ有クナイ場合ニハ瘋癲白痴ノ病院ニ入ッテ居ル、絶對ニ知覺精神ヲ有ッテ居ラナイ場合ニハ、感情ノ保護ノシ様ガナイ、サウ云フ場合ハドウスルノデス、姦通罪ハ夫ノ處分權ニ一任シテアリマスカラ、他ノ犯罪ト同ジク極メテ惡性ノモノデアッテ、之ヲ放任スレバ國家ヲ破壞シ、社會ノ秩序ヲ紊ル所ノ、反國家性反社會性トシテ嚴重ニ處罰セントシテ居ルケレドモ、一面ニ於テ夫ノ感情ヲ保護シナケレバナリマセスカラ、一家ノ祕事ヲ夫ノ意思ニ反シテ許ク事ハ、家庭ノ平和ヲ維持スル上ニ於テ宜クナイト云フ一面ノ理由ヲ斟酌シテ、夫ノ告訴權ト云フモノヲ告訴ノ條件トシテ居ルデアリマスカラ、御説ノ如ク夫ガ十七歳十八歳ニ達シテ、姦通罪ノ處罰ヲ處分スルコトニ付テ能力アル場合、即チ感情ヲ持ッテ居ル場合ハソレデ宜シウゴザイマセウケレドモ、感情ノ絶對ニ無イ場合、其場合ニ國家ガ一面ニ於テ嚴正ナル處罰規定ニ設ケナガラ、親族ノ者モ、故舊ノ者モ、アノ夫ガ瘋癲病院ニ行ッテ居ル其留守中ニ、妻ガ不義ヲ事ヲシテ居ルト云テ切齒振腕シテ居ル場合ニ、尙且ツ之ヲ放任シテ居ルト云フコトナラバ、夫ガ氣狂ニナツタ場合ニハ、姦通御免デアルト云フ事ニナル、ソレハ決シテ日本帝國ノ良風美俗ヲ保護スル所以デナイ、デアルカラ十七歳十八歳ト云フ感情ヲ有スル場合ハ、今ノ御説明ヲ段々承認スルコトシテモ、絶對ニ意思能力ヲ有クナイ場合ニハ、私ノ申上ゲル不都合ガ起ルト思ヒマスカラ、此點ニ付テ御説明ヲ伺ヒタイ

○山岡政府委員 其點ニ付キマシテハ、感情ヲ有シナイガ故ニ、判斷ノ出來ナイ程度ノ瘋癲モアリマセウト思ヒマス、併ナガラ瘋癲ト雖モ、不治ナモノノミニ限ッテ居ラナイ、時々感情ノ回復スルコトガアルノハ申上ゲル迄モナイ事デアアル、全ク知覺精神ヲ喪失シテ、死者ト同等ニナツテシマツタ場合ニ今ノ御議論ガ悞ルノデアリマスカラ、サウ云フ場合ハ洵ニ少ナイノデアリマシテ、其場合ト雖モ罪ノ性質ガ既ニ本人ノ感情ヲ基本トシテ、特別ナル規定ガ刑法ニアル以上ハ、其稀有ナ場合ニ於テモ、矢張本人ト云フモノヲ基礎ニシテ、他カラ之ヲ批判スル事ヲ許サナイ、斯ウ云フノガ矢張罪ノ性質ニ合フと思フ、斯ノ如キ特別ナル場合ハ例トシテ考ヘマスト、即チ純粹ナル心神喪失ニ陥ッテ、死ヌマデ回復ラシナカッタ、此場合タケハ確ニ御議論ノ通りニナルケレドモ、今日マデ此點ニ付テ別ニ不都合モ見テ居ラヌノデアリマス、實際ノ社會狀態ニ照シテ、今日迄ノ取扱ニ於テ別段ノ不都合モ見出サナイノミナラズ、二百六十條ニ於テ今度ハ一層制限スルノデアリマスカラ、此案ノ精神カラ考ヘマスト、特ニ其稀有ノ場合ヲ想像スル必要ハ無イ、斯ウ云フコトニ申上ゲテ宜カラウト思ヒマス

○横山委員 ソレ以上ハ理解デアリマスカラ、ソレハ宜シウゴザイマスカラ、併ナガラ今ノ説明デハ決シテ満足シテ居リマセヌノミナラズ、實際ニ不便ヲ感ジテ居ルノデアリマス、司法省ニハマダ見エヌノカモ知レマセヌガ、吾々民間ニ於テ十數年間社會ノ裏面ニ關スル事件ヲ取扱ッテ居ルノデ、不便ヲ感ズル場合ガ屢々アル、本人ハ委任狀ト雖モ、名前ヲ書ク事モ出來ヌ、判ヲ捺ス事モ出來ヌ、唯々風雨寒暑ト云フ身體的ノ感情ヲ有スルノミデ、世ノ中ノ事ニ一切通ジナイ、莫モ小便モ垂レ流シト云フヤウナ場合ニ其妻ガ姦通ヲシテ居ル、サウシテ貴重ナル財産ヲ姦夫ニ貢イデ居ルト云フヤウナコトハ、之ヲ如何トモスルコトガ出來ナイコトニナツテ居リ、ソレハ財産ノ保護ニ付テハ相當ノ方法モアリマスカラ、節操問題ハ如何トモスルコトガ出來ナイト云フ場合ガアル、司法省デハソレガ見エヌダケアル、實際ハ非常ニ困ッテ居リデス

○黒住委員 政府委員ニ御尋致シマスカラ、二百六十條ノ被害者ノ法定代理人ト云フ法定代理人ノ範圍ニ、財産管理人ハ這入リマスカ

○山岡政府委員 此法定代理人ト申シマスカラ、サウ云フ風ナ個々ノ者ハ這入リマセヌ、總テ廣ク民法ニ於テ法定代理人ト稱スル者ダケデス

○黒住委員 財産ニ關スル犯罪ニ付テハ、財産管理人ニ告訴權ヲ認メルト云フコトガ、最も必要ト考ヘマスカラ、此點ニ對スル御所見ヲ伺ヒタイ

○山岡政府委員 サウ云フ風ナ特別ノ場合ニ於キマシテハ他ノ法律行為ノ點ニ於テ、補充スルコトガ外ニアルモノト認ナケレバナリマセヌ、財産ダケ管理シテ、ソレデ他ノ事ハ見ナイデ宜イト云フ場合ニハ、本人ノ方ニ於テ働ガアル、或ハ財産以外ノ關係ニ於テ能力ヲ補充スル關係ガアル執レニシテモ、財産ダケニ限ッテ居ルト云フ部分的ノモノデアリマスカラ、其場合ヲ豫想シナイデモ差支ナイト考ヘマス

○黒住委員 今ノ御説明デハ満足ガ出來マセヌカラ、一ツ例ヲ申上ゲルト直ニ分ルト思ヒマス、殊ニ私共ノ方ニハ餘計有ルノデス、海員ガ行衛不明ニナツテ、サウシテ所謂法律上ノ死亡、即チ失踪ノ宣告ニ至ラザル場合デアル、財産管理人ト云フモノハ屢々之ヲ設定スルノデアリマス、是等ニ付テ此所ニ書イテアルモノト同様ニ告訴權ヲ認メマセヌト云フト、不在者ノ財産管理人ノ精神ニモ悞ルト思ヒマス、此點

ハ如何デアリマスカ

○山岡政府委員 其場合ニ於キマシテハ、主トシテ財産罪デアリマス、器物毀棄トカ云フ事ニ關係スルノデアリマス、暴行デアルトカ、或ハ脅威デアルトカ云フ、サウ云フ特殊ナ方面ニ於テハ必要デアリマス、要スルニ毀棄罪程度ノ問題デアリマス、サウ云フモノニ付テ、實際トシテ稀ニ必要ナル場合ガナイトモ限リマスカラ、併シサウ云フ個々ノ事柄一部分ノ代理者ニ、此法定代理人トシテ告訴權ヲ與ヘルト云フコトハ如何デアリマセウカ、若シソレガ與ヘルト云フコトニナレバ、個々ノ——此案デハ到ル處ニ被害者ノ法定代理人ト云フモノガアル、上訴モ出來ルト云フコトニナル、サウ云フコトハ適當デナカラウト思ヒマス、ダカラシテ彼所デハ廣ク解シ、此所デハ狹ク解スルト譯ニハ行クマイト思ヒマス、財産管理人ガ、被告人ガ服罪シヤウト云フノヲ上訴シヤウト云フコトハ、甚ダ不都合デアル、サウ云フ譯デアリマスカラ、既ニ上訴ノ所ニ於テサウ云フ事ハ許スベカラザル以上ハ、此所ハ廣ク解釋シテ、一部ノ代理人ト云フコトニハ行カナイと思フ、ソレハ廣義ニ解釋スレバ一部ノ代理人デハ法定代理人ニハ違ヒナイガ、此案全體カラ見テ法定代理人ト、斯ウ云フニ見テ法定代理人デアルト解釋シテ居リマス

○黒住委員 私人ノ考デハ上訴ノ場合ハ餘程本條ハ違フト思フ、理由ハ別ニ申上ゲマセヌガ、此法定代理人ノ外ニ、尙ホ此條ニ限ッテ財産管理人ト云フ者ヲ入レルト、何カ差支ガアリマセウカ

○鶴澤委員長 一寸私ハソレニ關聯シテ御尋致シマスカラ、財産管理人ノ只今ノ黒住君ノ御尋ハ、或ル場合ニハ財産管理人ガ被害者ニナリハシマセヌカ

○黒住委員 サウ云フ場合モアリマス、併ナガラ私ガ先程事例トシテ舉ゲマシタ場合ハ、サウ云フ事ニハナリマセヌトキニハ……

○鶴澤委員長 ナル場合ガ多イヤウデスネ、告訴デモ起ストキニハ……

○山岡政府委員 ソレハ此所ヘ入レマシテモ、告訴ノ方ト上訴トハ違ヒマスカラ、運用ノ上ニハ差支ナイト思ヒマス、ガ、解釋トシテ申上ゲタ次第デアリマス、全體ヲ通ジテ法定代理人ト云フコトハ、サウ解シナケレバナラスト考ヘテ居リマス

○鶴澤委員長 第二百六十一條ノ第二百六十二條

○横山委員 死者ノ名譽ヲ毀損シタル場合ニ、死者ノ遺族後裔ガ告訴ヲ爲スコトヲ得ルトナツテ居リマスカラ、此遺族後裔ト云フコトハ常識デハ分ッテ居リマスカラ、法律トシテ適用スル場合ニ、此遺族後裔ノ範圍ヲ明定シテ置ク必要ガアル

ルト思フ

○山岡政府委員 横山サンノ御分リニナラヌト同ジニ、實際範圍ガ分リマセス、唯テ遺族後裔ト云フノデ、三百代經ッテモ後裔ト云フコトガ出來ルノデアリマスカラ、立案ノ際ニモ大分議論ガアリマシタガ、其時ニ讓ルヨリ仕方ガナイト存ジマス、遺族ト云フコトニナリマスト極ク範圍ガ狭クナリマスノデ、何百年モ過ギタ後ニハ、ドンナ惡口ヲ言ッテモドウスルコトモ出來ヌカラ、ソレデハイカスト云フノテ後裔ト致シタノデ、是ハ系圖ニ依ッテ其後裔タル事ガ明カデアレバ、ソレニ依ッテ決定スルヨリ仕方ナイノデアリマス

○横山委員 サウスルト少クモ斯ウ云フ事ニ解釋シテ宜シウゴザイマスガ、後裔ト云フ場合ハ系圖ニ依ッテヤルト仰シヤルト、數十百代繼續致シテ居ル直系ノ後裔ト云フ事ニナルデセウガ、例ヘバ補正成ハ國家ノ忠臣デアルト歴史デナッテ居リマスガ、一面カラハ補正成ハ忠臣デナイ、或ハ兒島商德ハ虚偽ナ者デ、無イ者デアルト云フヤウナ、歴史ヲ抹殺スルト云フヤウナコトガアッタ場合ニ、兒島商德ノ直系ノ後裔ガアリ、若クハ補正成ノ直系ノ後裔ガアッタ場合ニハ、告訴ガ出來ルト云フコトダケハ明瞭デセウナ

○山岡政府委員 サウデス

○横山委員 ソレカラ遺族デスガ、或意味ニ於テハ遺族ト後裔トハ區別ガ無イ、遺族即チ後裔デアリ、後裔即チ遺族デアリマスガ、後裔ト云フモノハ私ニマデ法律デ見タ事ガアリマセスガ、要スルニ死者ノ血ノ續イタ、遙ク數代後ノ者ヲ後裔ト形容シテ居リマス、サウスルト遺族ト云フ場合ハ、親族ニ非ザル後裔ニ當ルノデスカ、死者ノ親族ニ當ル場合ハ、民法ニ依ッテ範圍ガ定メテ居リ、遺族ト云フ者ガ別ニアルト、遺族ト後裔ノ區別ガ分ラヌ、後裔ハ極メテ制限サレタ者デ、系圖ニ依ッテ見レバ分ルト云フヤウナ事デ、定義ハ困難ノヤウデアリマスガ、後裔ト遺族トハドウ云フ區別ニナリマスカ

○山岡政府委員 其點ハ斯ウ思フノデス、被害者タル死者ガ死シマシタ場合ニ、其處ニ存在シテ居、タ者ハドンナ者デモ遺族デアリマセウ、其後ニナッテ生レテ來タ者ハ遺族ト云フコトハ出來ヌカラ、ソレハ後裔デアルト云フヤウニ考ヘテ然ルベキ事ト思ヒマス、而シテ尙ホ一言附加ヘテ申シマスガ、遺族後裔ト云フト非常ニ範圍ガ廣クナリマスガ、之ヲ告訴シ得ル範圍ト云フモノハ、其人ノ名譽ニ何等カノ事情ガ牽聯シテ影響ガアル場合ニ於テ、此告訴ヲ爲サシメルト云フ風ナ解釋ヨリ、自然ニ後裔ノ範圍遺族ノ範圍ト云フモノガ出來テ來ヤウト思フ、テ居ルノデアリマス、結局解釋ハ其邊ヘ落著クドラウト思ヒマス

○横山委員 親族ノ場合ハ無論能ク分、居リマスガ、サウスルト死スル場合ニ殘ッテ居、タ者デ、民法ノ規定ニ依ッテ親族ノ關係ノアル者ハ、無論告訴ガ出來ル、而シテ其親族以外ノ遺族ト云フノハ、死亡當時ニ其處ヘ殘ッテ居、タ者ト云フノデスガ、死亡當時ニ其處ヘ殘ッテ居、タ者ノ中カラ、民法上ノ親族ヲ引去ラシマウト、民法上ノ親族ニハナラヌケレドモ、民法ノ規定ニ依ッテ、家族トシテ其家ニ遺ッテ居、タ者ト云フヤウニ、諒解シテ宜シウゴザイマスカ

○山岡政府委員 家族トシテ遺、タ者ト云フノデハナイノデ、親族ト云フ意味デアリマシテ、家族ト親族ト云フ意味ト思フノデアリマス、家籍ヲ同ジウスルノガ家族デアリマスガ、家籍ヲ同ジウスルト否トハ、毫モ關係ガ無イノデアリマス、要スルニ事實上ノ親族ト斯ウ見レバ宜カラウト思ヒマス

○横山委員 分リマセスガマアソレデ……

○宮古委員 此親族遺族ト云フ者タケハ先ヅ宜イトシテ、後裔マデ告訴權ヲ與ヘルト云フコトニシタナラバ、歴史ノ研究ナドハ殆ド出來ナクナッデシマヒハシナイカト思フ、實際兒島商德ト云フ者ハ無イモノデアルト云フコトヲ研究ノ結果知ツタナラバ、其意見ヲドシ、發表スル外ニハナイ話デ、ソレヲ遠慮シテ居ルト云フ事ハナイ話デアリマセウシ、一般ニ忠臣ト思フテモ、忠臣デナイト云フ意見ヲ吐ク學者モアルト思ヒマスガ……

○山岡政府委員 サウ云フ事ハ刑法デ謂フ誣妄ノコトヲ言ハヌケレバ犯罪ニナラヌノデス、歴史ノ眞實ヲ言フ場合ニハ、サウ云フ事ハ無イト思ヒマス

○宮古委員 ソレハ其實事ヲ十分ニ調査ノ上ノ話デアリマスガ、所謂後裔ト稱セラレル者ガ見テ、矢張毀損ヲサレタモノデアルト言ッテ、ドン、告訴スルト云フ場合ガ出來テ來ルト思フ、サウスルト歴史ノ研究等ニ付テ、惡イ影響ヲ及ボスヤウナ事ガナイカト思ヒマスカラ、是ハ親族遺族ダケニ止メテ、後裔ト云フコトハ除クコトニシタラドウデセウ

○山岡政府委員 サウ云フ御説ニナレバ一言申上、ゲテ置キマスガ、此後裔ヲ除去リマス、死者ノ名譽ヲ毀損シタト云フ罪ヲ罰スル精神ガ立タヌノデアリマス、親族遺族デアリマスレバ廣ク解釋シマスレバ、親父ノ名譽ヲ毀損スレバ、酷イ惡イ事ヲ書キマス、其子ノ名譽ニモ影響シテ來ルカラ、其子ノ名譽毀損デアルト云フ解釋モ出來ナイ事ハナイ、サウ云フ近イ程度ノ者デアリマス、死者ヲ誣妄スルニ出ヅル所ノ名譽毀損ハ規定シナイデモ宜イ、本人ノ名譽ヲ毀損シタト云フ、ソレダケデ解釋ハ足リルノデアリマス、然ルニ死者ノ名譽ヲ毀損スル罪ヲ刑法ガ殊ニ規定シタ所以ハ、ドレダケ經ッテモ靈魂ニ對シテ惡口ヲ言フベキモノデアナイ、斯ウ云フ精神デアリマスカラ、百年デモ二百年デモ、之ヲ保

護シナケレバナラヌト云フコトニナリマスカラ、ソコデウシテモ後裔ト云フコトハ必要デアリマス、唯タ先刻御述ニナツヤウナ歴史ハ、眞實ヲ傳ヘナケレバナラヌ、其障リニナラヌカト云フ點デスガ、是ハ刑法ノ上カラ眞實ノ事ヲ書現シタコト、學問上カラ之ヲ解釋スルト云フ點ニ付テハ、犯罪不成立デアリマス

○横山委員 二百六十二條ニ付テハ、適用ハ極メテ狭イ法律デアリマセウガ、後日ハドウ見ルノデアラウト思ヒマス、又裁判所デモ非常ニ困難ヲ感ズルノデアリマス、故ニ遺族ト後裔ト云フコトニ付テ、何カ材料ガアリマスナラバ、其材料ニ依ッテ斯ウ云フ事ダト云フコトヲ定メテ、明瞭ニ口デハ言ハナイデ文章デ書イテサウシテソレヲ速記ニ留メルコトニ致シタイ、是ハ私ノ希望デアリマス

○鶴澤委員長 政府ニサウ申シマセウ、第二百六十三條——第二百六十四條

○横山(勝)委員 二百六十四條ハ重大ナ規定デアルト思ヒマス、是モ亦司法省ガ民法ヲ解セザルガ爲ニ、斯ウ云フ規定ヲ設ケタノデアルト考ヘマス、詰リ姦通罪ノ場合ニ於テ、婚姻ガ解除スルカ、ソレカラ離婚ノ訴ヲ起シタ後デナクテハ告訴ガ出來ナイ、即チ協議上ノ離婚ヲシタ場合、ソレカラ協議上ノ離婚ガ出來ナイカラ、民法ノ規定ニ依ッテ裁判所ニ出訴シタ場合、斯ウ致シマスル、一面ニ於テ離婚ヲ勸メル結果ヲ生ズル、姦通ノアツタ場合ニ、其本夫タル者ハ婚姻ハ繼續シテ行キタイケレドモ、罪ハ罪トシテ嚴重ニ司法權ノ糾彈ヲ受ケタイト云フ念ヲ持ツ場合ガ屢アル、此觀念ヲ現行法ノ規定ニ於テハ承認セラレテ居、決シテ咎ムベキ事デハナイ、妻ガ姦通ヲシタ場合ニ、一方ニ於テ告訴ヲシテ處罰ヲシテ、ソレガ濟ンダナラバ、婚姻關係ヲ繼續シテ行キタイト云フ希望ハ決シテ咎ムベキデナイ、罪ハ罪、婚姻ハ婚姻トシテ繼續シテ行カウト云フノハ、何モ不都合ナ事デハナイ、然ルニ離婚ヲシナケレバ告訴ガ出來ナイト云フコトニナレバ、或ル宗教デハ非常ニ罪惡トシテ居、離婚ト云フモノヲ、政府ガ勸誘スルコトニナル、是ハ社會ノ秩序ヲ保護スル上ニ於テモ、甚ダ宜シクナイ規定ト思ヒマス、ソレカラ離婚ノ訴訟ヲシナケレバ告訴ガ出來ナイ、是ハ濫訴ノ弊ヲ法律ガ勸誘スル結果ヲ生ズル、姦通ガアッテモ、必シモ離婚シタイト云フ希望ヲ持ツ者バカリトハ限リマセヌカラ、斯ウ云フ規定ヲ置クト、法律ガ自ラ裁判ヲセヨト勸メルノデアリマス、是ハ甚ダ弊害ノ有ル規定ト考ヘマス、左様ナ意味デアリマスカラ、ドウ云フ譯デ斯ウ云フ規定ヲ御設ケニナツタノデアリマスガ、私ハ全ク理由ヲ知ルニ苦シムノデアリマス、吾々ノ考トシテハ、現行法ニ於ケル告訴不可分ノ原則

スラ、必要の共犯デアル所ノ姦通罪ノ場合ニ於テハ制限シテ貫ヒタイト云フ希望ヲ持ツテ居ル、即チ妻ガ姦通シタ場合ニ夫ノ感情ヲ保護シテ居ル、此點カラ云フト、姦通ノアツタ場合ニ姦通ノ相手方タル姦夫ノミヲ罰シテ、妻ハ罰シタクナイト云フノガ多ク、場合本夫ノ希望デアル、其場合ニ、告訴スレバ、罰シタクナイ妻モ之ヲ罰スルコトニナル爲ニ、告訴不可分ノ原則ヲ探ツテ居ルト云フコトハ、法律ガ本夫ノ感情ヲ保護スルコト云ヒナガラ、本夫ノ感情ニ反シタ事ヲヤツテ居ル、而シテ必要の共犯トカ其他ノ場合ニ於テ、一人ガ罰セラレテ、一人ガ罰セラレヌノハ、裁判ノ威信ニ關スルト云フヤウナ論ヲスル人ガアルケレドモ、今日ノ裁判ノ實際ハドウデス、十人モ二十人モ賭博ヲシタ場合ニ、其張本人ヲ一人若クハ數人捕ヘテ之ヲ處罰シ、其他ノ者ハ釋放シテヤルト云フ事實ガアル、デアルカラ立法上ノ問題トシテ、告訴不可分ノ問題ヲ解決スルニ當テハ、少クとも姦通ノヤウナ場合ニ夫ガ妻ヲ罰シタクナイ、誤ラテ姦通ノ罪ヲ犯シタクレドモ、妻ニ對シテハ愛情ガ冷却セヌカラ、婚姻關係ハ繼續シテ行キタイト云フ希望ガアル併ナガラ姦夫ハ憎イカラ罰シテ貫ヒタイト云フ希望ヲ持ツ場合ガ屢々アルト思フ、吾々ガ實際ニ當テヤツテ見ルト、家内ハヤリタクアリマセヌガ對手ガ餘リ憎イカラト云フ、サウスルト家内モ一緒ニ行クカト云フト、ソレナラ止メニシヤウト云フ、是ガ或ル程度マデ姦通御免ト云フコトニナル、是ハ甚ダ不都合ナ事ト思ヒマスカラ、寧ロサウ云フ弊ヲ矯メル爲ニ、告訴不可分ノ原則スラ緩和シテ貫ヒタイト云フ希望サヘ持ツテ居リマス、ソレデアリマスカラ、本條ノ如キハドウ云フ譯デ斯リマス、規定ヲ御設ケニナリマシタカ、ソレヲ御説明願ヒタイ

○山岡政府委員 此點ハ二ツノ立場ガアリマス、一、現行法ノ如ク婚姻ノ解除ヲ原則トシナイ立場、此方ハ處罰ヲ可分スルト云フ方ニ聯結スル立場デアリマス、今日ニ於テハ姦通ニ付テモ、處罰ヲ可分シテ居ル場合モアリマス、實ハ此罪ノ處罰ヲ可分スルヤ否ヤト云フコトハ餘程問題デアリマス、然ルニ今日ノ實際ハ處罰ヲ可分シテ、一方ダケ罰シテ居ル例ガアリマス、所デ今一ツノ立場カラ行クト姦通罪ハ可分ヲ許サナイ、兩者ヲ罰シタクテハナラス、斯ウ云フ見解デアリマシテ、此案ノ如キ婚姻ノ解除セシメタ上デ二人共罰スル、即チ告訴不可分ヲ絕對ニ通ス、斯ウ云フ見解デアリマス、孰レガ適當デアルカト申シマス、勿論是ハ考究スベキ問題デアリマス、凡ソ一家ノ本ハ、婚姻關係ニ依ツテ發生スルモノデアリマスカラ、是ハ實ニ社會問題トシテモ、重大ナル問題トシテ考慮シナケレバナラス、ソレデアリマス、デ木案ハ處罰不可分ト云フ見地ノ方ヘ立チマシテ、兩方トモ罰シナケレバナラス、故ニ婚姻ヲ解消シ、然ル後ニ告訴スレバ之ヲ受理スル、然ラザレバ受理シナイ、斯ウ云フ風ニシタノデアリマス、ソレハ御説ノ如ク妻ハ暫ク斯ウシテ置キタイ、憎ムベキハ彼ノ男デアルガ故ニ之ヲ處罰シタイ、斯ウ云フノハ澤山アルノデス、アルガサウ云フ事ガ社會風教ノ上ニ善イカ悪イカト云フコトニナルト、餘程問題デアル、此案ニハ處罰不可分ノ立場ニ立ッテ、此規定ヲ致シタ次第デアリマス、勿論御見解ノ如キ事ハ、主張立派ナ一ツノ理由トナルト思ヒマス、左様ナ次第御諒解ヲ願ヒマス

○山岡政府委員 此立案ノ根據ハ前ニ述ベマシタ通りデアリマシテ、檢察ガ被害者ノ爲ニ使ハレルカラ、ソレヲ制限スルコトデハナイカト云フ御意見デアリマス、ガ、サウ云フコトハ必シモ考ヘテ居ラナイノデアリマス、是ハ寧ロ手數ノ掛ルノハ裁判所デアリマス、裁判所ハ御承知ノ通り公判ヲ開イテ、アレダケノ手續ヲシテ、而シテ裁判書ヲ書イテ渡サナケレバナラス、非常ナ手續デアリマス、手數ノ方カラ言ヘバ寧ロ裁判所ガ愚弄サレルノデ、檢察ノ方ハ起訴狀ヲ一本書ケバソレデ済ムデシマス、サウ云フヤウナ次第デ、決シテ裁判所ガ使ハレルトカ、或ハ檢察ガ被害者ノ爲ニ弄バレルトカ云フヤウナ考ハ少シモシテ居ラナイノデアリマス、先刻申上ゲマシタヤウニ、是ハ重大ナル社會組織ノ根本問題デアリマス、研究ノ結果ヲ一方ノ見地ニ立ッテ斯ノ如ク規定シタノデアリマス、ソレカラ尙ホ附加ヘラレテ御説明ニナラシメシタ密賣淫ノ點デアリマス、是ハ我が處罰令ニ於テハ、密賣淫ヲスルト云フ事ハ、慣習性ニ之ヲ行ツトカ、或ハ營業トシテ行ツトカ、要スルニ反覆シテ行ツト云フコトハ、別ニ條件ニハ規定シテアリマセヌ、併シ之ヲ處罰スル精神ハ、反覆シテスノ如キ行動ヲ爲シテ風紀ヲ害スルト云フ點カラ出テ居ルノデアリマシテ、一箇ノ行動カラ直ニ犯罪ニナルト云フ事實ノモノデハナイ、男女ノ問題ガ一ツニナツタカラ問題ニナルノデ、男子ノ方ニ於テ斯ノ如キ事ヲ反覆シテ爲シテ居ラタ者ガアツタ場合ニ於テ、之ヲ處罰スベキヤ否ヤ、サウ云フ者ノ絕對ニ無イトハ申シマセヌケレドモ、併シ今日ノ場合ニ於テ罰スルノ必要ヲ認メナイ、昔例ノ特別ナル者ガアリ、今日モ或處ニハアルサウデアリマス、ケレドモ、サリナガラ之ヲ罰スル必要ヲ今日認メテ居ラス、要スルニ是ハ反覆シテ行ツテ、風紀ヲ害スルト云フ上カラ男子ノ罰セラレヌノハ當然デアリマスカラ、別ニ之ヲ以テ不公平ナルモノデアルトハナリマセヌ

○山岡政府委員 此點ハ二ツノ立場ガアリマス、一、現行法ノ如ク婚姻ノ解除ヲ原則トシナイ立場、此方ハ處罰ヲ可分スルト云フ方ニ聯結スル立場デアリマス、今日ニ於テハ姦通ニ付テモ、處罰ヲ可分シテ居ル場合モアリマス、實ハ此罪ノ處罰ヲ可分スルヤ否ヤト云フコトハ餘程問題デアリマス、然ルニ今日ノ實際ハ處罰ヲ可分シテ、一方ダケ罰シテ居ル例ガアリマス、所デ今一ツノ立場カラ行クト姦通罪ハ可分ヲ許サナイ、兩者ヲ罰シタクテハナラス、斯ウ云フ見解デアリマシテ、此案ノ如キ婚姻ノ解除セシメタ上デ二人共罰スル、即チ告訴不可分ヲ絕對ニ通ス、斯ウ云フ見解デアリマス、孰レガ適當デアルカト申シマス、勿論是ハ考究スベキ問題デアリマス、凡ソ一家ノ本ハ、婚姻關係ニ依ツテ發生スルモノデアリマスカラ、是ハ實ニ社會問題トシテモ、重大ナル問題トシテ考慮シナケレバナラス、ソレデアリマス、デ木案ハ處罰不可分ト云フ見地ノ方ヘ立チマシテ、兩方トモ罰シナケレバナラス、故ニ婚姻ヲ解消シ、然ル後ニ告訴スレバ之ヲ受理スル、然ラザレバ受理シナイ、斯ウ云フ風ニシタノデアリマス、ソレハ御説ノ如ク妻ハ暫ク斯ウシテ置キタイ、憎ムベキハ彼ノ男デアルガ故ニ之ヲ處罰シタイ、斯ウ云フノハ澤山アルノデス、アルガサウ云フ事ガ社會風教ノ上ニ善イカ悪イカト云フコトニナルト、餘程問題デアル、此案ニハ處罰不可分ノ立場ニ立ッテ、此規定ヲ致シタ次第デアリマス、勿論御見解ノ如キ事ハ、主張立派ナ一ツノ理由トナルト思ヒマス、左様ナ次第御諒解ヲ願ヒマス

○山岡政府委員 此立案ノ根據ハ前ニ述ベマシタ通りデアリマシテ、檢察ガ被害者ノ爲ニ使ハレルカラ、ソレヲ制限スルコトデハナイカト云フ御意見デアリマス、ガ、サウ云フコトハ必シモ考ヘテ居ラナイノデアリマス、是ハ寧ロ手數ノ掛ルノハ裁判所デアリマス、裁判所ハ御承知ノ通り公判ヲ開イテ、アレダケノ手續ヲシテ、而シテ裁判書ヲ書イテ渡サナケレバナラス、非常ナ手續デアリマス、手數ノ方カラ言ヘバ寧ロ裁判所ガ愚弄サレルノデ、檢察ノ方ハ起訴狀ヲ一本書ケバソレデ済ムデシマス、サウ云フヤウナ次第デ、決シテ裁判所ガ使ハレルトカ、或ハ檢察ガ被害者ノ爲ニ弄バレルトカ云フヤウナ考ハ少シモシテ居ラナイノデアリマス、先刻申上ゲマシタヤウニ、是ハ重大ナル社會組織ノ根本問題デアリマス、研究ノ結果ヲ一方ノ見地ニ立ッテ斯ノ如ク規定シタノデアリマス、ソレカラ尙ホ附加ヘラレテ御説明ニナラシメシタ密賣淫ノ點デアリマス、是ハ我が處罰令ニ於テハ、密賣淫ヲスルト云フ事ハ、慣習性ニ之ヲ行ツトカ、或ハ營業トシテ行ツトカ、要スルニ反覆シテ行ツト云フコトハ、別ニ條件ニハ規定シテアリマセヌ、併シ之ヲ處罰スル精神ハ、反覆シテスノ如キ行動ヲ爲シテ風紀ヲ害スルト云フ點カラ出テ居ルノデアリマシテ、一箇ノ行動カラ直ニ犯罪ニナルト云フ事實ノモノデハナイ、男女ノ問題ガ一ツニナツタカラ問題ニナルノデ、男子ノ方ニ於テ斯ノ如キ事ヲ反覆シテ爲シテ居ラタ者ガアツタ場合ニ於テ、之ヲ處罰スベキヤ否ヤ、サウ云フ者ノ絕對ニ無イトハ申シマセヌケレドモ、併シ今日ノ場合ニ於テ罰スルノ必要ヲ認メナイ、昔例ノ特別ナル者ガアリ、今日モ或處ニハアルサウデアリマス、ケレドモ、サリナガラ之ヲ罰スル必要ヲ今日認メテ居ラス、要スルニ是ハ反覆シテ行ツテ、風紀ヲ害スルト云フ上カラ男子ノ罰セラレヌノハ當然デアリマスカラ、別ニ之ヲ以テ不公平ナルモノデアルトハナリマセヌ

○山岡政府委員 此立案ノ根據ハ前ニ述ベマシタ通りデアリマシテ、檢察ガ被害者ノ爲ニ使ハレルカラ、ソレヲ制限スルコトデハナイカト云フ御意見デアリマス、ガ、サウ云フコトハ必シモ考ヘテ居ラナイノデアリマス、是ハ寧ロ手數ノ掛ルノハ裁判所デアリマス、裁判所ハ御承知ノ通り公判ヲ開イテ、アレダケノ手續ヲシテ、而シテ裁判書ヲ書イテ渡サナケレバナラス、非常ナ手續デアリマス、手數ノ方カラ言ヘバ寧ロ裁判所ガ愚弄サレルノデ、檢察ノ方ハ起訴狀ヲ一本書ケバソレデ済ムデシマス、サウ云フヤウナ次第デ、決シテ裁判所ガ使ハレルトカ、或ハ檢察ガ被害者ノ爲ニ弄バレルトカ云フヤウナ考ハ少シモシテ居ラナイノデアリマス、先刻申上ゲマシタヤウニ、是ハ重大ナル社會組織ノ根本問題デアリマス、研究ノ結果ヲ一方ノ見地ニ立ッテ斯ノ如ク規定シタノデアリマス、ソレカラ尙ホ附加ヘラレテ御説明ニナラシメシタ密賣淫ノ點デアリマス、是ハ我が處罰令ニ於テハ、密賣淫ヲスルト云フ事ハ、慣習性ニ之ヲ行ツトカ、或ハ營業トシテ行ツトカ、要スルニ反覆シテ行ツト云フコトハ、別ニ條件ニハ規定シテアリマセヌ、併シ之ヲ處罰スル精神ハ、反覆シテスノ如キ行動ヲ爲シテ風紀ヲ害スルト云フ點カラ出テ居ルノデアリマシテ、一箇ノ行動カラ直ニ犯罪ニナルト云フ事實ノモノデハナイ、男女ノ問題ガ一ツニナツタカラ問題ニナルノデ、男子ノ方ニ於テ斯ノ如キ事ヲ反覆シテ爲シテ居ラタ者ガアツタ場合ニ於テ、之ヲ處罰スベキヤ否ヤ、サウ云フ者ノ絕對ニ無イトハ申シマセヌケレドモ、併シ今日ノ場合ニ於テ罰スルノ必要ヲ認メナイ、昔例ノ特別ナル者ガアリ、今日モ或處ニハアルサウデアリマス、ケレドモ、サリナガラ之ヲ罰スル必要ヲ今日認メテ居ラス、要スルニ是ハ反覆シテ行ツテ、風紀ヲ害スルト云フ上カラ男子ノ罰セラレヌノハ當然デアリマスカラ、別ニ之ヲ以テ不公平ナルモノデアルトハナリマセヌ

○横山委員 サウスルト、政府委員ハ斯ウ云フ事ヲ御設ケ
デアリマスガ、斯ノ如キ嚴重ナル條件ヲ規定セラレマシタ
以上ハ、本夫タル者ハ、即チ姦通ノ被害者タル者ハ、餘程ノ
決心ヲセニテ告訴ガ出来ヌト云フノデアリマスカラ、姦通
罪ノ告訴ト云フモノハ、非常ニ減少スルと思フ、ドウモ告
訴ハシタケレドモ、可愛イ妻ト別レナケレバナラヌニコト
ナリマスカラシテ、是ハ告訴ガ非常ニ減テ来ル、是ハ實際
ガラウト思ヒマス、告訴ガ減ルト云フコトニナルト、刑法上
餘程重大ナル事デ、刑法ニ規定ヲ設ケテサウシテ犯罪ヲ處
罰スルト云フコトハ、屢々當局カラ御話ニナリマスル通り、
個人ニ對シテ刑罰ヲ科スル理由ハ、色々説ガアルカラシテ
別ノ問題トシテ、所謂此頃流行ル一般懲戒ト云フコトガ非
常ニ論議サレテ居ル、刑罰權ノ基本ニ關スル重大ナル問題
デ、一人一人ノ人ヲ罰スルコトニ依ッテ千人ヲ懲戒スルト
云フコトガ、刑法ト基本ト云フコトガ吾々先輩諸先生カラ
承ッテ居ル、一人ヲ罰シテ千人ヲ懲戒スル、是ハ刑法ノ大
使命デアル、サウスルト少クトモ姦通罪ニ付テハ斯ウ云フ
嚴重ナル規定ヲ設ケテ、此告訴ヲ爲ス機會ヲ奪フト云フコト
ニナルカラ、一面ニ於テ姦通罪ニ對スル刑法ノ威嚴ヲ失墜
スルコトニナル、夫サヘ許シサヘスレバ宜イ、離婚ヲシナケ
レバナラヌカラ容易ニヤリハシナイ、斯ウ云フコトニナル
ト、刑法ニ姦通罪ヲ設ケテ姦通ヲ禁止シテ、サウシテ個人ノ
道德ヲ清潔ナラシメ、而シテ家族制度ヲ維持シテ行カウト
云フ立法ノ精神ハ、根柢カラ破壊サレテ、即チ一言ニシテ言
ヒマスレバ、姦通ノ告訴ヲ極度ニ減少セシムル、之ガ爲ニ刑
法ノ一大使命デアル所ノ一般懲戒ノ精神ヲ失ヒ隨テ刑法ノ
威嚴ヲ失墜スル、延テ我國ノ良風ヲ破壊スルコトニナルト、
斯ウ云フコトヲ認メルノデアリマスガ

○山岡政府委員 ソレハ此案ノ立場ハ、刑法ノ現行法ニ於
テ本夫ガ姦通ヲ縱容シタルトキハ、此限ニ在ラズ、斯ウ云フ
コトニナルテ居リマスカラ、本夫ノ考次第罪ハ無イノデア
リマス、本夫ノ意思ニ依ッテ行クノデアリマスカラ、本夫ガ
ドウシテモ告訴ヲシナケレバナラヌト云フコトノ意思ヲ固
メル以上ハ、自ラ承諾シタルハ言ハレマセヌ、尤モ承諾シタ
ナラバ、罪ハ不成立デアリマス、ソレト同ジク本夫ノ意思ノ
強弱ト云フコトデ、一般懲戒ヲ害スルコト云フコトハ考ヘテ
居リマセヌ

○横山委員 其答辯ハ私ノ言ツコトニハ當嵌ラヌ、本案ニ
關係シテ質問シテ居ルノハ、罪ノ無イ場合ヲ言フノデハナ
イ、罪ガ有テ而シテ告訴權ガアルニ拘ラズ、告訴權ヲ制限
スルト云フコトニナルカラ、今申シタヤウナ事ニナルノデ
アリマス、其結果ヲ承認スルカト云フ……
○山岡政府委員 私ノ申シタ事ガ御耳ニ達シナカッタノデ

詰リ本夫ガ縱容スレバ罪ガ無イト云フコトハ此罪ハ即
チ本夫ノ考ヘ一ツニ依ッテ罪ノ成立不成立ガ岐レル、ソレデ
アリマスカラ 假令罪ハ成立シテ、告訴シ得ベキ狀況ニナ
テ居ッテモ、本夫ガ何所デモ罰スルト云フ強キ意思ヲ以テ告
訴スルト云フソレダケノ意思ガ無イ、此婚姻ヲ繼續シテ行
キタイト云フ弱イ意思デアルナラバ、恰モ初カラ姦通ヲ縱
容シタルト同等ナル尺度ト見テ宜イト、斯ウ云フ意味ニ申
上ダタノデアリマス

○横山委員 要スルニ理窟ハ申シマセヌガ、此規定モ亦其
他ノ御説明ニ依ッテ、司法當局ノ眞意ノ在所ヲ私ガ忖度致
シマスレバ、決心ノ牢固ナラザル場合ニ於テ屢々告訴ヲ受
ルト云フコトハ、其煩ニ堪ヘナイ、此故ニ斯ウ云フ嚴格ナ規
定ヲ設ルノデアルト云フ意味以外ニ、徹底シタル理由ハ見
受ルコトハ出来ナイ、此規定モ檢察本位ノ規定デ、檢察ガ樂
ニ仕事ヲシテ行カウト云フ以外ニ、其精神ヲ見ルコトハ出
来ナイ、此規定モ私ハ絕對反對デアルト云フコトヲ申上ダ
テ置キス

○鶴澤委員長 一寸政府ニ註文シテ置キマスガ、二百六十
二條後裔ト云フノハ、文字ノ意味ハ確カ其嫡流デアルトカ、
何代何十代ノ嫡流デアルトカ云フ意味デアッテ、サウシテド
レガ後裔ニ當ルカ、當ラナイカト云フコトハ、起訴官若クハ
裁判官ニ於テ、家系トカ主張サレル所ノ事實歴史トカニ依ッ
テ、事實問題トシテ之ヲ解決スルコト云フヤウナ趣意ガ、或ハ
這入ッテ居ルノデハナカラウカト考ヘテ居リマスガ、其邊ニ
對シテ若シ調査材料ガアレバ——ソレカラ第二百六十四條
ニ付キマシテハ、從來告訴ヲシテ取下ゲテ——一番若クハ
二審ニ取下ゲタ例ノ統計ガアルガラウト思ヒマスガ、ソレ
ヲ若シ出來ルコトデアレバ御提出ヲ願ヒタイ、ソレデハ午
後二時カラ……

午後零時二十八分休憩

午後二時十九分開議

○鶴澤委員長 午前ニ引續イテ小委員會ヲ開キマス、第二
百六十五條

○横山委員 二百六十五條ニ於テ、親告罪ノ告訴ノ時効ヲ
六箇月ト致シ理由デス、乃チ二百八十三條ニ於テ、一般ノ
時効ヲ規定シタル様デアリマス、ソレノ特例ヲ設ケタル
理由ハドウ云フノデアリマスガ、之ヲ御説明ヲ願ヒマス

○山岡政府委員 是ハ現行法ニ於テハ何等ノ規定ガアリマ
セヌノデアリマスガ、斯ノ如ク放任シテ置クト云フコトハ、
刑事訴訟ノ上デ適當デナイ、訴追ヲ爲スヤ否ヤヲ、一定ノ時
期ニ於テ確定セシムルニ必要デアル、斯ウ云フ必要論デア
リマシテ、理論上ノ方カラ特ニ斯ノ如クデアルト云フヨリ

ハ、必要論カラ斯クシタノデアリマス

○横山委員 其必要ノ根據ヲ承リタイノデスガ、午前中間
題ニナツタ姦通罪ノ如キ場合、是ハ一家ノ内部ノ私事ニ關ス
ル事デアリマスカラ、他ノ犯罪事件ヨリモ、却テ長ク未解決
ノ狀態ニ在ルノガ多イガラウト思ヒマス、告訴スルノ意
思ガアッテ、親族故舊カラ止メラレルトカ、或ハ離婚ヲスル
トカ、離婚ノ訴訟ヲ起ストカ、其紛擾等ノ爲ニ、色々被害者
ノ關係ニ居ル者ニ於テ煩悶憂慮其他ノ關係ニ於テ、可ナリ
最後ノ告訴ヲ決定スルマデノ時間ヲ要スルト思ヒマス、其
事柄ハ他ノ犯罪事件ヨリモ一層度ガ強イト思ヒマス、デア
ルカラシテ、一般ノ犯罪ノ時効ト云フモノト同様ニスルカ、
若クハソレ以上長ク期間ヲ置イテモ宜シイト私ハ考ヘル、
ソレヲ特ニ短クスルト云フノハ、モウ少シ進ンダ理由ガナ
ケレバナラヌト思ヒマス

○山岡政府委員 別ニ格段ニ六箇月ニシナケレバナラヌト
云フコトヲ、特別ニ此期間ニ依ッテ言フノデアリマセヌ、要
スルニ此權利ハ、一定期間ニ之ヲ行使シナケレバ消滅スル
ト云フコトハ、權利ノ總テニ通ジタルコトデアリマシテ、御
承知ノ如ク民法ニ於テモ消滅時効ト云フモノガアリマシ
テ、一定ノ期間ヲ經レバ消滅シテシマウ、ソレデアリカラシ
テ刑事訴訟法ニ於キマシテモ、公訴時効或ハ刑ノ執行ノ時
效ガ出來テ居リマス、ソコデ告訴ニ付テモ、是ハ特殊ノ權利
デアリマスカラシテ、期間ヲ限ッテ其權利ノ行使ヲ制限スル
コトガ相當デアルト云フコトハ、一般論トシテ申セヤウト
思ヒマス、六箇月ガ相當ナルヤ否ヤハ勿論議論ノ餘地ガア
リマス、ソレデ此案ニ於キマシテ其範圍ヲ六箇月ト致シマ
シタルハ、若モ犯罪ガアッテ、其時カラ六箇月ト云フコトデ
アリマスレバ、ソレハ考慮ノ餘地ハアリマス、誰カ其罪ニ當
ル行爲ヲシタ者ガアルト、斯ウ云フコトヲ知ッテカラ六箇月
デアリマシタナラバ、十分ニ考慮ノ餘地ガアルト思フノデ
アリマス

○鶴澤委員長 第二百六十六條、第二百六十七條

○宮古委員 第二百六十七條ノ告訴ト云フノハ、是ハ親告
罪バカリデナシニ、一般ノ告訴ニ付テノ規定デアリマスガ
ト云フコトハ、ソレカラ是ハ親告罪デアレバ直ニ刑ノ方ニ
關係シマスガ、親告罪デナイ限りハ、告訴ヲ取消シテモ取消
サナイデモ同ジコトニ見エマスガ、左様デアリマスガ

○山岡政府委員 此點ハ親告罪ニ付テノ必要カラ規定致シ
マシタルノデ、親告罪ト書イテアリマスレバ、直ニ只今御説ノ
如ク取消シテモ取消サナイデモ影響ハ無イガ、此規定ノ働
ハ親告罪ニ付テ働クノデアリマス、隨テ前二項ノ規定ハ、所
謂親告罪デアルト云フコトニ解釋スベキモノト考ヘマス
○宮古委員 告訴ト云フノハ此所ニハ一般ノ告訴ニ付テ書

イテアルノデ、唯タ親告罪トアレバ直ニ刑ニ影響スル、外ノモノデアレバ影響シナイモノデアルト、斯ウ考ヘテ宜シイノデアリマスカ

○山岡政府委員 此所ハ親告罪ト解釋スル方ガ適當デアリマス、即チ二百六十六號ニ於テ、告訴ヲ爲スベキ場合ニハ危害ガ他ニ及バナイノデアリマスカ、二百六十五條ノ場合ハ親告罪ノコトデ、要スルニ言葉ヲ略サレテ居ルモノト見タ方ガ相當ト思ヒマス

○宮古委員 今山岡君ガ言フ通りニスルナラバ、少シモ違ッテ居ラスヤウデアリマスカ、是デサウ云フ風ニ見エマスカ
○山岡政府委員 ソレハ十分ニ解釋出來ルト思ヒマス、ト云フノハ二百六十七條ノ第三項ハ、請求ヲ待テ受理スベキモノヲ特ニ之ヲ準用シテ居ル以上ハ、本文ノ方ガ、本來ノ親告罪デアルト、斯ウ云フ事ハ容易ク分ルト思ヒマス

○横山委員 サウ致シマスルト能ク分ッテ居ル事デスカ、上告前ニ於テモ許サスコトニナリマス
○山岡政府委員 御説ノ通りデアリマス

○横山委員 サウスルトソレハ從來ノ例ニ變更ヲ加ヘラレダ譯デアリマス、ソレヲ二審トシテ理由ハ何所ニアリマスカ、即チ上告審ニ於テ告訴ノ取消ヲ認メスコト云フコトデアルナラバ、矢張二審ニ於テモ其理由ガナクチヤナラス、元來處罰條件トナリ、訴訟條件トナッテ居ル告訴ト云フモノヲ受ケテ、如何ニ處分權ガアルカラトハ云ヘ、大審院ニマデ至ッテ居ルモノヲ、告訴ノ取消ニ依ッテ大審院ガ免訴ノ裁判ヲスルト云フコトハ、如何ニモ裁判ヲ愚弄スルノ弊ガアル、裁判威信ノ上カラ論ジテ面白クナイ事デアリマスカ、議論トシテハ、上告審ニ於テハ告訴ノ取消ヲ許サスコト云フコトハ、洵ニ宜カラウト思ヒマス、併ナガラ其意味ナラバ二審ノ判決ガアルマデト云フヨリ、寧ロ一審ノ判決方アッタ場合ニモ、サウ云フコトガ言ヘルノデアリマスカ、唯ダ裁判所ノ審級ヲ異ニスルガ故ニ、二審ノ判決アルマデト云フコトニスルト云フ意味ハ無イ、デアルカラ一審ノ判決ガアッタ後ハ、モウ取消ハ出來ナイト云フコトニシタ方ガ、裁判ノ威信ヲ保ツ上ニ於テ結構デアルト思ヒマスガ、特ニ二審ノ判決アルマデトシテ理由ヲ承リタイ

○山岡政府委員 其點ハ一審ノ判決アルマデニスルト云フコトモ、一説デアアルコトハ私モ認メマス、併シ日本ノ刑事訴訟ノ原則カラ申シマスレバ、二審ノ判決トスル方ガ相當デアリマス、其理由ハ御承知ノ通り我國ノ控訴審ト云フモノハ、純然タル覆審デアリマシテ、一審ト何等ノ變リハ無イ總テノ點ヲ一審通りニ調ベルソコデ此案ニ於テモ斯ク長イ間ノ慣習ヲ捨テ譯ニハ行カナイ、實ハ控訴審ハ續審主義ヲ執ッテ、不服ノアル部分ダケヲ調ベルト云フノガ相當デアリマス、不服ノナイ部分ヲ調ベルト云フ道理ハ無イ、然ルニ在來覆審主義ヲ執リマシテ不服ガアレバ全部一審通りノ事ヲ致ス、此案モ亦斯ノ如ク覆審主義ヲ執リマシタモノデアリマスカ、事實ノ總テヲ調ベル最終マデハ取消ヲ許ス、斯ウ云フ見地カラ二審ノ判決アル迄ト致シテ澤デアリマス

○横山委員 サウスルト二項ニ付テ承リマスガ、告訴ノ取消ヲ爲シタル者ハ更ニ告訴ヲ爲スコトヲ得ス、是ハ暴行脅迫ニ依ッテ告訴ヲ取消シタル場合、又ハ詐欺ノ原因ニ依ッテ告訴ヲ取消シタル場合ニハドウナリマスカ

○山岡政府委員 ソレハ何デゴザイマス、裁判所ノ判決ト云フモノハ、此場合ニ於テ裁判所ノ裁判ヲ以テ事件ヲ終結致シマス、事件ヲ終結致シテシマヒマスレバ、ドウモ如何ニ錯誤ガアル意見表示デアッテモ、絕對ニ拘束サレタル意思表示デアッテモ裁判ノ結果如何トモスルコトハ出來ナイノデアリマス、ソレガ意思表示ト見ラレナイ限りハ、裁判所ニ於テ其取消ヲ有效ト認メルベキモノデアリナイノデアリマス、形バカリアッテモ、告訴ノ取消或ハ告訴スルト云フコトハ、申スマデモナイ意思表示デアリマス、意思表示ガ無イト云フ以上ハ效力ハアリマセス

○鶴澤委員長 二百六十八條

○横山委員 是ハ午前中ノ質問ト竝ニ應答トニ依ッテ、略々司法當局者ノ意見ハ分ッテ居ルノデアリマスカ、尙ホ重ネテ本條ニ付テ承リ置キタイノハ、親告罪ニ付共犯ノ一人又ハ數人ニ對シテ爲シタル告訴又ハ其ノ取消ハ他ノ共犯ニ對シ亦其ノ效力ヲ生スルコト云フ規定ハ、所謂午前中ニ申上ゲタ告訴不可分ノ原則ヲ書イタモノト思ヒマス、果シテ左様ニ了解シテ宜イカドウカ、而シテ尙ホ進ンデ御尋シタイノハ、必要共犯ノ場合、即チ姦通罪ノ如キ場合、ソレカラ或ハ必要共犯ニ非ザル共犯ノ場合、總テ之ヲ包含スルモノト認メテ宜シイノデアリマスカドウカ、ソレカラ尙ホ不可分ノ原則ヲ認メザル理由ハドウカ、ソレカラ不可分ノ原則ハ檢察ノ起訴權ヲ拘束スルカドウカ、即チ檢察ハ必ず二人ヲ起訴スルコトヲ要スルカ、若クハ告訴不可分ノ原則ニ依ル場合ニハ、總テ犯人ヲ悉ク起訴スルヲ要スルノデアルカ、犯人ノ一人ノミヲ起訴シテ、他ヲ不起訴ニスルト云フ自由モアルノデアリマスカ、此數點ヲ承リタイ

○山岡政府委員 第一點ハ御意見ノ通りデアリマス、現行法ニ於テ此規定ヲ缺イテ居リマス、隨テ必要共犯デアリマシテハ、單純共犯デアリマシテモ、共ニ是ノ適用ガアリマシタルデモ、單純共犯デアリマシテモ、共ニ是ノ適用ガアリマシタル規定ハ無イノデアリマスカ、是ハ裁判ノ慣例ニ依ッテ、永年行ヒ來ッテ居ルコトハ諸君ノ御承知ノ通りデアリマス、既ニ

行ッテ居ルカラ之ヲ認メタト云フ單純ナル理由ノミナラズ、共犯者デアリマスレバ、是非結果ガ同等ニ出ナケレバナラスト云フコトガ一ツノ理由デアリマス、共犯ニ拘ラズ、告訴權者ノ愛憎ニ依ッテ、一ハ罰シ、一ハ罰セズト云フコトニナリマス、所謂司法ノ公正ト云フコトヲ缺クコトニナリマス、其立場カラシテ、共犯ニ付テハ被害者ノ愛憎ヲ以テ差別ヲ許サナイ、斯ウ云フコトガ之ヲ認メタル根本ノ理由ニナリマス、其理由ヲ貫イテ參リマス、荷モ告訴ガアッテ全部不起訴ニスルナラバ、格別、起訴スル以上ハ全部起訴シナケレバナラス、斯ウ云フノガ論理ノ一貫デアリマス、合法主義デ行キマスルト當然サウナルノデアリマスカ、是ハ自然逐條審議ノ後ニ出マス、二百八十一條ニ關係ヲ持ッテ來ルノデアリマス、矢張共犯ト云フモノニ付テ、訴追條件ガ到來致シマシテ起訴ノ出來ルヤウニナッテモ、檢察ハ公益ノ見地カラ一部分ヲ起訴シナイ、斯ウ云フコトガ出來ルト謂ハナケレバナラスノデアリマス、本案ニ於テハ其見解ヲ以テ立案致シタルデアリマス

○横山委員 サウ致シマス、最後ノ場合ニ付テ尙ホ御尋致シマスガ、假ニ必要共犯ノ場合ト見テ、即チ姦通ヲ爲シタル場合ニ、告訴ハ不可分ノ原則ニ依ッテ其關係者ノ全部ニ及ブ、即チ姦夫姦婦ノ兩人ニ及ブ、其事案ヲ檢察ガ受理スルニ當ッテ、其姦婦ノミヲ起訴シテ男ノ姦婦ヲ起訴シナイ、若クハ反對ニ男ノ方ヲ起訴シテ婦人ノ方ヲ起訴シナイト云フコトハ、本案ノ運用上差支ナイコトニナリマスカ

○山岡政府委員 本案ノ法律的見方カラ致シマスレバ、只今御意見ノ通りニナリマス、唯タソレハ午前中ニ述べマシタヤウニ、婚姻ヲ解消シテ而シテ兩者ヲ告訴スベキモノデアル、斯ウ云フコトハ二百六十四條ハ考ヘテ居ル譯デアリマス、今日一人ニ對シテ起訴シタル事例ノアルコトハ、司法當局トシテハ普通ノ事ト思ウテ居リマス、姦通罪ニ付キマシテハ、之ヲ區別スベキ理由ト云フモノハドウシテモ出テ來ナイ、之ヲ區別シテ行クト云フガ如キハ、全く是ハ適當ナル處置トハ申シマセス併シ此案ニ於テハ起訴ノ所定任意主義ヲ採リマシタ故ニ、是ダケヲ除外スル規定ヲ置クト云フコトハ聊カ堅苦シイ事ニナリ過ギルノデアリマスカ、ソレハ致サスノデアリマス、司法當局トシテハ、今日ノ一方ヲ起訴シテ居ラスト云フ事例ニ付テハ、甚ダ穩當ヲ缺イテ居ルト斯ウ考ヘテ居リマス

○横山委員 御意見ハ分リマシタガ、私ノ申上ゲタノハ、其一人ノミヲ起訴シテ一人ヲ起訴セザルコトハアッテモ、違法ト云ヘナイト斯ウ承シテ宜シウゴザイマスカ
○山岡政府委員 左様
○横山委員 此第一項ノ規定ト第三項ノ事デアリマス、第

三項ハ姦通罪ノ場合ニ相姦者ノ一人ニ對シテ告訴ヲスレバ、其告訴ハ取消ガ、他ノ一方ニ對シテ效力ヲ生ズルト云フコトハ、全ク二百六十八條第一項ノ適用ヲ示シタヤウニ見ヘラス、之ヲ置クコトニシテ實益ハ何所ニアリマスカ

○山岡政府委員 此規定ヲ置キマシタコトニ付キマシテハ、此規定ガ無クテモ、解釋出來ナイト云フコトハナイト云フコトハ言ヘヤウト思フ、然ルニ稍、無益ノ規定ノ如クデアリマスガ、此姦通罪ニ付テハ議論ノアルコトデアリマセウガ、刑法ニ於テ相姦者亦同シト云フ風ニ、別ニ方法ガ書イテアルノデ、ソレカラハ出テ居リマス、有夫ノ婦姦通シタルトキニ於テハ云々懲役ニ處スベシ、是ガ單純ナ共犯デアレバソレデ澤山デアル、然ルニ相姦スル者亦同シト分立シタ規定ヲ刑法ガ置イテアル、是ニ於テ議論ガ單純ナル場合ヲ共犯ト云フ以外ニ、一方ダケノ犯罪ガ成立シ、而シテ相姦スル者亦犯罪デアルト云フコトデ別々ニナッテ居ル、刑法ノ立法ガ斯ノ如クナッテ居ルカラ、茲ニ運用法トシテハ、斯ウ云フ規定ヲ致シマシタ譯デアリマス

○横山委員 サウスルト法文ノ解釋トシテハ、二百六十八條第一項デ十分デアルガ、尙ホ從來ノ立法例ノ關係上、便宜的ニ設ケタ規定ニ過ギヌヤウニ承ッテ置ケバ宜シイノデアリマス

○山岡政府委員 大體ソレデ宜シウゴザイマス

○鶴澤委員 是ハ一寸承リマスガ、二百六十八條ノ理由書ノ理由ノ終リノ方ノ第二項相姦ハ共犯ト同一ニ云々トアルノハ、是ハ第三項デヤナイデスカ

○山岡政府委員 第三項デスカ

○鶴澤委員 是ハ一寸承リマスガ、二百六十八條ノ理由書ノ理由ノ終リノ方ノ第二項相姦ハ共犯ト同一ニ云々トアルノハ、是ハ第三項デヤナイデスカ

○山岡政府委員 第三項デスカ

○鶴澤委員 是ハ一寸承リマスガ、二百六十八條ノ理由書ノ理由ノ終リノ方ノ第二項相姦ハ共犯ト同一ニ云々トアルノハ、是ハ第三項デヤナイデスカ

○山岡政府委員 第三項デスカ

○鶴澤委員 是ハ一寸承リマスガ、二百六十八條ノ理由書ノ理由ノ終リノ方ノ第二項相姦ハ共犯ト同一ニ云々トアルノハ、是ハ第三項デヤナイデスカ

○山岡政府委員 第三項デスカ

○鶴澤委員 是ハ一寸承リマスガ、二百六十八條ノ理由書ノ理由ノ終リノ方ノ第二項相姦ハ共犯ト同一ニ云々トアルノハ、是ハ第三項デヤナイデスカ

○山岡政府委員 第三項デスカ

○鶴澤委員 是ハ一寸承リマスガ、二百六十八條ノ理由書ノ理由ノ終リノ方ノ第二項相姦ハ共犯ト同一ニ云々トアルノハ、是ハ第三項デヤナイデスカ

○横山委員 此二百六十八條ノ第二項ト二百六十七條ノ第三項、此請求ヲ待テテ受理スベキ事件ト云フ意味ハ、是ハ親告罪ヲ省イタ他ノ事件ニ關係スル問題グラウト思フ、理由書ニ依リテ見マシテモ——ソレデ請求ヲ待テテ受理スベキ事件ト云フ意味ノ、六十七條六十八條ニ通ジテノ例ヲ舉ゲテ御示ヲ願ッテ置キタイノデスカ

○山岡政府委員 此請求ヲ待テテ受理スベキト云フコトハ、本質ハ告訴ヲ待テテ受理スルコト云フ事ト變リハナイノデアリマス、何ガ故ニ請求ヲ待テト云フコトニ致シタカト申シマスレバ、大體權力ヲ持ッタ人カラ權力ヲ持ッタ者ニ對シテ告グル意味ノ犯罪デアリマシテ、例ヘバ外國ニ關係ノアル場合ニ於テ、其外國カラ申告ラシテ來ルト云フ場合デアリマスカラ、告訴ヲスルト云ウテハドウモ言葉ガ穩カデナイノデ、請求ヲ待テテ致シマシタ譯デアリマス、其例ト致シマシテハ、刑法ノ九十九條ニ、帝國ニ滞在スル外國ノ君主又ハ大統領ニ對シテ、暴行脅迫ヲ加ヘタ場合ノ規定デ、第二項デゴザイマス、滞在スル外國ノ君主又ハ大統領ニ對シテ侮辱ヲ加ヘタ者ハ云々ト云フ、斯ノ如キ權力ヲ持ッテ居ル者カラ出ルノデアリマスカラ、請求ヲ待テテ致シタノデ、唯ダ文字ヲ正シタ、體裁ヲ正シタト云フニ過ギナイノデアリマス

○鶴澤委員 第二百六十九條——第二百七十條

○宮古委員 二百七十條ノ告發ノ場合ハ、二百五十九條ノ告訴ニ付テノ準用デアリマスガ、是ハ所謂惡風美俗ヲ維持スル爲ノ規定デ、結構ナ規定ト考ヘマスガ、唯ダ伺ッテ置キタイト思フ事ハ、是ハ斯様ナ規定ヲ設ケタ結果トシテ、祖父母若クハ父母ノ偽造變造其他ノ犯罪ガ、裁判上證明スルノ困難ナコトニナッテ、ソレガ爲ニ被害者ガ損害ヲ受ケルト云フヤウナ事柄ガアリハシマイカト云フコト、ソレカラ是ハ子孫トナリテハ告發ガ出來ナイノデアラウガ、他ノ者ハ告發スルコトガ隨意ニ爲シ得ルモノト解釋シテ差支アリマセヌカ

○山岡政府委員 探證上ノ問題ニナリマス、唯ダ告訴告發ニ付テハ、捜査ヲ許サスト云フ意味デアリマス、是ハ其他ノ意味デ以テ、捜査ヲ許サスト云フ意味デアリマス、是ハコトハ、此所ノ關係ハ支障ヲ生ジナイノデアリマス、ソレカラ尙ホサウ云フ事ニナリマスカラ、此所ハ要スルニ告訴告發ダケヲ許サナイト云フ除外例デアリマスカラ、其他ニ於テハ何等ハナイト思ヒマス

○宮古委員 私人ノ告訴告發ノ出來ヌ結果トシテ裁判上祖父父母ノ犯罪——偽造變造其他ノ事ガ明ニナナリ得ナイヤウナコトニナリハセヌカ、ソレガ爲ニ被害者ガ損害ヲ受ケルコトニナリハシナイカ、刑事ノ方デアレバ調ベレバ分ルガ民事デハサウ云フ譯ニ行カヌ、ソレガ爲ニ

被害者ガ證明スルニ、困難デアリハセヌカト云フコトヲ伺フノデスカ

○山岡政府委員 ソレハ告訴告發スルコトガ出來ナイト云ッテモ、ソレ程ノ影響ハ無カラウト思ヒマス、其他ノ意味ニ於テ證明方法ヲ許サナイト云フ規定ガアレバ何デアリマスガ、サウ云フ意味デアリナイノデアリマスカラ、ソレ程ノ影響ハ無カラウト思ヒマス

○鶴澤委員 第二百七十一條

○横山委員 二百七十一條ノ告訴ハ代理人ニ依ッテ出來ル、ソレカラ告發ハドウナルノデスカ

○山岡政府委員 告發ノ點ニ付キマシテハ、代理人ニ依ッテ告發スルト云フコトハ、特ニ必要ナ場合ハ無カラウト思ヒマス

○横山委員 現行法ニ於テハ、告發モ告訴モ共ニ代理人ニ依ッテ出來ルヤウニナッテ居ルト考ヘマスガ、此理由書ニ依ルト、本案ハ現行法ノ五十四條ヲ改正シタモノデアル、ソレカラ告發ノ範圍ハ、自己ノ救済ヲ求メル者ノ意ヲ包含セズシテ、全ク公益ノ爲ニ申告ヲ爲ス場合デアル、故ニ本案ニ於テハ、告發セントスル者ハ自ら爲スベキモノデ、代理人ヲ以テ爲スベキモノデナイト、斯ウナッテ居リマスカラ、二百七十一條ノ規定ハ、告訴ハ代理人ニ依ッテ出來ルケレドモ、告發ハ代理人ヲ許サスト云フ意味ガ包含シテ居ルヤウニ見エマス、サウ解釋シテ宜シイカ

○山岡政府委員 此點ハ現行法ノ如ク立案シタ時代デアリマシタケレドモ、本案ニ於テハ告訴ノ代理人ダケ規定シテ、他ハ規定シテナイノデアリマス、隨テ御説ノ如ク告發ノ代理ハ許サスト云フ解釋ニナラウト思ヒマス

○横山委員 是ハ適用上頻々トシテ起ルモノダト考ヘマスガ、元來代理人トシテ仕事ノ出來ル事ハ、公法、私法ヲ通ジデ之ヲ禁ゼザルモノハ許スノガ原則ト思ヒマス、許サヌ場合モアリマスガ、大體ニ於テ代理人ヲ許スノガ原則ト思ヒマス、然ラバ此原則カラ二百七十一條ヲ解釋スルト、告訴ハ代理人ヲ許サスト云フ規定ハ必要ガ無イト思フ、其結果トシテ必要ノ無イ事ガ此所ニ現レタ中シテモ、一般ノ原則ヲ否定スル譯ニハ行カヌカラ、告訴ハ當然代理人ニ依ッテ出來ルト云フコトハ、解釋上至當デアラウト思ヒマスガ、若シ政府委員ノ御考ニナッテ居ルヤウナコトデアレバ、告訴ニ代理人ヲ用ルコトヲ許サスト掲ゲナケレバ、其趣旨ガ徹底シナイヤウニモ、解釋上ナリハセヌカト云フ虞ガアリハセヌカト思ヒマスガ、更ニ御意見ヲ伺ヒマス

○山岡政府委員 法律關係上規定ヲ須キズシテ、總テ代理人デ出來ルト云フ事ガ大體ノ原則デアリマス、公法上ノ權利即チ刑事訴訟法上ニ於テ與ヘタル權利ト云フモノハ、格

段ナル性質ヲ持テ居ルモノデアリマスルカラ、規定ガ無ケレバ自分デヤラナケレバナラヌト謂ハネバナラヌノデアリマス、即チ告訴ハ被害者ニ屬スルコトニナルノデ、被害者自身ガヤラナケレバナラヌデアリマスカラ、告訴ヲ代理人ガヤルコトガ出來ルト云フコトニナレバ、半面解釋シテ、告發ハ出來イナト云フコトニナラウト思ヒマス

○鶴澤委員長 第二百七十二條——第二百七十三條——第二百七十四條

○宮古委員 二百七十四條ハ「檢察ハ告訴人又ハ告發人ヲシテ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得」ト云フコトデ、今迄無イ新シイ規定ヲ設ケテ譯デアッテ、檢察ニ對シテ告訴若クハ告發ヲシタ場合ニ、告訴人若クハ告發人ニ宣誓セシムルコトヲ、檢察ガ爲サシメルト云フコトデアリマスガ、一面ニ於テハ告訴人告發人ガ、此事實ハ確定アルト云フコトヲ證明スルコトニナリマスカラ良イ規定デアリマスレドモ、之ガ爲ニ告訴人告發人ガ檢察ニ對シテ、宣誓マデシナケレバナラヌト云フヤウナコトヲ命令シテ、告訴告發ヲ差控ヘルコトニナリハシマイカ、又檢察ガ宣誓ヲ爲サシメル爲ニ、告訴人告發人ニ威壓ヲ加ヘルコトガアリハシナイカト思ヒマスガ、政府委員ノ御意見ハ如何デスカ

○山岡政府委員 本案ノ趣旨ハ御意見ノ前段ノ通りデアリマス、極メテ不確實ナル告訴告發ヲスルト、其被告トナル者ハ迷惑ヲスル事實確ニ有ル事タケテ告訴告發ヲ爲スベキモノデアル、此主義ヲ貫ク爲ニ宣誓ヲ命ズルノデアリマスカラ、在來ノ如ク凡ソ此位ノ事ガアツタト云フ位デアハ、告訴告發ハ出來ナクナルト思ヒマス、輕卒ナル申告ヲ矯メマシテ、苟モ申告ハ確實ノモノニ限ラル、事ニナリマスカラ、其利益ハ多イト思ヒマス、ソレガ爲ニ犯罪申告ノ減ルコトハ免レマスマイカ、其意味カラ、或犯罪ヲ遁カス事ハナイト云ヘマセヌガ其害ト輕卒ナル告訴告發ヲ防止スル利益ヲ比較シタナラバ、後者ノ利益ノ方ガ多イト思ヒマスカラ、サウ云フ精神ヨリ宣誓ヲ命ズル事ガ出來ルトシタノデアリマス

○宮古委員 今日迄檢察ノ扱テ犯罪事件ハ、大抵告訴告發ニ依ッテ居ルト思ヒマス、告訴告發ニ宣誓ヲサセルトスレバ、其告訴告發ガ違テ居レバ、偽證罪ニナルト云フ恐ヲ懷クノハ當然デアリマス、又告訴告發ハ認告ナレバ、認告罪ニナルコトハ相違アリマセヌケレドモ、認告罪ハ事ガ頗ル重要ナル、著シキ場合デナケレバ成立シナイノハ固ヨリデアリマシテ、宣誓シテモ事實ガ幾ラ違テ居ルト云ッテ、直ニ偽證罪ニサレルコトハナイト思フ、而モ之ガ爲ニ告訴告發ハ餘程減ッテ、今日迄ノ半分モ無イコトニナリハシナイカ、サウスルト餘程犯罪ヲ逸スルコトガアリハシナイカト懸念サレマスガドウデアリマスカ、勿論宣誓ヲシテ事實ガ違ッテ

居レバ、普通ノ偽證ト同ジク、偽證罪ニ問フト云フ御意見デアラウト思ヒマスガ其點ヲ伺ヒマス

○山岡政府委員 ソレハ犯罪ヲ逸スルコトハ無イトハ申シマセヌ、併シ其損害ガアツテモ尙且告訴告發ハ慎重ナラザルベカラズ、少シ位事實ガ違タカトテモ、認告罪ニナラヌト云フコトモ御説ノ通りデアリマス、認告罪ハ根本カラ詐ッテ言ッテ、被申告者ヲシテ冤罪ニ陷ラシムルノガ認告デアリマス、或一部分ノ事實ヲ詐ッテモ、認告罪ガ成立シナイノハ御意見ノ通りデアリマス、而シテ偽證罪ニナルカト云フト、今日ノ偽證ノ規定ハ宣誓違反ノ規定デアリマセヌノデ、虛偽ノ陳述ヲ爲シタ、例ヘバ證人鑑定人ガ虛偽ノ陳述ヲ爲シタト云フヤウナ場合ノコトニナッテ居ルノデアリマスカラ、告訴告發ガ事實ニ違ッテ居ッテモ、此違反ハ直ニ偽證罪ニナラスノデアリマス、偽證罪ナラバ這入ルノデアリマス、然ラバソレニ付テ罰ヲ設ケルカドウカト云フコトハ、目下刑法改正ノ審議中デアリマスカラ、其處ニ於テ議題ニ上ルト思フノデアリマス

○宮古委員 告訴人告發人ガ宣誓シテ嘘ヲ言ッテモ、偽證人ニナラスコトハ承知致シマスガ——別ニ法律ヲ設ケルカモ知レヌト云フコトデアリマスガ、設ケレバ、格別デスケレドモ、ソレガ無ケレバ何ノ效力モ無イ規定ニナルノデアリマスカラ、サウナレバ本條ハ餘リ實益ハ無イコトニナルト思ヒマスガ、如何デスカ

○山岡政府委員 刑罰制裁ハ強キ法ノ維持トナルノデアリマスガ、刑罰制裁ガ無クモ、法ノ拘束力ハ必ズ存スルモノト思ヒマス、本條ノ如キ規定ニ依ッテ宣誓書ヲ出シ署名捺印シタ以上ハ、是ハ間違ッテ居ルト云フ考ガ其後ニ起キタナラバ、良心カラアレハ間違ヒマシタト云フコトヲ言ッテ來ルトスルハ、或程度迄存スルコトヲ認メテ宜カラウト思ヒマス、加之何レ刑法改正ノ上ニ於テ問題ニモナルノデアリマカラ、是デ宜カラウト思ヒマス

○橫山委員 今日質問應答ヲ冷靜ニ聽キマスルト、政府委員ハ將來刑法改正案ヲ出シテ、檢察ニ對スル宣誓違反ノ場合ヲ罰セントスル希望ヲ持ッテ居ラルルヤウデアリマス、今日告訴告發ガ濫發セラレテ、檢察ガ忙殺サレテ居ルコトハ事實デアリマスカラ、之ヲ矯メル方法トシテ、當局ノ御考慮ノ存スルコトハ正當カト思ヒマス、併ナガラ宮古君ノ論ゼラレタ如ク、今日ノ程度ニ於テハ必要ノ無イ規定デアリマス、檢察ガ神カ佛ノヤウナ權威ヲ以テ宗教的ニ宣傳セシムルナラバ、ソレデモ宜シイカ知リマセヌガ、苟モ法律ヲ設クルニ當リ、實益ナキ法規ヲ作ルト云フコトハ、民心ヲシテ疑惑ニ陷ラシムルモノデアッテ、疑惑ニ陷ラシメナイコトガ

法律上必要ナル事柄デアッテ、立法上カラ見ルト、非常ニ立法上ノ失敗デアルト謂ハナケレバナラヌ、此故ニ私ハ司法當局ノ意思ヲ具體化セシメタ點ヲ考ヘテ見マセレバ、刑法改正案ヲ出シテ、刑法ノ第六十九條「法律ニ依リ宣誓シタル證人虛偽ノ陳述ヲ爲シタルトキハ三月以上十年以下ノ懲役ニ處ス」ト云フ、虛偽ノ宣誓ヲシタル者ニ付テノ規定ヲ御改正ニナルト思ッテ居リマスガ、サウスレバ實體法ガアッテ形式法ガアルノデアリカラ、實體法アッテ運用法ガアルノガ原則デアリカラ、先ヅ手續法ヲ拵ヘテ置イテ、ソレカラ徐ロニ刑法ノ改正ニ著手シヤウト云フ立法上ノ用意ノ存スル所ハ、甚ダ敬服デアリマスガ、本末順序ヲ顛倒スルト言ハレテモ仕方ガナイ、豫メ刑事訴訟法案ガ今回改正セラレ、カラ、廻リマシテ檢察ガ宣誓違反ノ罪ヲ認メルヤウニ、刑事訴訟法ノ不便ヲ改正スルト云フコトデ手續ヲ拵ヘテ置クト云フ希望デアリヤウニ見エマスガ、或ハ私ノ言フコトガ邪推ト言ハル、カ知ラヌガ、私ハ良心ニ誓ッテ推薦スルノデアリマシテ、サウ云フ事ハ間違ッテ居ルト考ヘマス、ノミナラズ此規定ハ又檢察方能、檢察本位ノ思想ガ此ニ現レテ居ルト考ヘルト同時ニ、檢察ガ人民竝ニ裁判官ニ對シテ、ドウ云フ陳述ヲ爲スト云フコトハ屢々、言フ通りデアリマスカラ、私ハ今日線返スコトハ止メマスケレドモ、能ク吾々ノ處ニ人民ガ參リマシテ、斯ウ云フ事ヲ訴フル場合ガアリマス、斯ノ如キ告訴狀ヲ提出シタ所ガ、檢察或ハ警察官ガ、以前ハドウシテモ此告訴狀ヲ維持スルナラバ、偽證罪認告罪ニ問ハル、虞ガアルガドウダ、斯ウ云フコトヲ言フ、眞實告訴告發シヤウトスル者ニ檢察警察官ガサウ云フコトヲ言ッテ、提出シタル者ニ非常ニ恐怖ヲ感ゼシメラレテ、辯護士ノ下ニ研究ニ來ルト云フ事柄ハ屢々アリマス、其實例ニ乏シカラヌガ、其結果ハ必ズシモ檢察ガ惡イノデハナイ、檢察警察官ノ方デハ、徒ニ告訴告發ヲ多クスルコトヲ厭ウテ、眞實告訴ノ増加スルコトヲ好マザル事、一ツハ威力シ半分ニ、或ハ眞實ヲ發見スル爲ノ手段方法サウ云フコトヲスル結果、人民ノ側ニ於テハ法律上ノ智識ガアリマセヌカラ、檢察警察官ガ左様ナ事ヲ申シマシタナラバ、本當ニ告訴告發シテ罪ニナルノデハナイカト云フ考ヲ以テ辯護士ニ依頼スル、此事情カラ申シマス、今日ノ檢察宣誓ノ制度ガ、實際ノ場合ニ於テサウ云フ弊ガ起ッテ居ルノデアリマスガ、之ヲ檢察ガ二百七十四條、二百七十五條ノ規定ニ從ッテ、當然宣誓シタル事件ノ減ル減ラヌハ憂慮スルコトハナイノデアリマスケレドモ、之ガ爲ニ告訴人告發人ト云フモノガ、非常ニ恐怖シテ告發セヌコトニナルトハ、檢察ノ不利益デアル、事件ヲ發見スル方法ハ色々アリマスケレドモ、告發ニハ非常ニ有力ナル手段ガ無クナッテ來ルト、檢察ノ側ニ於テモ不便

ヲ感ズルヤウニナル、又間違フタ鑑識ヲ以テ、或ハ被告人ノ側ハ眞面目ニ眞實ナリト思フ事ヲ告訴發セントスル人ヲ威嚇スルトカ、恐怖サセルト云フコトハ、其事ハ今日ニ於テ澤山ハアリマセシケレドモ、其事ノ有無ハ古昔モ言ハレル如ク、昔々ノヤクニ多少法律ヲ調ベテ居ル者ハ、此適用ニ付テハ憂慮スル所ハアリマセシケレドモ、法律知識ノ暗イ裁判法廷ノ事ニ慣レテ居ナイ普通ノ人間カラ見ルト、恐ルベキ規定デアル、檢事方自分ノ權威ヲ恃ンデ良民ヲ威嚇シ、更ニ檢事方宣誓ト云フ一ツノ道具ヲ以テ人民ヲ威嚇スル、斯ウ云フ弊害ノアル條文デアルト考ヘマス、ノミナラズ檢事方宣誓ヲセシムルト云フ事柄ハ、檢事方裁判官ヲ二百五十五條ノ鑑定ノ處分等ニ於テ、自由自在ニ使フコトノ出來ルト同一デアル、一ツノ裁判ヲ爲スノデアル、此告訴發ガ眞實デナイナラバ、宣誓ト云フ一ツノサウ云フ材料ニ依ッテ、告訴發發ト云フ事實上ノ裁判材料トナッテ、一面ニ於テハ檢事方裁判官ヲ使ヒ、檢事方自ラ裁判類似ノ仕事ヲスルト云フヤウナルコトニナッテ、昨日來展セシムルト云フ我國ノ法制ノ根柢ニ、撞著スル規定デアルト考ヘマス、デアリマスカラ、其規定ハ一面ニハ裁判ノ威信ヲ失墜スル結果、檢事方能ノ弊害ヲ暴露スル結果ニナル、斯ウ云フ意味カラ私ハ反對スルノデアリマス、若シ理窟方有レバ承テ置キマスガ、理窟方無ケレバ反對ノ理由トシテ述ベテ置キマス

○山岡政府委員 只今ノ御意見ハ御意見トシテ承テ置ク次第デアリマスガ、唯タ一言申上ゲテ置キタイノデアリマス、此規定ヲ立テマスニ付テハ全ク單純ナ理由デアリマス、告訴發發ト云フコトヲ自由ニスルコト云フコトニナルト、色々告訴人ノ思ハザルコトニ依ッテ誣告罪ノ手段ニサレルカラ、被告側ニナリマスルト、其誤レル生訴ト同一ニナリ、虛偽ノ事柄ヲ言ッテ、遂ニ證據人ヲ豫審ニ附スルヤウナ事ガ出來テ參リマス、既ニソレガ誤リト云フコトニナルト、一方ノ誤リカラシテ遂ニ恐シイ結果ヲ來タスト云フコトハ、往々ニシテアルコトデアリマス、ソコノ所ヲ考ヘテ立案サレタノデ、只今ノ御説ノ如ク檢事方之ヲ濫用シテ弊害ヲ生ジ、或ハ檢事方裁判官ニ斯ノ如キ事ヲ爲スト云フコトハ、此立案ニ於テハ全ク考慮ニ無イノデアリマス、サウ云フヤウナ事ヲ此規定ヲ利用スルノハ、結局濫用スルコト言ッテ宜カラウト思ヒマス、サウ云フ風ニナリマスレバ、ソレハ結局人ノ宜シキヲ得ザル場合デ、如何ナル法規ト雖モ、遂ニ害ヲ來スト云フコトハ獨リ之ニ止マラナイト思ヒマス、立案ノ根據ダケヲ一言附加ヘテ置キマス

○横山委員 今ノ説明ヲ聽イテ益々吾々ハ反對ヲセザルヲ得ナイノデアリマス、昨日ノ林委員ノ御話ニ依ルト、此頃ハ

裁判官ノ志願者ヨリモ檢事ノ志願者ガ少クナルト云フ事ヲ言ハレテ居ル、サウスルト檢事ノ方ノ人物ノ素質ガ漸次低下スル處ガアル、司法當局ガ今日マデノ狀態デアッテモ、檢事方能ト云フ此現象ガ、今日以後ニ於テ尙ホ檢事ノ素質ガ低下スルト云フコトニナリマスレバ、二百七十四條ヲ適用スルト、今ノ山岡君ノ仰シタルニハ、此運用ハ人ニ在リト仰仰シタルガ、從來ノ檢事ニシテサウ云フ風デアレバ、將來ノ檢事ハ從來ノ檢事ヨリモ、人物素質ガ低下スルト云フコトニナレバ、檢事方宣誓ノ爲ニ非常ナル弊害ヲ生ズルコトニナルト私ハ考ヘマス、此故ニ今日ハ最早此必要ハ無イ、之ヲ維持スルニ足ラスト考ヘマス、何シロ當局ノ今ノ考ハ、宣誓セシムルコトヲ得トアルノデ、宣誓セシムルコトヲ要ストスルノハ、茲ニ手加減ヲ使用スルコトガ出來ル、自由裁量ヲスルコトヲ置イタカラ、檢事方之ヲ濫用スル因ニナル、デアラカドウシテモ此必要ハ殆ド無イ、甲乙ノ事案ニ關シテ手續ヲ二三ニスルト云フコトヲ止メテ、檢事ノ自由活動ノ範圍ヲ短縮シテモ、如何ナル場合ニ於テ宣誓セシムルト云フコトニ對シテハ、司法當局ノ考ハ實カスト思ヒマス、仰承知ノ通り今吾々ハ野法曹間ニ於テ斯ウ云フ謗ガアル、裁判官ガ偽證罪ヲ法廷ニ出スト云フコトハ、裁判官ノ智慧ガ足ラザル爲デアル、丁寧深切ニ同意周到ニ審理スレバ、偽證罪ト云フモノハ起ル譯ノモノデ、裁判官ニ虛偽ノ陳述ヲスルト云フコトハ、裁判官ノ智慧ガ足ラズカラデアルト吾々ノ先輩ハ言ッテ居リマス、其告訴發發ガ事實ニ反セザルモノカドウカト云フコトハ、自分ノ持テ居ル鑑識ニ依ッテ、自分ノ手腕ニ依ッテ立派ニ判斷ガ出來ヤト思フ、告訴人ノ資格、告訴人ノ財産、告訴人ノ學識、地位等總テノモノニ付テ、今日ノ檢事ノ程度デ立派ニ判斷ガ出來ルト思フ、斯ウ云フ規程ヲ以テ致シマスルト云フト、先ヅ告訴人ハ是ヨリ告訴狀ヲ檢事ニ持ッテ行ク者ハ無クナル、犯罪ガ減ルハ是ヨリ告訴狀別問題デ、減ル必要ガアッテ減ルノナラバ當然デ、告訴發發スル者ガ少クナルヲ、檢事方自由活動シテ逮捕スル機會ガ無クナルカラ、此制度ハ大ニイカスト思フ、此結果ヲ生ズルノデアリマスカラ、斯ウ云フ都合ノ好イ、昨日カラ論ジテ居ル通り、檢事ハ矢張此彈劾主義ノ一ツノ機關デアル、訴訟當事者ト對等ノ位置ニ立ッテ、サウシテ告訴人告發人ニ宣誓ヲ命ジテ、行々ハ刑法ヲ改正シテ、直ニ偽證罪ニナルト云フヤウナコトヲ考ヘ、檢事ニ依ッテ後ニ主張セラルト云フコトハ、洵ニ本案ノ缺點デアルト思フ、質問ノ趣旨ニ付テハ、是ハ「得」トセズシテ、「要ス」トシナカッタカト云フノデス

○山岡政府委員 此「得」ト致シマシテ理由ハ、告訴人告發人ノ言フ所ヲ調ベテ見マシテ、意識ガ有ルカ無イカ、決定致シマスレバソレニ宣誓スルト云フコトハ、實際無用ナ事デアル、告訴人ヲドウスルカト云フコトハ甚ダ問題デアッテ、ドウデアラウカト云フ場合ニ尙ホ本人ノ意思ヲ確メテ來ル、其爲ニ宣誓ヲ致スコトガアル、必要不必要ヲ區別スル、故ニ斯ノ如ク「得」ト致シタ譯デアル

○鶴澤委員長 第二百七十五條、第二百七十六條

○宮古委員 二百七十六條ニ「司法警察官告訴又ハ告發ヲ受ケタルトキハ速ニ之ニ關スル書類及證據物ヲ管轄裁判所ノ檢事ニ送付スヘシ」ト云フコトガ書イテアル、告訴發發ヲ受ケレバ、直グ檢事ノ方ニ送ルト書イテアリマスガ、司法警察官ガ告訴發發ヲ受ケタ場合、先ヅ自ラ捜査シテ、捜査記録ヲ檢事ニ送ルガ現行ノ遺方デアル、ソレデハ之ヲ變ヘル意思デアリマスガ、現行ノ制度ハ一應捜査ヲ司法警察官ガ爲シテ、ソレカラ檢事ニ送ルト云フコトハ、違フノデアリマス

○山岡政府委員 其點ハ現行ノ手續ヲ別ニ變ヘル積リハナイノデアリマス、一旦受ケテ一通リ取調ベルト云フノハ今日マデヤッテ居リマス、矢張其事ヲ變ヘル積リハナイノデアリマス、唯タ書類ヲ持ッテ居リマセズデ、告訴發發ヲ受ケタラ、速ニ其書類ヲ檢事ノ方ニ廻ス、斯ウ云フ趣旨ニ過ギナイノデアリマス

○鶴澤委員長 第二百七十七條、第二百七十八條、第二百七十九條

○黒住委員 二百七十九條ニ付テ御尋致シマス、犯罪ニ關シテ匿名ノ投書又ハ申告ノアルト云フコトハ問題ハ無イノデアリマスガ、結構ナ事ダト考ヘマスガ、茲ニ疑問ノ起リマスノハ「匿名」ノ申告又ハ風説アル場合ニ於テハ特ニ其ノ出所ニ注意シ虛實ヲ探査スヘシ」輕ク考ヘマス、殆ド意義ヲ爲サズ規定ニアルヤウニモ見エ、又サウデナイ、是ハ文字ハ探査スルアリマスケレドモ、所謂檢事ノ捜査處分ト同様ニ、斯ウ云フ風ニ解シテ宜シイノデアリマスガ、隨テ後段ノ意義ダト致シマスルト、縹ニ色々議論ヲ致シマシタ二百七十五條、是等ノ事ハ二百七十九條ノ適用ガアルノデスカ、此點ヲ伺ヒマス

○山岡政府委員 此御質問ニ付テハ、本條制定ノ趣旨ハ御意見ノ前段ノ通りニ、極ク單純ナ意味デ、捜査ト云フ意味デハナイノデアリマス、捜査ニナリマススト云フト、前ニ段々御論ジニナツタヤウニ、犯罪アリト思料シタル後ニ始メテ捜査ト云フモノガ出來マスガ、投書ガ來タラ是デ犯罪アリト思料スル譯ニハ參リマセス、ソレニハ犯罪アリト思料スル前ニ、必要ナ探査ヲシント云フ譯デアリマス、隨テ二百七十五條ニ之ヲ用キル譯デアリマセス、要スルニ匿名投書ヲシテ、サウシテ爲ニスル其害ヲ除カウト云フノデアリマス

○黒住委員 匿名申告ガアリマシテ、其出所ニ付テ調ベタ

結果、全ク其人ガ明カデアル、被害者デアリマスレバ、犯罪ノ申告告訴同様ニナルカ、然ラザル場合ニ於テ告訴同様に實質ヲ有スル以上、ソレデモ尙ホ只今ノ御答辯ノ如ク極メテ輕イ、茲ニ一時的ノ規定ヲ致シタト云フ斯ウ云フモノデアリマスカ

○山岡政府委員 ソレハ何デス、犯罪ノ申告ト云フコトニ付テハ、極ク廣義ニ解釋致シマシテ行キマス云フト、署名捺印シテ申告シマス、告訴人ニナル、此二百七十九條ニ豫想ヲ致シテ居リマス所ハ、サウ云フ風ナリタモノトハ見テ居ラス譯デアリマス、所謂告訴發ノ狹キ所ノサウ云フモノニハ這入ラスト云フ風ニ、此案ニシテハ考ヘナケレバナラヌト思ヒマス

○黒住委員 サウ致シマスルト、探査シテ其結果ハドウナルカ、例ヘンレガ眞實デナイ、又眞實デアッタト云フコトニ付テ調ベマシタ結果ノ書類、其他ノ物ガアルコトデアリマセウガ、是ハドウ云フコトニナリマスカ

○山岡政府委員 ソレハ所謂豫備探査デアリマシテ、豫備探査ト云フモノハ、特ニ事件ヲ立テル云フコトハ無イノデアリマス、事件ガ立テ初メ茲ニ問題ニナツテ、事件ガ進行致シマス、ソコ迄ハ難書類ノ意味デ、所謂機密局ニ單純ナル行政の意味ニ於テ取扱ハレセル意味デアリマス、是ハソコヘ這入テ行クモノデアリマス、ソコデ調ベタ結果、實相ガ餘リ眞實ト反對トナツタト云フコトニナルト、勿論其匿名ノ申告書モ必要アリトスレバ、書類ノ一部トシテ其文書モ働イテ參リマスガ、此場合ニ果シテ告訴デアルト、告發デアルト言ヒ得ルカト云フコトハ、更ニ議論ガ生ズルト思ヒマス、ト申シマスノハ親告罪デアリマセヌカラ、法律上論議スル餘地ハアリマセヌ、親告罪デアルト、是ガ親告シタガ眞實ナルカドウカト云フコトハ更ニ問題ニナリマシテ、是ハ親告シタモノデアルトシテ、親告罪ノ起訴スルト云フコトハスベキモノデナカラウト思ヒマス、更ニ相當ナル手續ヲ以テ告訴シナイ限りハ其儘ニシテ置ク、職權罪デアリマス、ソレニ依ッテ起訴シテ行ク、斯ウ云フコトニナルト思ヒマス

○黒住委員 甚ダ解シ兼ヌル御説明ト思ヒマス、眞實デアレバ事件ガ進ムノデアアルカラ、無論ハ所謂訴訟書類ニナツテ將來ニ殘ル、是ハ言フ迄モナイ、有罪無罪ニ拘リマセヌ、假ニ有罪ト致シマシテ——罪有リト致シマシテ、無イト云フ事ニナリマシテモ、自ラ其間ニ輕重アリ、等差ガアル、從來ノ此匿名投書ガ、往々豫審文ハ公判ニ於テ無罪ニナル事犯ニ付キマシテ、往々記録中ニ綴テアル、其ノアリマスル物ヲ調べ見マセヌト、事犯ニ付テ被告ノ利益ナル投書ハ附イテ居リマセヌ、極メテ不利益ナル投書ガ綴テアル、斯ウ云フコトヲ——此弊ヲ除ク目的、デ本條ハ置カレタモノト

本員ハ考ヘルノデアリマス、サウ致シマスレバ、之ニ關シテ虛實ヲ探査致シマシタ結果ハ、何レニセヨ總テ是ハ全ク虛偽ノ申告デアルト、反對ニ犯罪事實ノ一ツノ申告デアルガ、事實ノ眞相ハ多少違フテ居ル、斯ウ云フ事ヲ多少考慮サレテ調べタ結果ガ、公明正大ニ後ニ之ヲ調査シ得ル一ツノ方法ガ無イト云フト、殆ド二百七十九條ハ無意味ノ規定ニナル極メテ美シク條文ノ上デハ見エマスケレドモ、其結果ノ見ルベキモノガ無イト云フコトニナリマスレバ、半バ此目的ヲ失フコトニナリハシナイカト云フコトヲ氣遣フノデアリマス、其點ヲ伺ヒタイ

○山岡政府委員 其點ハ只今御意見ノ所方即チ此法文ノ考ヘテ居ル所デアリマス、事件ヲ起シテ居ナイノデ單純ニ探査スル、嚮ニ申シタヤウニ豫備探査ニ過ギマセヌノデ、一應斯ウ云フ風説ガアレバ調べテ見ナケレバナラヌ、調べテ見テ架空ナ事デアツテモ、捜査中ニ被疑者ヲ呼ンデ調ベルト云フコトハシナイ、今迄ノ遺方デヤルト、投書デモ或ハ風説デモアルト、直ニ被疑者ヲ呼出シテ調べルト云フコトハ無イト言ハレナイノデス、ソレガ甚ダ害ガアル、機密局ニ呼出サレタト云フコトハ本人モ迷惑デアルニ、本人ガ人ニ之ヲ知ラレタト云フ場合ニハ、名譽上ニ影響ガアルト云フコトデアリマス、ソレヲ避ケル爲メデアリマス、即チ此事件トシテ本當ノ捜査ニ掛ル迄ニハ、十分ナル調査ヲシテ、ソレカラ進マウト云フノガ此案ノ趣旨デアリマス、是ガ無イト云フト、匿名ノ申告モアル、即チ是ガ犯罪ノ申告ニ外ナラヌ、サウスルト、被疑者ヲ呼ンデ斯ウ云フ事ガアルカラ調ベスル、甚ダ有害デアルト、ソコノ利益ヲ之ニ依ッテ保持シヤウト云フ譯デアリマス

○黒住委員 ドウモ私ハ分ラヌノデスガ、頭ガ惡イノデアルカ知レマセヌガ、言葉ハ捜査、豫備探査ト區別ヲシテ御答辯ヲ願ヒマス、同ジク此匿名申告デアリマシテモ、全然虛構ノ申告モアル事デアリマス、甚ダ疑ハシキ場合ノ申告モアル、又之ニ對シテ今政府委員ノ御説明ニナルヤウニ、輕イ意味ニ於テ探査ヲ爲サレテ、或場合ニ於テハ極メテ明瞭スルコトモゴザイマセウガ、又明瞭セザルコトモアル、扱フ檢察ニ依ッテ、是ハ檢察捜査ヲ直ニ進メナケレバナラヌト云フコトニナル、サウシマス二百五十五條ノ規定ニ依リマシテ、起訴前デアリマシテモ、公訴提起デアリマシテモ、強制處分ノ出來ルト云フコトハ、私ガ憂ウル同一ノ結果ニ陥ルト考ヘマス、サウ云フコトハ無イノデアリマスカ

○山岡政府委員 ソコハ無イコトニスル爲ニ置イタノデアリマス、之ヲ置キマセヌト、申告ガアルト即チ此犯罪申告デハ廣イ意味ノ問題デアリマスカラ、檢察ニ依ルト直ニ捜査處分ヲ開始シテ被疑者ヲ呼ビ、其他ノ調査スル場合ニ依

ルト二百五十五條ヲ適用シテ差支ナイト云フコトニ進ムノデアリマス、サウ云フコトハ甚ダ以テ不都合ナル結果ヲ諸方ニ來スノデアリマスカラ、匿名ノ申告ト云フコトハ、是ハ言葉ヲ強クシテ言ヘバ燒棄テルト云フ意味デアリマス、サウ云フ物ハ見ルモノデナイ、併シドウモ之ガ爲ニソレガ端緒ニナツテ、非常ニ大キナ犯罪ガ出ナイトモ限ラナイ、其心得ノ爲ニ一應實相ヲ調べテ虛實ヲ探査シナケレバナラヌ、是ハ事件ノ捜査ト云フコトガ之ニ依ッテ直グ行フト云フ所ニ大切ナ點ガアルノデアリマス、御承知ノ通り事件ガ起ルト云フコトニナレバ番號ヲ附シマシテ、機密局ノ捜査番號ガ附イテソレデ事件ガ起キマス、サウナレバ捜査事件トナツテ決定ヲシテ、不起訴處分ヲシナケレバナラヌ、此場合ニ於テノ取調ト云フコトハ事件ガ起キナイ、即チ決定モ何モシナイデ此事件ハ進マナイ、サウ云フコトニナリマスルカラ、御意見ノ所モ私ノ言フ所ト敢テ違ヒナイノデ、結局事件ヲ立テ立テナイノ御考ヲ願ヘバ、十分御諒解ガ出來ルト思フ

○黒住委員 サウシマスルト、シツコイヤウデアリマスガ、匿名ノ申告ト云フコトハ、檢察ガ調べテ見ルト云フコトニ付テハ御説明デ大體分リマシタガ、少シ目星シイ事件デアリマス、即チ世間ニ驚マシイ事件デアリマスルト、絶エズ如何ナル時期ヲ問ハズ見ルノデアリマス、如何ナル時期ニナリマシテモ、燒棄テ、シマウ方針デアルト云フコトダケハ明カデゴザイマス、尙此場合ニ事件ニ關係ノ無イ、例ヘバ同ジ有罪ニ致シマシテモ、特段ナル目的ヲ以チマシテ、特ニ犯情ヲ重カラシムル目的デ匿名申告ヲスル者モアリマセウ、斯ウ云フ物ハ事件ガアツタカラト云ツテ、嚮ニ御説明ニナツタヤウニ、事件ノ關係書類トシテ保存ニナリマスルカ、サウ云フ場合ニモ燒棄テルノデアリマスカ

○山岡政府委員 黒住委員ノ御考ノ點ニ付テ、私ノ申シタ點ガ御諒解ニナラナカッタノハ、捜査事件トナツタ時ニ申告書ヲ付ケルト云フ事ノ、ソコガ御諒解ニナラナカッタカト思ヒマスガ、元來附ケルノヲ善イ惡イト云フ事ニ付テハ——此法文ノ精神ハ附クヘカラスト云フノガ目的デアリマスケレドモ、事件ガ確實ニナツテ、後ノ證據ノ爲ニ是ダケデハ面白クナイト云フコトニ之ヲ附ケテ置クト云フコトハ、辯護ノ側カラ見テモ、訴追ノ側カラ見テモ必要ガアルノデ、一概ニハ申サレマセヌガ、此精神ハ強イ言葉デ云ヘバ燒棄テルト云フノデアリマスガ、一應出所ヲ調べテ探査シテ別扱ニスル、全然事件ニ拘ラヌ豫備的ノモノニスル云フノデアリマス

○鶴澤委員長 此點ニ付テ參考ノ爲ニ申上ゲテ置キマスガ、匿名ノ申告風説等ハ耳ニスベキモノデナイ、匿名ノ申告

ハ之ヲ燒棄テルコトニナツテ居リマス、然ルニ近來匿名ノ申告ガ頻々トシテ力ノアル如クニ考ヘラル、ヤウニナツタノハ、遺憾ナク次第ハナナカト云フヤウナコトデ、匿名申告ヲ只今山岡政府委員ノ御説明ノヤウニ、燒棄シマッタラドウカト云フヤウナ意見ガアツタヤウニ記憶致シマス、所ガ匿名申告ノ中ニモ、物ニ依ルト捜査シテ見テ責任ノアル所カラ出タモノモアルノデ、サウナレバ匿名申告ヲ全部燒棄テルコトモイカヌト云フヤウナ色々ナ意見ガアツテ、斯ウ云フ條文ガ現レタコト、思ヒマスガ、參考ノ爲ニ申シテ置キマス

○宮古委員 公訴提起前ニ匿名ノ申告ノアルトキニハ、檢事ノ助ニナル事ガアラウト思ヒマスガ、公訴提起以後裁判ニナツテカラ色々ナ投書ガ裁判所ニ來ル、ソレヲ現在ノ遺方デハ記録ノ中ニ添付シテアル、ソレガ爲ニ裁判官ノ頭ヲ動かシ場合ガ多イヤウニ見エル、最近ニ東京控訴院ニ於テ實見致シマシタガ、矢張非常ニ被告人ガ惡イヤウナ事ヲ書イテアル、サウシテハ匿名ナリ、名前ヲ書イテ出シテアリマスガ、ソレガ記録ニ添付シテアル、ソレヲ見ルト被告人ガ惡イヤウニナツテ居テ、隨テ裁判官ノ頭ヲ動かカスヤウナコトガ出テ來易イヤウニナリマスガ、斯ウ云フ事カラ弊害ガ起ラウト思ヒマスカラ、記録ニハ一切添付セスト云フコトニシナケレバナルマイト思ヒマスガ、獨リ此所ノ二百七十九條ノ場合バカリデハアリマセヌ、是ハ公判ニ移タ後ニ於テノ申告書ノ如キモノハ、記録ニ添付シナイト云フヤウナ規定ヲ設ケル必要ハナイモノデアリマセウカ、

○山岡政府委員 其點ニ付テハ別ニ何等ノ規定モアリマセヌガ、捜査ノ場合ニハ、斷罪ノ資料トナル物ハ之ヲ蒐メル譯デアリマスガ、別ニ規定ハアリマセヌ、併シ本條ガアル以上、本案ノ成立シタル際ニ於テ、之ヲ取扱フ場合ニハ、記録ニ添付スベカラザルモノト云フコトニナラネバナラヌト思フノデアリマス、唯タ一言獨ニ申上ゲタヤウニ、特ニソレガ無ケレバ、辯護ノ方デモ訴追ガ出來ヌト云フコトモアラウト思ヒマスガ、原則トシテ斯ウ云フ事ヲ書イタノハ、斯ノ如キ事ヲ記録ニ殘スヘキモノデナイト云フ所マデ、精神ガ入ッテ居リマス

○宮古委員 此二百七十九條ニハ記録ニ添付セスト云フコトガ書イテナイ、ソレカラ尙ホ公訴提起以後ノ取扱ニ付テモ規定ガ無イトストル、裁判所ニ於テハ矢張記録ニ添付シシテ置キハシナイカト思ヒマスガ、特ニ添付サセスト云フコトニストルニハ規定ガ必要ト思ヒマスガ、是ニ付テ御意見ヲ御聽シタイ

○山岡政府委員 ソレハ司法行政ノ手續デ十分出來マス、毀々問題ニナツテ居リマスガ、裁判ニ關シテ——之ヲ記録

ニ添付スルヤ否ヤト云フコトニ付テハ議論ガアリマスガ、斯ウ云フ事ハ司法行政ニ於テ或程度マデハ出來マス、裁判官ガ獨立デアルカラ、公判ニ移ツテカラ、司法行政デ斯ニセヨト云フコトハ出來ヌケレドモ、併シ司法行政ハ裁判官ノ上ニモ、或場合ニ於テ勸告コトヲ命ジテ居リマスカラ、是等ノ事ハ取扱ノ上カラ行クヘキモノト考ヘマス

○宮古委員 現在之ガ添付シテアルノデアリマスガ、サウスルト司法省ノ方カラハ、添付シテ差支ナイコトノ意味ノ訓令ト云フモノデナイイカモ知レマセヌガ、一切サウスルトヲ添付セスト云フコトニシナケレバ、無責任ナル書類ガ裁判官ノ頭ヲ動かカスト云フコトニナツテハ困ルト思ヒマスカラ、無名ノ投書有名ノ投書デアツテモ、何等手續ヲセヌ無責任ナル書類ハ、記録ニ添付セヌ方宜カラウト思ヒマスカラ、是ニ付テハ規定ヲ設ケテ、添付ノ出來ヌヤウニスル必要ガアリハシナイカト思ヒマス

○鶴澤委員長 添付シナイト云フノデアリマスガ、取上ゲスト云フノデアリマスガ、裁判官ガ見テ心證ヲ作ルニ記録ニ添付シナイ、又辯護人檢事ガサウスルト事ヲスル必要ノアルトキニ、添付サセスト困ルト云フヤウナ場合、京都ノ事件ナドデモ數十通匿名ノ書類ガ出テ居リマスガ、之ハ初カラ採用セスト云フノデ——見ルニハ見ルガ、記録ニ添付シナイト云フコトガ問題デアルト思ヒマスガ、ソコハドウデアリマスカ

○宮古委員 私ノ意味ハ記録ニ添付セスト云フコトハ、裁判官ガ見ルコトヲ防ギタイ、左様ナ無責任ナル書類ハ一切記録ニ添付セヌ、裁判官モ之ヲ見ナイヤウナ手續ニシタイ、斯ウ云フ意味デアリマス

○山岡政府委員 其點ニ付テハ、現行法ニ於テハ特別ナル規定ガ無イトデアリマスカラ、只今段々御話ノヤウニ、其書類ガ來レバ一件記録ニ添付シテ置ク、此規定ノアリマス以上ハ、手續ハ此法ノ精神ニ從ツテ執ルベキガ當然デアリマス、唯タ併シ其見ルコトヲ之ニ依ツテ止メルト云フコトハドウシテモ出來マセヌト、云フノハ裁判官宛ニ投書ガ出來ルノデアリマスカラ、裁判官自身デ之ヲ開封シテ見テシマウノデアリマス、ソレ故ニソレ迄止メルト云フコトハ出來ナイト思ヒマス

○鶴澤委員長 第二章公訴第二百八十條ハ御異存ハ無イト思フ第二百八十一條、是ハ留保シテ置キマスガ兎ニ角質問ニハ這入リマス

○宮古委員 一寸伺ツテ置キマスガ、例ノ起訴猶豫ノコトニ相違アリマスマイガ、此規定ハ至極結構デアリマスガ、ハ餘程注意シナイト濫用ガ起ララウト思フ、何カ之ニ付テハ一定ノ標準デモ拵ヘテ、司法省カラ訓示デモ訓令デモス

ルト云フ譯ニナツタノデスカ

○山岡政府委員 之ニ付キマシテ一定ノ標準ヲ拵ヘルト云フコトハ、一寸出來難イ事デアリマシテ、今日迄ニ於キマシテモ、抑モ此不起訴ノ起リハ、最初微罪不檢舉ト云フ詰ラナイ罪ハ棄テテモ宜シイ、例ヘバ山林竊盜ノ如キ僅ニ木ノ枝ヲ取ツタト云ガ如キ、詰ラナイ罪ハ、起訴シナイト云フコトカラ出發シマシテ、ソレカラ假、其效果ノ多イコトヲ認メマシテ、ソレデ起訴猶豫ト云フコトニナツテ、相當重イ罪モ尙ホ起訴ヲ猶豫シテ、一定ノ間觀察スル、斯ウ云フコトニナツテ來テ居リマシテ、今日ノ實際ノ扱ニ於テハ、別段ニ標準ヲ與ヘナイデモ、能ク運用サレテ居ルノデアリマス、即チ一人ノ檢事ガ單純ニ自ラ不起訴處分ヲスルニ非ズシテ、檢事正ノ監督ノ下ニ共處置ヲソレ——行ツテ參リマス譯デ、ソレデ此法案ガ成立シテ、此法文ヲ活用スル場合ニ於テモ、既ニ今日迄訓練ガ出來テ居リマスカラ、別ニ特殊ナル標準ヲ與ヘマセヌデモ、此法案ノ運用ハ出來ルノデアリマス

○黒住委員 此起訴任意主義ハ私ハ結構デアルト思ヒマス一ツ御伺シタイノハ、一タビ斯様ナ原因ガアリシテ、檢事ガ公訴ヲ提起致シマセスト云フ場合ニハ、後ニ至リマシテ期間モ何モ制限ガ無イカラ、若シ自己ノ觀察ニ誤リアリトスレバ、イツデモ公訴ガ出來ルコトニナルノデアリマスガ

○山岡政府委員 此點ハ今日ノ實際ニ於テハ、起訴猶豫ニ二種アリマシテ、犯人ノ性格、年齢、境遇、犯罪ノ情狀、其他ノ事ニ照シマシテ、是ハ不起訴處分ニシテ宜シイト云フノデ、其餘一應處分シテシマツテ、以後顧ミナイモノガ相當デアリマス、稍々重クナルト一定ノ期間其者ノ行狀ヲ觀察スルコトニナツテ居リマス、ソレ故ニ其觀察期間ニ於テ更ニ不都合ナル行動ガアリマシテ、ドウシテモ起訴スルノ已ムナキ場合ニ起訴ヲ致シマス、併シソレニハ大體ノ期間ヲ附與シテアリマスノデ、ソレヲ經過シテイツ何時デモヤルト云フコトハ、今日迄實際ニ於テハ無イトデアリマス

○黒住委員 私ハ前段ノ場合ヲ御伺スルノデアリマス、年齢性格ト云フモノハ餘リ無イトシテ、境遇、情狀、犯罪後ノ情況ト云フコトニ付キマシテ、人々觀ル所ニ依ツテ色々ノ方ガアルノデアリマスカラ、觀察ガ誤ツテ、前段ニ屬スル場合トシテ不起訴處分ヲサレタト云フ場合ニ於テ、ソレガ間違ッテ居ッタト云フコトデアリマシテモ、絕對ニ是ハ起訴セザルコトニナルノデアリマスガ

○山岡政府委員 誤レル處置デアツテ、其過失ガ頗ル重大デアッタト云フトキニハ、勿論裁判ノ如ク批判力ヲ有チマセヌモノデゴザイマスカラ、其誤リガ極メテ重大デアツテ、其誤リナカリセバ、ドウシテモ起訴セネバナラヌト云フ事情ナラバ、ソレハ起訴致シマス、併シサウスルト風ナ大キイ誤ラス

ルヤウナコトデハ、任意主義ト云フモノハ到底行ハレルモノデハナイノデアリマス。是ハズト前ノ委員會ニ於テモ、既ニ他ノ政府委員カラ申上ゲタ所デアリマスルガ、最初ニ於テハ一万二萬ト云フ位ノ微罪不檢舉ノ數デアリマシタモノガ、今日ニ於キマシテハ、三十萬件ノ中ニ、九萬件位ノモノガ微罪不檢舉、起訴猶豫ト云フ事ニナツテ居リマス。實ハモウ微罪不檢舉、起訴猶豫ト云フモノハ、一ツノ事實上ノ制度トナツテ居リマス、ソレデアリマスカラ之ヲ運用スルニ付テハ、檢事ハ非常ナ勞力ヲ拂テ居リマス、起訴スル方デアリマスルト云フト、關係人ヲ調べマシテ眞證ガアリマスルト云フト、ソレデモ直チニ豫審ニ廻シ、公判ニ付スレバソレハ更ニ取調ガアルノデアリマスガ、此方ハ檢事ノ手限リデ處置ガ定マリマシテ、不起訴ノ決定ト云フモノヲ書クノデアリマス、其決定ハ即チ裁判所ニ代ル所ノ力ヲ持ッテ居リマス、司法行政致シマシテハ常ニ之ヲ監督致シテ居リマス、デ時々之ヲ監督致シテ、其不都合ナモノガアレバ之ヲ矯メルヤウニ致シテ居リマス、斯様ナ次第デ、餘程檢事ハ不起訴ヲ爲スト云フコトニ付テハ、檢事限リ事件ガ消滅スルノデアリマスカラ、注意ヲ拂ッテ居リマスノデ、今日迄ノ所デハ非常ナル過失ヲシテ、一旦處置シタモノヲ更ニ復活シタト云フノハ、極稀ノ事例ニ屬シテ居リマス、ソレハ無イコトハアリマセス、非常ナ過失ノトキニハ更ニ起訴シタト云フ事例ハアリマス。

○黒住委員 斯ノ如キ間ヲ發シマスル所以ノモノハ、今ノ御説明デ大體分リマシタケレドモ、一度決シラレタモノガ、近來ハ御承知ノ如ク政黨ノ争トカ何トカ云フノデ、隨分黨争ノ弊ガ色々ナ點ニ及ビマシテ、寧ろ檢事以上ノ搜查ニ類スル仕事ヲヤリマシテ、掘出シタ結果、新聞其他ニ色々ナ事ヲ連載スル、斯ウ云フ場合ニ於キマシテ一度不起訴決定ヲ致シマシタモノガ、輿論ガヤカマシク其不起訴ヲ其儘ニ維持スルコトガ出來ズシテ、再び之ヲ起訴スルト云フコトニナリマスルト云フト、所謂司法ノ大キク申シマスルト威信ニ關スル、一方カラ申シマスルト、何カ檢事ガ勤カサレタカノ如キ一ツノ疑ヲ起ス事ニナラウト思フ、非常ニ此問題ハ簡單ノ事件デゴザイマスルト、只今ノ御説明デ能ク分リマシタケレドモ、相當ナル事件ガ起ルトスレバ、重大ナ事件デモ此二百八十一條ニ該當スル場合、斯ウ云フ場合ハ御方針ガ確立シテナイト云フト、此規定アルガ爲ニ、日本ノ司法ノ威信ニ傷ヲ付ケルト云フヤウナ事ガアリハシナイカト云フコトヲ氣遣フ御尋致シタノデアリマス。

○宮古委員 只今政府委員ノ御答ノ起訴猶豫ニ二種アルト云フ、第一種ノ一定ノ期間ニ於テ云々ト申サレマシタガ、其期間ト云フノハドノ位ノ期間デアリマスカ。

○山岡政府委員 一年位ガ可ナリ外ウゴザイマス、二年ニ及ブナド云フノハ少ナイ、大體一年程度ノモノデアリマス。

○鶴澤委員長 第二百八十二條——第二百八十三條

○宮古委員 二百八十三條ニ付テ一寸伺ッテ置キマスガ、是ハ前カラ私共ハ甚ダ不都合ナル規定ナリト信ジテ居タ刑事訴訟法ノ條文ガ、矢張此所ニ現レテ居ルノデアリマス、此刑法ノ方デ云フト、大抵何年以下ノ微罪若クハ禁錮ニ處スト云フヤウナモノハ先ヅ普通デアアル、何年未滿ト云フヤウナ法ノ書方ハ無イノデアアル、ソコデ刑事訴訟法ノ方デ、懲役十年未滿懲役五年未滿ト云フ「未滿」ト云フ文字ヲ用キテ居ル爲ニ、非常ナ不都合ガ起ツテ居ル例ヘバ、刑法ノ詐欺罪デ申シマス、詐欺ハ十年以下ノ懲役トアル、十年以下ノ懲役ト云フコトデアッテ、其時効ハドウデアアルカト云フコトヲ見マスト云フト二百八十三條ノ第四ニ該ラス事ニナツテ居ル、第四條ハ長期十年未滿ノ懲役又ハ禁錮ニ該ル者ニ付テハ五年、刑法ノ詐欺罪ノ方ハ十年以下ニナツテ居ル爲メニ、之ニ該ラナイデ、タッタ一日カ二日ノ違ヒアルニ拘ラズ、二百八十三條ノ第三ノ長期十年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ該ル罪ニ付テハ七年ト云フ方デ以テ行カナケレバナラス、是ハ屢々裁判所ニ於テハ議論ヲ致シマシタ點デアリマシテ、ドウモ刑事訴訟法ノ書方ガ惡イノデアリマシテ、刑法ノ方ト同ジク調和ヲシナクテハナラス當デアアルカラシテ、矢張今ノ詐欺罪ノ如キ十年以下ト云フヤウナモノハ、矢張懲役十年未滿ノ方デ與ヘルノガ相當デアラウト云フヤウナ議論モシタコトガアルノデアリマス、ケレドモ判決例ト致シマシテハ「未滿」ト云フ文字ガ書イテアルト云フ爲ニ、此方ニハ該ラスデ、七年ノ方ノ即チ懲役十年以上ト云フ方ニ該ル、斯ウ云フ事ニナツテ居リマスガ、是ハ洵ニ刑法ノ方ト調和ガ取レテ居ナイヤウニ思ハレル、ソコデ僅ニ一日カ二日違ノ所デ時効ノ年限ヲ澤山ニ異ラシムルト云フ法ノ精神デハナカラウト思フ、サウシマスルト云フト、二百八十三條ノ書方モ第三ノ長期十年以上ト云フノハ「長期十年ヲ起スル」ト云フ風ニ書キ、又第四「長期十年未滿」ト云フノハ「長期十年以下」ト云フコトニ書キ、第五「長期五年未滿」ト云フノハ「長期五年以下」ト云フ風ニ書ケバ、刑法ノ方トスツカリ符合シ調和シテ、サウシテ宜キヲ得ルモノデアリカト思ヒマスガ、是ハ政府ノ御意見デハ、ドウ云フ趣意デアリマスカ、私ノ意見ト別ニ變ラナイデアラウカ、ソレトモ一日二日ノ違ヒデ、二年ナリ三年ナリ時効ヲ延バスト云フヤウナ考ヲ以テ規定サレテ居ル譯デアリマセウカ、ソレヲ伺ヒマス。

○山岡政府委員 此規定ノ趣旨ハ、十年以上ノ懲役ニ處スト云フ罪ニ付テ七年ノ時効ヲ必要トスル、ソレカラ七年以下ノ懲役ニ付テハ五年ノ時効ヲ必要トスル、ソレカラ五年

以下ノ懲役ニ付テハ三年ノ時効ヲ必要トスル、斯ウ云フ事實ヲ土臺トシテ、サウシテ其書キ方ガ問題ニナルノデアリマス、ソレデ長期十年以上ト云ヒマスレバ、十年以下ノ懲役ニ處セラレルト云フノハ其中ニ入りマスカラシテソレデ七年、八年トカ九年ト云フノハ、大體今日ノ舊刑法ニ於テハサウ云フ期間モアリマスケレドモ、先ヅ七年ソレデアリマスカラシテ、九年ト云フヤウナモノデアアルナラバ、寧ろ七年ト云フ期間ヲ與ヘルガ當然デアリマス、七年未滿ノ者ガ多イノデアリマス、ソレデカラ五年ニ下グルノガ適當デアル、ソレデ其言葉ガ十年未滿——實ハ十年未滿ト云フコトノ中ニハ、八九年ト云フモノハナイノデアリマス、此點ハ書方ノ問題デアアル、意見ノ相違ニナルノデアリマス、十五年從テ四年以下ノ懲役ト云フノハ舊刑法ノ時代ニハアリマシタガ、今ハ三年以下ノ懲役禁錮ニ付テハ三年、斯ウ云フ風ニナルノデアリマス、ソコデ御意見ハ規定ノ以下以上未滿ノ問題ニ非ズシテ、詐欺罪竊盜罪ノ如ク財産罪ノ多クハ三年デアリマスガ、ソレヲ五年以上ニ置イテ満足スベキヤ否ヤ、斯ウ云フ問題ニ歸着致スノデアリマス、ソレデ當局ト致シマシテハ、十年以上ノ懲役ハ刑法ノ餘程大キイ事項デス、是ハ五年デハイケンナイ、七年デナケレバナラナイ、斯ウ云フ風ニ認メテ居ル譯デアリマス。

○宮古委員 政府委員ノ御説明ヲ承リマシタガ、矢張斯様ニ規定シマス、ドウモ刑法ノ書方ト鈞合カ取レナイダラウト思ヒマス、刑法ニハ獨リ詐欺罪許リデナイ、其他ノ所謂偽證罪其他ノ所ニ於キマシテモ、何箇月以上十年以下ト云フヤウナ規定ハ、幾ラモアルノデアリマス、未滿ト云フ文字ヲ用キテ居ラスノデアアル、ソレデアリマスカラ、以上トカ以下トカ云フ事ニ刑法ノ方デハ書イテアル、ソレデアリマスカラ、時効ノ方ヲ規定スル場合ニ當ッテモ、以上トカ以下トカ書カナケレバ、ドウシテモ鈞合ガ取レヌ、其結果ト致シマシテハ、先程申シマシタ通り、一日カ二日ノ違ヒノ爲ニ、時効ガ二年間モ違フヤウニナツテ居リマスカラ、甚ダ不公平ナ結果ヲ來スト思ヒマス、ソレデスカラ、此書方ヲ矢張刑法ト鈞合ヲ取ラレテ、サウシテ十年以下トイフコトニ書イテ、規定ヲ一様ニシナケレバナラスト思ヒマスガ此點ニ於テノ御考ハ如何デアリマスカ。

○山岡政府委員 時日ノ點ニ付イテハ、御意見ガ少シ當局ト違ッテ居ルヤウデアリマスガ、モット短カクシタ方ガ宜イト云フ御意見ノヤウニ承知致シマス、而シテ刑法ニハ未滿ト云フコトハナイカラ、以下ト云フコトニシタラ宜カラウ、是ハ大體サウナツテ居リマスガ、併シ上下ヲ極メマス分界ヲ立テル時ハ、刑法モ以上及未滿ト云フ言葉ヲ使ッテ居リマス、第二章ノ總則ノ中ノ刑ト云フ中ニ其準則ヲ示シテ居リ

マス、十五條以下ソレデ勾留ニ付テハ一日以上三十日未滿、故ニ三十日ニ入ラス、科料ハ二十圓未滿トシテ十九圓九十九錢九厘斯ウ云フコトニナッテ居リマス、尤モ九厘ハ一錢ニ切上ゲマスカラ、九厘ハ出マセヌケレドモ、舊刑法ノ原則ニ依ッテ云フコトハ言ヒ得ヤウト思ヒマス

○宮古委員 今山岡政府委員ノ御話ニナツタノハ、主ニ勾留ノ場合又科料ノ場合デアリマスガ、普通體刑ノ方ノ場合——勾留モ體刑デスケレドモ、コンナ小サナモノデナイ、勾留科料ハ二百八十三條ノ第七項ニ「勾留又ハ科料ニ該ル罪ニ付テハ六月」ト書イテアリマスカラシテ、此方ニハ未滿デアッデモ、以下デアッデモ、ソナナ事ハ構ヒマセヌケレドモ、此體刑ノ方ノ部分ニ付テハ、未滿ナドト云フ書方ハ、何處カニ在ルカ知レヌガ、先ヅ大抵ノ條文ニハ無イ、皆以上トカ以下トカ書イテアル、ソレデ長期十年未滿ト云フコトガ二百八十三條ニ書イテアリマスカレドモ、サウカト云ッテ、刑法ノ方ニ九年八箇月以下ノ刑ニ處スト云フヤウニ書イテアルモノハナイ、ソレデアリマスカラ、折角此刑法ノ方ニ書イテアルノハ、何年以下ト書イテ居ルノニ、ソレニ正シク適用サルベキ規定ガナイノデアリマスカラ、私ハ刑事訴訟法ガ現行法ノ通りニ刑法施行法ニ於テ改正サレル場合ニ、是多分立法者ガ書キ間違ッテ書イタモノデアラウト、斯ウ考ヘテ居ッタノデアリマスカラ、ドウシテモ此刑事訴訟法ヲ捨ヘル場合ニアッテハ、之ハ舊刑法ノ通りニシナケレバ、甚ダ不都合デアラウト思ヒマス、左モナフト誠ニ僅カナル時日ノ相違ノ爲ニ、時効ノ方ハ何年モ違フ、大變ナ事ニナリマスカラ、私ハ之ヲ改メル方ガ宜カラウト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○山岡政府委員 其點ハ勾留科料ダケヲ書キマシタノデスガ、刑ノ總則ハ舊刑法ト違ヒマシテ、總則ニ於テ例ヘバ四年以上十六年以下ト云フ風ニナッテ居リマス、ソレデ十二條ニ一月以上十五年以下トストアリマスカラ、三十日未滿、三十日ニナレバ懲役ガ一箇月以上ニナル、此十二條ノ規定ヲ結付ケテ十條ガ出來テ居ルノデアリマスカラ、重イ罪ノ規定ヲシタ譯デアリマス、是デマア刑法トハ合ッテアル譯デアリマス、成程此處バカリ續ムト可笑シク見エマスガ、實ハ一々探シテ行ッテ七年ガ大體デアリマスカラ、サウ云フ風ニシテ見レバ御説ノヤウナ感じハナイノデアリマス、併シ刑法ノ十二條及十六條ノ關係ヲ考慮シマスルト云フト、是デ宜カラウト存ズル次第デアリマス

○宮古委員 何處マデモ山岡政府委員ノ御學ガニナルノハ此刑法ノ十六條十七條デアッテ、十二條ノ方ヲ見レバドウカト云フト、是ハ有期懲役一年以上十五年以下トアル、十三條ノ方ハドウカト云フト、禁錮ハ一月以上十五年以下シテア

ル、十四條ノ方ヲ見マシテモ何年以下ト書イテアル、ドウシテモ以下以上ト云フ文字ヲ使ハナケレバ刑法ノ方ニハ嵌ラナイ、勾留科料ハ時効六箇月ニ極ッテ居ルノデアリマスカラ、此方ニ於テハ問題ガ起ラナイカラ、刑法ノ方ニ當然規定ニナッテ居ル以上以下ト云フ方ニ鈎合ヲ取ラナケレバ、大變ナ私ハ不權衡ガ出來ルト思フ、是ハ私一人ノ考デナイ、在野法曹ハ誰方モ考ヘテ居リマス、今日ノ裁判例ニモ何時モ斯ウナッテ居ルヤウデアリマス、ソナナ譯デアリマスカラ、私ハ改正シナケレバイカスト思ヒマスガ、之ヲ修正スルト云フコトハ、政府ニ於テ御同意デアリマセウカ

○山岡政府委員 此時日ハ問題ハ、時効ノ期間ハ三號ニ付テハ七年、四號ニ付テハ五年、五號ニ付テハ三年、是ハドウシテモ維持シナケレバナラヌト思ヒマス、書方ノ問題ニナレバ、當局トシテハ刑法ノ原則ハ此通り出來テ居ルト考ヘルノデアリマス、併シ強イテソレヲ外ノ書方ニシテ惡イト云フコトモナイダラウト思フ、刑法ガサウナッテ居ルノデ、此處ヲ變ヘナケレバナラヌト云フ理論ハナカラウト思フ

○鶴澤委員長 第二百八十四條——第二百八十五條——第二百八十六條——第二百八十七條

○黒住委員 時効中斷ノ規定ガアリマスカ、此條文中「其ノ手續規定ニ違反シタル爲無効ナルトキハ此ノ限リニ在ラス」トアリマスカ、是ハ管轄違ノ結果デアリマスカ、ドウデアリマスカ

○山岡政府委員 管轄違ニ付キマシテハ、前ニ訴訟手續ハ管轄違ノ理由ヲ以テ效力ヲ失ハナイト云フコトニナッテ居ルガ、此處ハ無効デアルト云フ譯ニ參ラヌト思フ、此處デ無効デアルトアルト云フノハ、例ヘバ起訴ノ手續ガ全ク法則ニ反シテ居ルト、效力ガ無イト云フガ如キ場合デアリマス、管轄違ハ效力ガ無イトハ見ラレナイト存ジマス

○黒住委員 斯様致シマスルト云フト、管轄ニ關シテ規定スルコトガ根本カラ打毀レテ來ナケレバナラヌ、如何ニモ便宜上ノ規定ノヤウニ存ジマス、本案ニ依リマスカルト云フト、私ノ信ズル所デハ、法定ノ管轄裁判所ニ二百九十三條ニ依リマシテ、被告人ヲ指定シテ、犯罪事實及罪名ヲ示シテ公訴ヲ提出スルト云フ事ガ適法デアルト思フ、只今ノ御説明ニ依リマスカルト云フト何處ニ提起シテモ、又違法ノ手續ガアッデモ、總デソレガ有効デアルト云フコトニナレバ、管轄違ハ認メルコトニナルト思フガ、私ハ第十二條ヲ極メテ廣義ニ解釋シタイノデアリマス

○山岡政府委員 其點ハ先キニ申上ゲタヤウニ、第十二條ニ於テ管轄違ニ付テノ手續ハ效力ヲ失ハナイト云フ事ニナッテ居リマスカラ、此解釋トシテハ時効ノ中斷ハ效力アリト謂ハナケレバナラヌト思フ、尙ホ現行法ニ於キマシテモ、第

十二條ニ於テ「裁判所ノ管轄違ナルニ依リ其手續ノ無効ニ屬スルトキハ此限ニ在ラス」ト云フノデ、此中斷スルト效ガナイト、云フノハ例外ニナッテ居リマス、マア管轄違ト云フノハ、要スルニ裁判權ノ無イト多少違ヒマス、裁判所ノ行動デアルトハ確デアルカラ、其ニ依ッテ其事件ヲ忘レテ居ッタトハ云ヘナイノデアリマスカラ、中斷シテモ然ルベキコト、考ヘマス

○鶴澤委員長 第二百八十八條——第二百八十九條——第二百九十條——第二百九十一條——第二百九十二條

○宮古委員 第二百九十二條ニ付テ一ツ御尋ネシマスガ、第二項ノ「豫審ノ請求ハ急速ヲ要スル場合ニ限リ口頭又ハ電報ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得」ト又ハ電報ヲ以テ豫審ノ請求ヲ爲シタルトキハ之ヲ調書ニ記載シ豫審判事裁判書記ト共ニ署名捺印スヘシトアリマス、是ハ非常ニ急速ヲ要スル場合ハ、口頭若クバ電報デモ豫審ノ請求ガ出來ルト云フコトニナッテ居リマスガ此規定ガアレバ、大抵ノ急速ノ場合ハ間ニ合ウダラウト思ヒマスガ、此規定ガアレバ豫テ問題ニナリマシタ第百一十三條——百一十三條ノ「急速ヲ要シ判事ノ勾引狀ヲ求ムルコト能ハサルトキハ檢事ハ勾引狀ヲ發シ又ハ之ヲ他ノ檢事若クハ司法警察官ニ命令シ若クハ囑託スルコトヲ得」ト斯ウ云フヤウニ檢事ニ非常ナ權力ヲ與ヘテ居ルカラ此規定ハ無クトモ差支ナイヤウニ思ハレルデ、私ハ此第二百九十二條ノ第二項ハ、是ガアル方ガ宜イト思ヒマスガ、是ガアリサヘスレバ、百二十三條ハ動モスレバ檢事ガ人權ノ蹂躪ヲ惹起スルヤウナ嫌アル如キ條文ハ無クテモ差支ナイト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○林政府委員 百二十三條ノ規定ハ已ムヲ得ヌ場合ニ於テ適用サレルノデアリマシテ、實際ノ適用範圍ハ非常ニ狭イモノデアルトハ、屢々申シタ通りデアリマス、第二百九十二條ノ規定ガアルガ爲、百二十三條ハ必要ガナイト云フコトハ認メラレス、實際ノ經驗ノ上ニ於テイカニ關係ニナッテ居ル、詰リ面例ナ茲ニ被疑者ガアル場合、口頭ナリ電報ナリデ豫審ヲ求メテ居ッテハ、被告人ノ所在ガ分ラナクナルト云フコトハ、事實ニ於テ往々ニシテアルノデアリマス、若シ豫審判事ニ檢事ガ電報ヲ打ッテ、豫審ノ請求ヲシテ間ニ合ウト云フ場合ハ無論原則トシテ二百九十二條ノ第二項ニ依リ急速已ムヲ得ヌ場合ニハ檢事ハ已ムヲ得ザルコト、シテ此百二十三條ノヤウナ規定ガアリマセヌト、犯罪人ノ所在ガ分ラナクナルトカ、良民ガ不安ニ襲ハレルト云フコトガ起ルノデアリマセヌカラ、二百九十二條ト百二十三條ハ、共ニ必要デアアルノデアリマス

○宮古委員 口頭又ハ電報トアリマスガ、是ハ電話ヲ以テ口頭ノ内ニ入レテ居ルト見テ宜イモノデアリマセウカ、ド

ウデアアリマセウカ

○林政府委員 是ハ解釋デ、一ノ問題ニナルト思フノデスガ、併シ此法案ヲ豫想シテ居リマシクハ、デカニロヅカラ豫審ノ請求ヲスル、斯ウ云フ場合ヲ考ヘテ居ルノデアリマス

○宮古委員 電話ヲ以テ豫審ノ請求ガ出來ルカドウカト云フコトハ、是ハ明ニ記シテ置ク方宜カラウト思フ、電話ヲ要求シテモ差支ナカラウト思ヒマス、而シテ今日ハ大抵ノ所ニハ電話ハアル、電話ヲ要求スルコトハ出來ヤウト思フ、ドウモ檢察官百二十三條ニ依テ處分スルコト云フヤウナコトハ、センデ濟ミサウナモノト思フ、ソレデモ濟マスト云フヤウナ場合ガ、ドウ位アルト云フ御見込デアリマセウカ、是ハ千ノ中デ一ツトカ二ツトカ云フ程度ノモノデナカラウト思フ、如何デアリマセウカ

○林政府委員 豫審ヲ請求シテ、豫審判事カラ令狀ヲ出シテ貰フト云フコトニナリマス、檢察官出先デサウ云フ必要アル場合、從來ノ狀態デハドウシテモ時間ガカカル、ソコデ被疑者ノ逃走ノ虞ガアルト云フヤウナ場合、結局不都合ノ結果ヲ生ズル、デサウ云フ場合ニハ、ドウシテモサウ云フ結果ヲ生ジナイヤウニシヤウトスレバ、何方便宜ナ方法デ被告人或ハ被疑者ト云フ者ヲ拘束スル必要ガ起リ易イ、ソレデ此案ニ於テサウ云フコトハ一切ヤラセナイ爲ニ、相當ナ方法ヲ設ケタノデ、必要ナ場合ニハ此法律ニ依ル爲ニ、此法案ヲ制定致シタイノデアリマス、是ハ是非存置スルコトニ御同意ヲ願ヒタイ

○宮古委員 只今ノ二百九十二條ノ第二項ノ電話ノ事ガハ、キリシマセウカ、只今迄ノ御考ハ無カッタト云フヤウナコトデアリマスガ、サウスト口頭又ハ電報ト云フ所ニ、電話ハ含マスト云フコトニ解釋シテ差支アリマセウカ

○林政府委員 其點ハ責任ノアル答ハ後ニ願ヒタイ

○鶴澤委員長 第二百九十三條

○黒住委員 極メテ嚴格ニト云フコトヲ、答辯ノ其都度政府委員ハ御説明デアリマスカラ、一ツ此條項ニ付テ御尋ネシテ置キタイノデアリマスガ「公訴ヲ提起スル」ニ被告人ヲ指定シ犯罪事實及罪名ヲ示ス「シ」トアル、此犯罪事實ハ本案ノ理由書ニモアリマス如ク、刑ノ確定スル共起訴トナルベキ犯罪事實デアリマセウカ、極メテ大切ナル事ト考ヘマスルノデアリマス、然ルニ從來ノ區裁判所等ノ檢察官ノ起訴事實ヲ見マスと云フト、極メテ簡單若クハ難解ノモノデアアル、司法警察官ノ意見書ノ通りト云フヤウナ風ニ書イテアルノガアリマス、ボンノ三行バカリノモノデ、何處ガ公訴事實カ、事實トシテ判斷致シマスニハ、餘リ簡單ニ過ギルヤリ方ガアル、是ハ一ツノ事務ノ取り方ニ屬スルコトデハ

ゴザイマセウカ、結局斯ウ云フ規定ガアル以上ハ、犯罪事實ト云フモノハ、從來ノヤウナ一定セザルモノガ出マシテ、風船玉ノヤウニ僅ノ事實ガ幾ラデモ擴大サレ、若クハ澤山ノ事實ガアルヤウナモノガ、終ヒニハ無クナッタト云フ様ナモノガアルノヲ、私共ハ實見致シテ居リマス、事實ト云フノハドウ云フノカ、少シムヅカシイカモ知レマセウカ、何方本法ガ施行サレル曉ハ、檢察ニ對シテ一定ノ訓示デモ御出シニナッテ、此犯罪事實ノ方針ニ對スル訓示デモ爲サルノデアリマス、此犯罪事實及罪名ヲ示スベシト云フ、此罪名ト云フノハ、訓示的ノモノアリマス、極メテ具體的ノコトデアリマス、横領罪ノヤウナモノニシヤウカ、何ニシヤウガ一向差支ナイト云フ一ツノ方針ヲ執リテ居リマス、此點ヲ伺ヒタイ

○林政府委員 犯罪事實ヲ指定スベシト云フ意味ハ、如何ナル事實ニ付テ公訴ヲ提起シタルデアアルカト云フ事ヲ、他ノ事實ト分別スベク明カニスル意味デアリマシテ、法文トシテハ是デ十分デアアル思ヒマス、實際ノヤリ方ニ付テハ法文ノ精神ニ合フヤウニ、十分考慮スル必要ガアルト考ヘテ居リマス、今日ノ取扱ニ於テ、往々ニシテ今御話ノヤウナ、司法警察官ノ意見書ノ通りト云フヤウナコトヲ書キマシテ、司法警察ノ意見ハ、犯罪事實ガ頗ル亂雜デアアル、ガ起訴事實デアアルカ、十分ニ明瞭デナイヤウナコトガ絕對ニナイト云フヤウナ次第デハナイデアリマシテ、之ニ付テハ司法當局トシテハ、度々注意ヲ與ヘテ、サウ云フ事ノナイヤウニ努メテ居リマス、最近ニ於テハ、サウ云フ事ハ餘リ無イノデアアラウト信ジテ居リマス、此法案ヲ實施スルニ當リマシテハ、ソレ等ノ點ニ付テモ一層注意ヲシテ、此法案ノ精神ヲ十分ニ貫クヤウニ努力致ス考デ居リマス、ソレカラ又法名デアリマスガ、是ハ公訴ヲ提起スルニ付テハ、罪名ヲ書ケト云フコトヲ法律ガ命ジテアルノデアリマスガ、併ナガラ裁判所ガ段々調べマシタ結果、事實ハ基本ニ於テハ變リナイ、併ナガラ之ニ附帶スル情狀ガ變タガ爲ニ、法名ニ相違ガ生シテ來ル、斯ウ云フコトガアリマシテモ、ソレハ起訴ノ範圍外ニナル、斯ウ云フコトニハナリマセウカ趣意デアリマス

○鶴澤委員長 第二百九十四條——第二百九十五條

○宮古委員 二百九十四條ニ關シテデスガ、是ハ新シク規定ノヤウデスガ、公訴ノ取消ヲ第一審判決アル迄出來ルト云フノハ、何方檢察官誤ラタ公訴ラシタ場合ニ、取消スコトノ出來ルト云フ規定ヲ設ケラレタモノデアラウト思ヒマスガ、サウ云フコトデアレバ、定ニ結構ト思ヒマスガ、是ハ今迄モ誤ラタ公訴ガ幾ラモアッテ、ソレガ取消スコトガ出來ナイノデ、不都合ヲ感ジテ規定シタルト云フヤウナ譯デアリマ

スカ

○林政府委員 從來御尋ネノヤウナ事ガ度々アッタト云フヤウナ次第デハアリマセウカ、此法案ニ於キマシテハ公訴ニ付テハ任意主義モ探ッテ居リマス、公訴ハ提起シタケレドモ、後ニナッテ段々事實ヲ調べテ見ルト、全ク公訴ヲ提起スル必要ハナカッタ事情デアアルト云フ事ガ分ル場合モアリマス、サウ云フヤウナ場合ニ、一度公訴ヲ提起シタラ、飽迄維持スル、斯ウ云フコトハ總當デナイカラ、左様ナ場合ニハ取消シテ宜シイ、併シソレヲ無制限ニヤルト弊ガアリマス、ソコデ制限ヲ附ケタ次第デアリマス

○鶴澤委員長 第二百九十四條或ハ二百八十一條ト云フノハ、此案ニ付テハ餘程大抱負ノアル所ト思フノデス、何レ是ハ後デマダ問題ニナリマス、留保致シテ置キマシテ、尙ホ政府ノ抱負ヲ承ッテ見タイ、最近ノ刑事政策トカ、或ハ刑事學ノ研究、刑事社會學ノ研究等カラ、餘程割出サレテ考出サレタ法案ト謂ッテモ差支ナカラウト思フ、何レ後デサウ云フ説明ヲ願ヒタイト思ヒマス——第二百九十五條——第二百九十六條

○黒住委員 告訴ニ關スル事件ニ付テ、公訴ヲ提起シ、又ハ不起訴處分ラシタ時ニハ、速ニ其旨ヲ告訴人ニ通知スヘシトアル、是ハドウ云フ精神デハ御通知ニナルノデアリマス、結果報告ト云フ事デアアルナラバ、何故告訴ニカ、ル事件ニ付テ、此種ノ事ヲ告訴人ニ通知ラシナイノカ、此點ヲ一點御伺ヒ致シマス、尙ホ公訴ヲ取消シタル場合ニ於テ、告訴人又ハ告訴人ニ之ヲ通知セザルヤ、是デケテ御尋致シマス

○林政府委員 告訴ノ場合ハ、犯罪ニ依リ直接ニ害ヲ受ケタ場合デアリマス、多クハ司法上ノ請求權モ發生致シマシテ公訴ニ附帶シテ私訴ヲ提起スルコト云フヤウニナッテ居リマス、ソレデアアルカラ、告訴シタルガ如何ナル運命ニナツタカト云フコトヲ知ルノハ告訴人ニ取ッテ必要ナ事デアアル、告發ノ場合ハ、全ク第三者ガ申告スルノデアリマスカラサウ云フ關係ハ無イノデアリマス、特ニ告發ノ場合ニ一々其結果ヲ通知スルコト云フ必要ヲ認メナイ次第デアリマス

○黒住委員 サウスト先ノ理由デ起訴ヲ取消シタ場合ニ、告訴人ニ通知シナイノハ……

○林政府委員 起訴ヲ取消シタ場合モ、通知スルコトニナッテ居リマス

○鶴澤委員長 第三章豫審、第二百九十七條

○宮古委員 二百九十七條ノ事ニ付テハ、今迄モ質問ガアツタカモ知レマセウカ、ドウモ今迄トハ大分方針異ニシタ規定デアッテ豫審ハ被告事件ヲ公判ニ付スベキカ否ヲ決スル爲ニ必要ナル事項ヲ取調ブルヲ以テ其ノ目的トス、是ハドウ位ノ程度デ足リタルモノデアリマセウカ、公判ニ付

スル場合ハ、先ヅ嫌疑トシテ付スル規定ガアリマシタガ、今迄ノヤウニ豫審ヲ十分ニ精密ニ調ベテ、證據十分ナリト云フコトニイカヌデモ、公判ニ付スルコトニ致ス譯デアリマセウカ、サウスルト今日迄ノヤリ方トハ、ドノ位違フコトニナルノデアリマセウカ、御説明ヲ願ヒタイ

○林政府委員 本案ニ付キマシテハ訴訟手續ハ公判ヲ中樞トスルコト云フ主義ヲ明ニ致シマシタ、豫審手續ハ全ク公判手續ノ前提タル手續、或ハ準備タル手續ト申シマスカ、兎ニ角現行ノ實際ノ如キ、豫審ニ刑事訴訟手續ノ中樞ガアルト云フ弊ヲ全然防ギタイ、斯ウ云フ考デ立案サレタノデ、從テ三百十四條ニ公判ニ付スル決定ノ場合ガゴザイマスカ、公判ニ付スルノハ、嫌疑アルトキハ云々トナッテ居ル、現行ノ如ク犯罪證據十分トカ、不十分トカ云フ言葉ハ、此場合使ッテ居リマセヌ、即チ公判ニ付スルニ足ルダケノ相當ノ嫌疑アレバ、之ヲ公判ニ付スルコトニナリマス、現行法トハ其場合ノ程度ガ餘程違フコトニナッテ居リマス

○宮古委員 左様シマス、先ヅ犯罪ノ嫌疑トシテ認ムルニ足ルダケノ事ガアレバ、公判ニ付スルコト云フコトニナレバ、從テ證據人ノ調ノ如キ、若クハ其他ノ處分ノ如キハ、先ヅ豫審デハ餘リヤライノデ、公判ノ方ニヤラシメルト云フヤウナコトニ致ス趣意デアリマセウカ、サウ致シマスレバ、先ヅ豫審デヤル仕事ハ、極メテ僅ナ事デ出来ルコトニナリハセスカ

○林政府委員 本案ノ趣意ハ、全ク御尋ノ通りデアリマス

○鶴澤委員長 第二百九十八條——第二百九十九條——第三百條——第三百一條——第三百二條——第三百三條——第三百四條

○宮古委員 此豫審ニ辯護人ヲ付スル事ニ付テモ、今マデ大分質問モアッタノデ、此機會ニ於テ豫審判事ノ致シマスカ、被告ノ人ノ訊問ノ際若クハ一般ノ證人ノ審問ノ際ニ、辯護人ガ立會フコト云フ事ニ致シマス、云フコト、餘程不都合デアルト云フコトデ、此規定ハ設ケラレナイ譯ニナッテ居ルノデアリマスカ、サウ云フ場合ニ於テモ辯護人ガ立會ト云フコトニスルト、運用上餘程困ル譯デスカ

○林政府委員 今御尋ノ點ハ、豫審處分ノ全部ニ辯護人ガ立會フコト云フコトハ、豫審手續ノ進行ノ方面カラ見テ、色々不都合デアルト云フコトハ申ス迄モナイノデ、ソレガ爲ニ本案ニ於テハ、豫審手續ニ辯護人ガ干與スル範圍ヲ幾分か制限ハシテアリマス、ソコデ被告ノ人訊問ニ辯護人ヲ立會フ事ヲ認メテナイノハ、本案ノ趣意ニ於テハ、度々前ヨリ申シテアリマスガ、被告人訊問ト云フコトハ、唯被告人ニ辯解ノ機會ヲ與ヘル現行法ノ如キ被告人ニ對シテ事實ヲ問ヒ質

シテ、被告人ハ之ニ對シテ答フシテ行クト云フヤウナコトハ、大分違ッテ居リマス、ソレデ辯護人ハ之ニ立會ハナクテモ、被告人ノ爲ニ辯護權ヲ行フテ差支ナイ、ソレカラ證人ノ場合ニ於テハ、先程申シタ通り、豫審手續ハ公判ニ付スルダケノ嫌疑アルカト云フコトヲ調ベルダケノ程度デ、ザット調ベテ置ク、從テ證人ハ概シテ公判ニ於テ重要ナル調ヲ受クルコトニナリマス、サウシマス、其場合ニ辯護人ハ立會ッテ行フベキ權利ヲ行フコトガ出来ルノデアリマス、豫審ノ手續ニ於テ之ニ立會フコトハ、必スシモ必要デナイ、サウ云フ考デ斯ノ如クナッタ次第デアリマス

○宮古委員 度々質問ノアッタ事デアルカラシテ、長イコトハ質問致シマセヌ、唯是迄ノヤリ方ヲ見マス、隨分ヒドイ事モアリマシテ、豫審判事ガ被告人ヲ四日モ五日モ調ベ、サウシテ一々ニ付テ調書ヲ作ルベキモノデアルノニ、一々ニ付テ調書ヲ作ラナイデ置イテ、一纏メニシテ一番最後ノ日ニ調書ヲ作ルト云フヤウナ事ヲヤッテ居リマス例ガ幾ツモアリマス、ドウモ辯護人デモ附イテ居ッタナラバ、サウ云フ事ハ出来ナイデアアラウト思フノデ、今ハ辯護人ガ附イテ居リマセスカ、隨分勝手ナ事ヲヤッテ居ル、ソコデ矢張人権蹂躪ナドト云フ問題ガ起ル譯デアリマス、政府ニ於テノ御考ハ、辯護人ヲ一々附ケルト云フコト、イカスト云フ理由ヲ並ベテ見タナラバ、ドウ云フ事ガアルノデアリマスカ、手續ガ大分遅レルト云フヤウナ事、其他ニモ理由ガアルト云フコトデアリマスガ其理由ヲ、項目ダケデ宜シウゴザイマスカ、擧ゲテ戴キタイ

○林政府委員 被告人訊問ニ付テハ、本案ノ趣意デハ、百三十四條ニモアリマス通り、其事件ニ付テ陳述スルコトガアルカ無イカト云フコトヲ訊クダケニナッテ居リマス、現行法トハ餘程違ッテ居リマス、今御尋ニナッタヤウナ三日モ四日モ結ケテ訊問スルト云フヤウナコトハ、本案デハ無イコトニナリマス、被告人ガ答ヘナイト言ヘバソレマデスカ、被告ノ供述ニ依ッテ事實ヲ發見スルナド、云フノハ、舊イヤリ方デ、本案デハソレハ認メナイノデアリマス、本案實施ノ曉ニ於テハ、無根ナ事ハ認メセヌ

○鶴澤委員長 第三百五條——第三百六條——第三百七條——第三百八條——第三百九條——第三百十條——第三百十一條——第三百十二條——第三百十三條——第三百十四條

○宮古委員 只今公判ニ付スル場合ハ、犯罪ノ嫌疑ト云フコトダケデイケルト云フコトデ、ソレハ至極宜カラウト考ヘマスガ、サウスルト今度ハ、大抵ノ證人ヤ參考人ト云フヤウナモノハ、公判ノ方ニ喚出シテ訊問スルヤウナ手續ニナル譯デアッテ、豫審ノ方デハ大抵ノ事ハヤラヌデ、公判ニ讓

ルト云フ意味ニナリマスカ

○林政府委員 ソレガ本案ノ精神デアリマス

○鶴澤委員長 第三百十五條——第三百十六條——第三百十七條——第三百十八條——第三百十九條——第三百二十條——第三百二十一條——第三百二十二條——第三百二十三條

○宮古委員 御尋ニシテ置キマスガ、本條ニ「第一回ノ公判期日ト被告人ニ對スル召喚狀ノ送達トノ間ニハ少クモ三日ノ猶豫期間ヲ存スベシ但シ區裁判所ニ在リテハ此ノ限ニ在ラズ被告人異議ナキトキハ前項ノ猶豫期間ヲ存セサルコトヲ得」トアリマス、區裁判所デアッテモ、多少猶豫期間ガナイト、ドウモ被告人トナッタモノガ或ハ辯護人ヲ頼ムトカ、或ハ手續ヲスルト云フヤウナコトデ、困ルコトガ出来ハセヌカト思ヒマス、タッタ三百位ノ猶豫ハ、區裁判所ノ方ニモ存シテ置イテ差支ナイカト思ヒマス、ドウモ是ガ矢張今マデノ弊害ト致シマシテ、被告人ハ自分ノ意思デナイコトデアッテモ、檢事ナリ裁判官ナリカラ言ハレルト、抵抗出来ナイデ、其言フ通りニナッテシマウノガ普通ノヤウニ思ヒマス、ソレデ此異議ガアッテモナクトモ、三日間ハ置クト云フコトニシテハ如何デスカ

○林政府委員 區裁判所ノ方ニハ、猶豫期間ヲ設ケナイノデスカ、併シ猶豫期間ヲ設ケヌカラト云フデ、實際上被告人ノ都合ノ惡イ時ニ期日ヲ定メルコトハ、有リ得ベカラザルコトデ、無論諸般ノ事情ヲ斟酌シテ、適當ニ期日ヲ定メルノデスカ、區裁判所ノ事件ハ、概シテ輕微デアリマシテ、成ベク簡易ナ手續デ早ク選ブト云フ事モ必要デアリマスカ、ソコデ法律上必ズ三日間ノ猶豫期間ヲ置クトハ、實際要サヌコトガ多イノデアリマス、ソレデ但書ガ設ケテアリマス、次ニ被告人ニ異議ナキトキハ、猶豫期間ヲ存セナクトモ宜イトアリマスガ、是ハ實ハ明文ヲ俟ツシテ明ナ事デ、疑ヲ避ケル爲ニ茲ニ書イタノデスカ、猶豫期間ハ要スルニ被告ノ利益ノ爲ニ設ケル期間デアリマスカ、被告ガ利益ヲ拋棄スレバ、無論猶豫期間ヲ存置スル必要ナキコトハ當然デアリマス、之ヲ置クト云フコトハ、詰リ疑ヲ避ケル爲デアリマス、今御尋ノヤウニ、若シ内心ニ異議ガアルノニ、其異議ヲ主張シナイト云フヤウナコトガアリマスレバ、其様ナ事ハ將來實際上ニ於テ無イヤウニ十分努メル積リデアリマス

○宮古委員 此二項ノ「被告人異議ナキトキハ前項ノ猶豫期間ヲ存セサルコトヲ得」ト云フコトガアル以上ハ、尙更區裁判所ニ對シテハ何カ例外ヲ設ケル必要ハアリマセスカ、普通ハ三日間ノ猶豫ガアッテ、被告人ニ異議ナキトキハ、ソレガ無クトモ宜イト云フコトニナリマスカ、區裁判所ノ

方ニ於テ、輕微ナル事件ニ付テ、被告人ガ公判ヲ聞イテ貰フ
方ガ利益ト思ヒマスレバ、異議ヲ唱ヘナイコトニナリマス
カラ、區裁判所ノ方ニモ三日間ノ猶豫ヲ置イテモ差支ナイ
コトニナリハセヌカ、ソコデ異議アル場合ニハ、矢張三日ノ
期間ヲ置イテ貰フコトガ、但書ガナケレバ出來ルガ、但書ガ
アルト裁判所ノ勝手次第、直グ判決スルコト云フコトニナル
ト困ルノデス、今マデモ實例デモ區裁判所ヘ引張ラレテ、直
グ判決サレル、辯護士ヲ頼ム猶豫モナイ、頼ム手續モ分ラヌ
ト云フヤウナコトデ、直グ判決サレタコトヲ聞イテ居リマ
ス、斯様ナ事ヲ三日ノ期間ヲ置ケバ、其弊ヲ防グコトガ出來
マスガ、期間ガナケレバ防グコトガ出來マセヌ、異議アルト
キハ矢張普通ノ他ノ裁判所ノヤウニ、三日ノ期間ヲ置イタ
方ガ宜イト思ヒマス

○林政府委員 ソレモ一ノ御考ト思ヒマスガ、異議ノナイ
ト云フコトヲ被告人ガ裁判所ヘ申出ル場合ハ、無論ソレデ
宜イノデスガ、被告人ガ裁判所ヘ出テ、書面ヲ以テスル
云フ手續モ要リマスカラ、一般ノ場合ニ其様ナ事ハ行ハレ
マイト思ヒマス、裁判所ガ喚出ヲ出ス前ニ、被告人ニ一々
當テ見ルト云フヤウナコトハ出來ナイノデスカラ、矢張法
律ノ規定トシテハ、裁判所ハ兎ニ角猶豫期間ヲ取除クト云
フコトガ宜カラウト考ヘテ居リマス

○黒住委員 此被告人ニ對スル召喚狀ノ送達ト云フノハ、
勾引狀ノ執行中ニ發スルモノニ付キマシテハ、送達ハ監獄
法ニハ適法ニ出來テ居ルノデアリマスガ、此本案ノ趣旨ハ、
本人ガ受取ヲ出テ意味ニ解シテ宜シウゴザイマスガ、送
達ガ適法ナラバ、ソレデ宜イト云フ意味デアリマスガ

○鶴澤委員長 其事ハ八十四條ニ出テ居リマスガ……

○黒住委員 ソレナラバ能ク分リマシタ、尙監獄局長ニ伺
ヒマスガ、實際ニ於テ既ニ召喚狀ガ出テ居リマスルニ、往々
辯護人ガ先方ニ參リマス云フト、被告人ガ其公判期日ヲ
知ラヌコトヲ屢々私共ハ打突ッテ知ッテ居ルノデアリマス、
何カ送達ト申シマシテモ、サウ云フ譯ニハナリマスマイカ、
直チニ被告人ニ之ヲ知ラシムルト云フ方法ヲ執ッテハ、監獄
取締ノ上ニ不都合デアリマスルノデアリマスガ

○山岡政府委員 其點ハ何等ノ不都合モ無イノデアリマ
ス、此際ニ尙一言申上ゲテ置キマスガ、未決勾留ト云フコト
ハ、證據湮滅逃亡ト云フコトヲ防グ爲メニ致スノデアリマ
シテ、其以外ニハ何等ノ被告人ノ自由ヲ制限スベキモノデ
ナイノデアリマス、ソレデアリマスカラシテ、此精神ニ從ッ
テ、十分ニ被告人ノ自由ト云フコトニ付テハ、考慮セナケレ
バナラスト存ジテ居リマス、從來御説ノヤウナ事ガ無イト
申セマスマイト思ヒマスケレドモ、將來ニ於テハソレ等ノ
點ニ付テ、未決勾留ノ本旨ニ從ヒマシテ、被告人ノ利益ニ付

テハ、十分ナル考慮ヲシナケレバナラスト考ヘテ居リマス
○鶴澤委員長 次ハ第三百二十四條——第三百二十五條
——第三百二十六條——第三百二十七條——第三百二十八
條——第三百二十九條——第三百三十條——第二節公判
手續——第三百三十一條——第三百三十二條
○宮古委員 此第三百三十二條即チ被告人ガ國席ノ場合、此
場合ハ開廷スルコトヲ得スト云フ事ニナッテ居リマスカラ、
即チ今度此刑事訴訟法案デハ、國席判決ト云フコトハヤラ
ヌコトニ——左様ニ見エテ、新ラシイ是モ規定デアルト思
ヒマスガ、是ハドウ云フコトニ御取扱ニナル御積リデアル
カ、被告人ガ出廷スルマデハ、何時マデ經ッテモ公判ハ開カ
レス、直ニ其間時効ノ中斷ヲシテ置クト云フ御取扱ニナル譯
デアリマスガ、政府ノ御意見ヲ伺ヒマス
○林政府委員 時効ノ中斷ノ事ハ、是ハ別問題デアリマス
ガ、第三百三十二條ノ趣旨ハ、被告人ガ公判期日ニ出頭シナケ
レバ、特ニ規定ノアル場合ノ外ハ全ク開廷ガ出來ナイ、斯ウ
云フコトニナッテ居リマス
○黒住委員 ソレデハ國席判決ハヤラスノデアリマスガ
○林政府委員 其趣意デアリマス
○鶴澤委員長 第三百三十二條——第三百三十一條ニ付テ私
ハ牽聯シテ伺フテ置キタイト思フ、此刑事訴訟法ニ於ケル辯
護人ノ地位ト云フモノガ、ハッキリシテ居ラナイノデアリマ
スガ、裁判所構成ノ分ト違ッテ居ル譯デ無イヤウデアリマ
スガ、併ナガラ裁判ト云フ公判開廷ニ於テハ、極メテ必要ナモ
ノデアリマス、ソコデ此第三百三十一條ノ第二項ノヤウナ規
定ノアル場合ニハ辯護人ノアル事件ニ付テハ、辯護人モ列
席シテ之ヲ聞クト云フ趣旨ノ規定ガ欲シヤウニ思フ、併
シ今日ハソナ專斷ナ裁判官ハナカラウト思ヒマスガ、此
二項ノ規定ノアル爲メニ、辯護人ガ居ラヌデモ聞ク、現ニ辯
護人ニ任サレテアル事件ニ付テ、其爲メニ期日ノ問題ヤラ
忌避ノ問題ガ、時々起ッテ來ル處ガ從來ハアッタヤウデアリ
マス、之ニ付テノ御考ハ如何デアリマスガ
○林政府委員 辯護人ガ適法ノ喚出シテ受ケテ出頭シナイ
ト云フヤウナ場合ニ於テハ、其儘公判ヲ開クヨリ外途ガ無
イト考ヘマス、辯護人ノ選任ガアルカラ、常ニ辯護人ノ列席
ヲ公判ノ要件トスルト云フコトハ、少シムヅカシカラウト
思ヒマス、ソレデアリマスカラ矢張第三百三十一條ノ二項ハ、
此儘デ宜シイデハナカラウト考ヘテ居リマス
○黒住委員 私ハ今委員長カラ聽カレタコトニ對シテ、政
府委員ノ御説明ガ、能ク私ニハ分ラナカッタノデアリマスガ
委員長ノ御質問ハ三百三十一條ノ規定ノ第二項ノヤウナ規
定ノアル場合ニ於テハ、辯護人モ列席シテ之ヲ聞イタ方ガ
宜イデヤナイカト考ヘマスガ、今ノ御説明デハ、之ニ入レル

カ入レスカト云フコトガ、位置ヲ定メル上ニ於テ分ラヌヤ
ウニ考ヘマスガ、今ノ御説明デ宜シイノデアリマスガ
○林政府委員 今私ノ御答ヘシマシタノハ、辯護人ニ對シ
テ適法ニ喚出狀ガ出シテアル、サウシテ、辯護人ガ何等カノ
都合デ出頭シナイ、斯ウ云フ場合ニ公判ヲ開クコトハ出來
ナイカト云フ意味デアアルナラバ、ソレハ開カナケレバナラ
ヌ、サウ云フ次第デアアルカラ、辯護人ノ列席ト云フ事ヲ、公
判ノ開廷ノ要件トシテ法律ニ規定スルノハ無用デアアル、斯
ウ云フコトヲ申上ゲタノデアリマス
○鶴澤委員長 第三百三十三條——第三百三十四條——第
三百三十五條
○宮古委員 第三百三十五條ニ付テ一寸御尋シマスガ、裁判
長ノ許可ヲ得ナケレバ被告人ハ退席スルコトガ出來ヌ、ソ
コデ裁判長ハ被告人ヲ在廷セシムル爲メニ、相當ノ處分ヲ
爲ヌコトガ出來ルト云フ規定ガアルガ、相當ノ處分トハド
ウ云フ事デアリマスガ
○林政府委員 是ハ實際ノ問題デアリマスガ、要スルニ法
廷ノ人口ヲ閉メテ、サウシテ歸ルコトガ出來ストカ云フヤ
ウナ事柄ガソレニ當リマス
○宮古委員 是ハ勾留サレテ居ル被告人ニ對シテハ、無論
ドンナ事デモ出來マスガ、不勾留ノ被告人ニ對シテモ、矢張
隨意ニ退廷スルコトガ出來ヌヤウニスルト云フ御見込デア
リマスガ、其相當ノ處分ヲ爲ヌコト云フノハ、如何ナル事ヲ爲
スノデスカ
○林政府委員 勾留サレテ居ル被告人デモ、公判期日ニ自
己ノ事件ニ付テ出頭スベシ、裁判所ガ訴訟手續ヲシテ居ル
間ハ、其公判廷ニ在廷スルコトガ當然デアラウト思フ、又在
廷スレバ色々證據調ガアツタ場合ニ、證據調ベノ内容ニ付
テ之ニ付テ辯解スルコトガ出來ルコトニナルノデアリマス
何レノ方面カラ見マシテモ、被告人ガ在廷スルコトガ必要
デアリマス、ソレ故ニ退廷スル場合ニハ斯ウ云フコトニナッ
テ居リマス
○鶴澤委員長 今日ハ是デ散會致シマス、明日ハ午前十時
午後五時十二分散會